

# 子ども・子育てに関するアンケート調査

## 調査結果報告書

(案)

平成26年 1月

御殿場市

# 目 次

<b>I 調査概要</b> .....	<b>1</b>
1. 調査目的 .....	1
2. 調査設計 .....	1
【参考】必要サンプル数の設定 .....	1
3. 調査回答者 .....	2
4. 調査回答者居住地 .....	2
5. 調査回答者の子どもの年齢・学年 .....	3
6. 報告書の見方 .....	3
<b>II 調査結果</b> .....	<b>4</b>
1. お子さんと家族の状況について .....	4
2. 子どもの育ちをめぐる環境について .....	6
3. 保護者の就労状況について .....	11
4. 職場の両立支援制度について .....	16
5. 平日の定期的な教育・保育の事業の利用について .....	21
6. 地域の子育て支援事業の利用状況について .....	26
7. 土曜日や日曜日・祝日、長期休暇中の定期的な教育・保育の事業の利用について .....	27
8. 病児・病後児保育について .....	29
9. 一時預かりについて .....	32
10. 放課後児童教室（学童保育）の利用状況について .....	35
11. ファミリー・サポート・センターの利用について .....	40
12. 学校教育について .....	41
13. 子育て支援事業の認知度・利用意向について .....	42
14. 子育てに関する一般的な事項について .....	46
15. 子育て環境に対する評価について .....	51
<b>III 自由意見</b> .....	<b>54</b>
1. 子育てをする上で周囲（身近な人、行政など）からあれば良いと思うサポート .....	54
<b>IV 資料編（調査票）</b> .....	<b>67</b>
1. 未就学児童用 .....	67
2. 就学児童用 .....	93

# I 調査概要

## 1. 調査目的

平成 27 年度より、子ども・子育て支援法に基づく新たな子ども・子育て支援制度のもと、教育・保育その他の子育て支援の充実を図るため 5 年間で一期とする子ども・子育て支援事業計画を作成し、計画的に給付・事業を実施する予定である。

この計画で確保を図るべき教育・保育その他の子育て支援の「量の見込み」を算出するため、小学生までの児童を持つ保護者を対象に、教育・保育その他の子育て支援に関する「現在の利用状況」や「今後の利用希望」を把握することを目的として調査を行った。

## 2. 調査設計

(1) 調査地域 御殿場市

(2) 調査対象 ① 未就学児童：市内に在住（平成 25 年 9 月 30 日現在）の就学前の  
子どものいる家庭

② 就学児童：市内に在住（平成 25 年 9 月 30 日現在）の就学している  
子どものいる家庭

(3) 標本数 ① 未就学児童：1,300 人

② 就学児童：1,000 人

(4) 有効回収数 ① 未就学児童：882 人（回収率 67.8%）

② 就学児童：585 人（回収率 58.5%）

※ 有効回収数とは、回収数の内、無記入や拒否等の無効票数を除いた数

(5) 調査方法 ① 未就学児童：郵送配布・施設配布－郵送回収・施設回収

② 就学児童：郵送配布－郵送回収

※ お礼状兼督促状 1 回送付

(6) 調査期間 平成 25 年 10 月 22 日～ 11 月 11 日

### 【参考】必要サンプル数の設定

調査対象のニーズを把握するために、統計学上必要なサンプル（標本）数を次の数式により求める。

$$n = \frac{N}{\left(\frac{E}{Z}\right)^2 \left\{ \frac{N-1}{P(1-P)} \right\} + 1}$$

N（母集団）：調査の対象となるものの全体。標本を抽出するための母体となる統計量の集まり。

ここでは、今回の調査対象とする、市内に在住（平成 25 年 9 月 30 日現在）の、

①未就学児童：就学前の子ども／5,554 人

②就学児童：就学している子ども／5,892 人 とする。

E（標本誤差）：標本から測定された統計量の標準偏差であり標本統計量の精度を表す。

一般的に、世論調査などでは、標本誤差を±5%程度としていることから、今調査では、標本誤差を±5%以下とすることとなるよう想定する。

Z（信頼水準）：区間推定において、ある確率（信頼係数）のもとで母数がある区間に含まれると推定された区間のこと。95%信頼区間とは、今回の調査を100回繰り返した結果が95回くらいは平均の結果内に含まれるということ。

ここでは信頼水準を95%とし、それに対応する係数1.96を用いる。

P（母比率）：母集団におけるある条件を満たす対象の比率。

予測が困難な場合は50%とすると最も安全なサンプルサイズを求めることができることから、今調査における母比率も50%とする。

これらにより、求められる標本の大きさ（n）は、

①未就学児童：359人以上、②就学児童：361人以上となる。

このため、統計学上各365人の標本を収集すると、調査対象のニーズがほぼ把握したと判断できることから、本調査では必要なサンプル数を各365人と設定した。

### 3. 調査回答者

項目		合計	母親	父親	その他	無回答
未就学児童	回答者数（人）	882	809	63	2	8
	構成比（%）	100.0	91.7	7.1	0.2	0.9
就学児童	回答者数（人）	585	524	54	3	4
	構成比（%）	100.0	89.6	9.2	0.5	0.7

### 4. 調査回答者居住地

項目		合計	御殿場	富士岡	原里	玉穂	印野	高根	無回答
未就学児童	対象者数（人）	1,300	548	249	276	140	29	58	-
	回答者数（人）	882	377	172	159	104	25	35	10
	構成比（%）	100.0	42.7	19.5	18.0	11.8	2.8	4.0	1.1
	回収率（%）	67.8	68.8	69.1	57.6	74.3	86.2	60.3	-
就学児童	対象者数（人）	1,000	378	231	223	98	22	48	-
	回答者数（人）	585	229	137	120	51	12	29	7
	構成比（%）	100.0	39.1	23.4	20.5	8.7	2.1	5.0	1.2
	回収率（%）	58.5	60.6	59.3	53.8	52.0	54.5	60.4	-

## 5. 調査回答者の子どもの年齢・学年

### ① 未就学児童

項目		合計	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	無回答
未就学児童	対象者数 (人)	1,300	286	189	200	204	210	211	-
	回答者数 (人)	882	176	122	128	147	152	139	18
	構成比 (%)	100.0	20.0	13.8	14.5	16.7	17.2	15.8	2.0
	回収率 (%)	67.8	61.5	64.6	64.0	72.1	72.4	65.9	-

### ② 就学児童

項目		合計	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	無回答
就学児童	対象者数 (人)	1,000	164	166	162	167	170	171	-
	回答者数 (人)	585	90	95	99	96	104	97	4
	構成比 (%)	100.0	15.4	16.2	16.9	16.4	17.8	16.6	0.7
	回収率 (%)	58.5	54.9	57.2	61.1	57.5	61.2	56.7	-

## 6. 報告書の見方

- (1) 回答率 (%) は、その質問の回答者数を基数として算出し、小数点以下第2位を四捨五入している。したがって、比率の数値の合計が 100.0% ちょうどにならない場合がある。
- (2) 回答の比率は、その設問の回答者数を基数として算出した。したがって、複数回答可の設問は全ての比率を合計すると 100.0% を超えることがある。
- (3) グラフ中の「N (Number of case の略)」は基数で、その質問に回答すべき人数を表す。

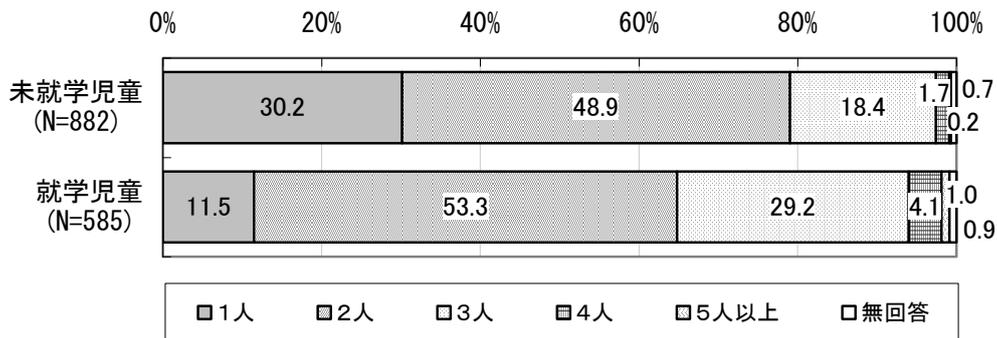
## Ⅱ 調査結果

### 1. お子さんと家族の状況について

#### 1-1 子どもの人数について

【未就学：問5、就学：問5】

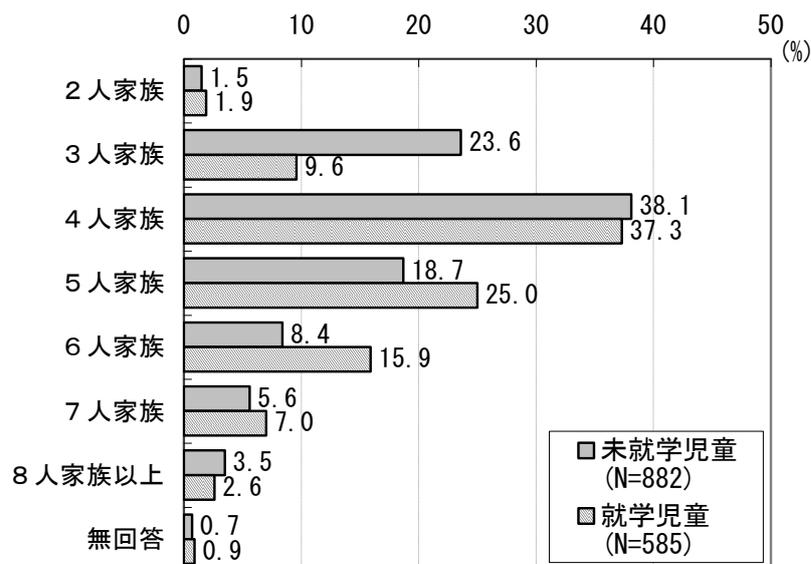
- ・未就学児童、就学児童ともに「2人」が約半数（未就学児童：48.9%、就学児童：53.3%）を占める。
- ・子どもの平均人数は、未就学児童が1.92人、就学児童が2.31人。



#### 1-2 世帯人員について

【未就学：問6、就学：問6】

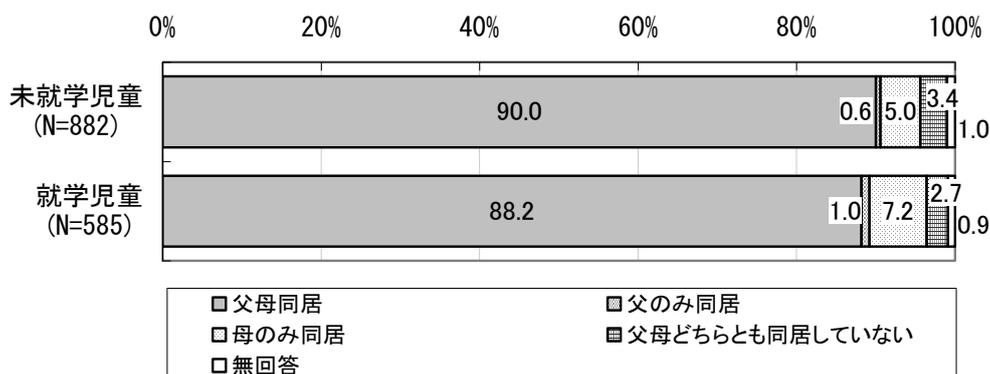
- ・未就学児童、就学児童ともに「4人家族」が最も多い（未就学児童：38.1%、就学児童：37.3%）。
- ・世帯の平均人員数は、未就学児童が4.41人、就学児童が4.76人。



1-3 父母との同居状況について（単数回答）

【未就学：問7、就学：問7】

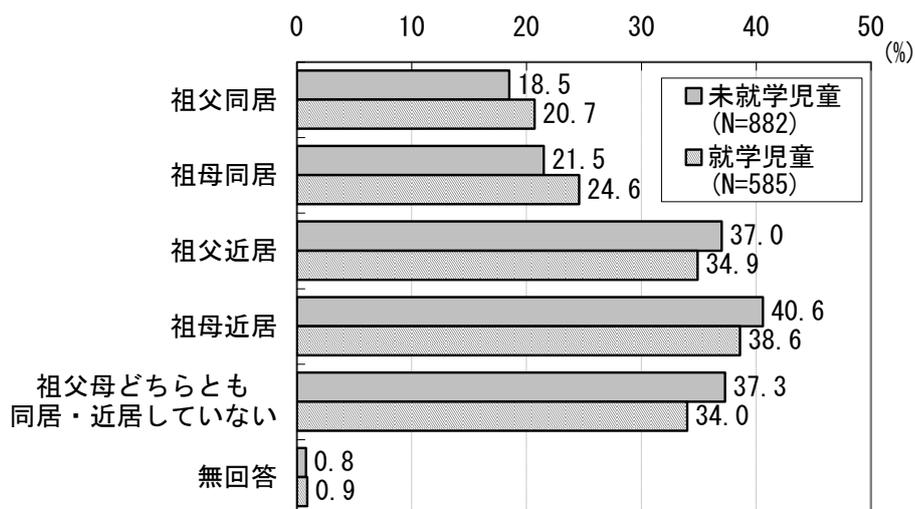
- ・未就学児童、就学児童ともに「父母同居」が約9割を占める（未就学児童：90.0%、就学児童：88.2%）。
- ・「父のみ同居」および「母のみ同居」の、父母のどちらかのみが同居の世帯が就学児童で1割近く（8.2%）となっており、未就学児童（5.6%）をやや上回っている。



1-4 祖父母との同居・近居の状況について（複数回答可）

【未就学：問8、就学：問8】

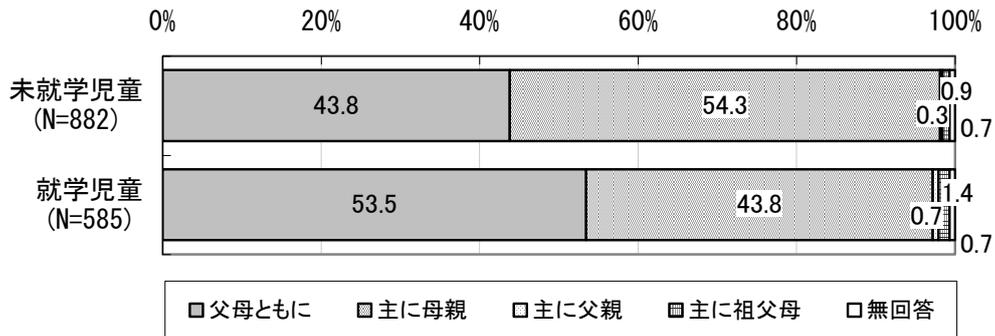
- ・未就学児童、就学児童ともに「祖母近居」が約4割（未就学児童：40.6%、就学児童：38.6%）を占め最も多く、「祖父同居」および「祖母同居」世帯は、ともに2割程度となっている。
- ・反対に、「祖父母どちらとも同居・近居していない」が3割以上を占める（未就学児童：37.3%、就学児童：34.0%）。



1-5 子どもの身の回りの世話などを主にしている方について（単数回答）

【未就学：問9、就学：問9】

- ・未就学児童、就学児童ともに「父母ともに」及び「主に母親」で9割以上を占める（未就学児童：98.1%、就学児童：97.3%）。
- ・未就学児童では「主に母親」が半数以上（54.3%）、就学児童では「父母ともに」が半数以上（53.5%）を占める。

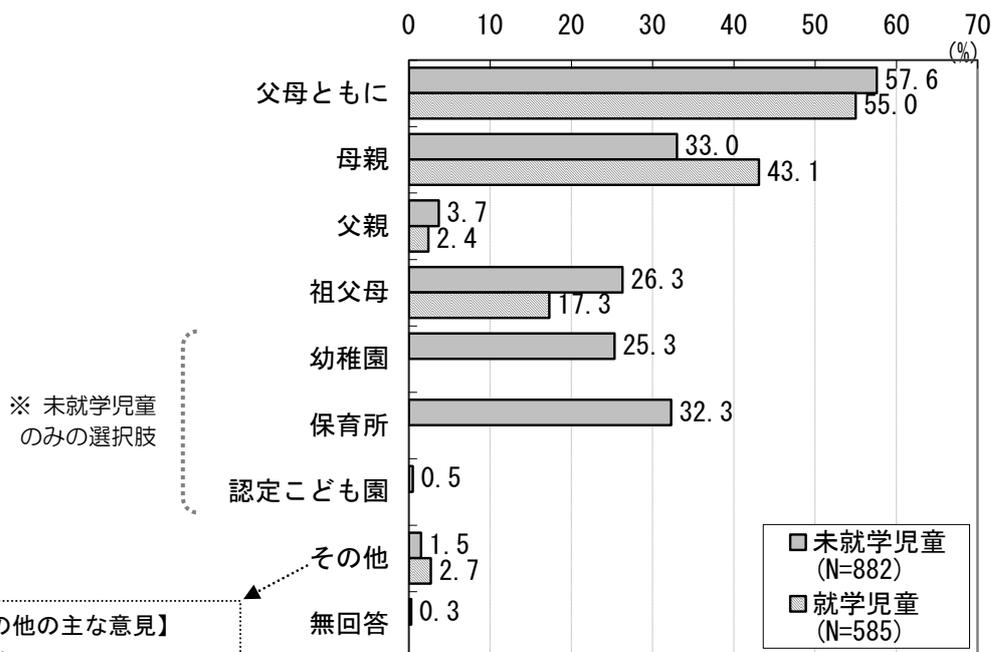


2. 子どもの育ちをめぐる環境について

2-1 子育てに日常的に関わっている方について（複数回答可）

【未就学：問10、就学：問10】

- ・未就学児童、就学児童ともに「父母ともに」が半数以上を占める（未就学児童：57.6%、就学児童：55.0%）。
- ・「母親」をみると、就学児童（43.1%）が未就学児童（33.0%）を1割程度上回っている。



※ 未就学児童のみの選択肢

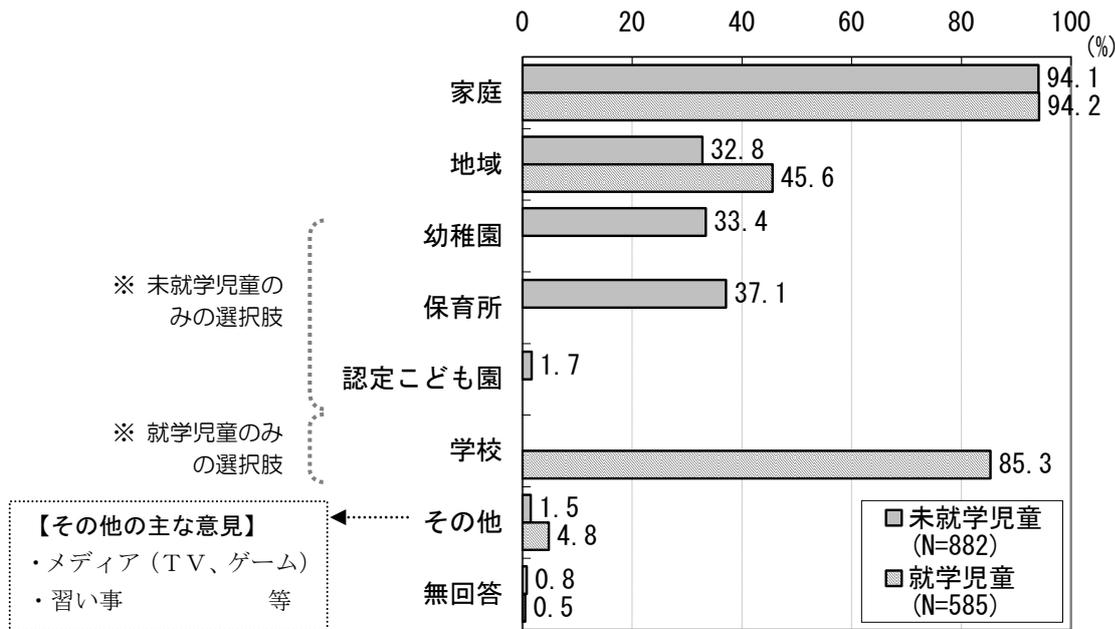
【その他の主な意見】

- ・交流センター
- ・地域（近所）の方々
- ・兄弟姉妹
- ・叔父、叔母 等

2-2 子育てに影響すると思われる環境について（複数回答可）

【未就学：問 11、就学：問 11】

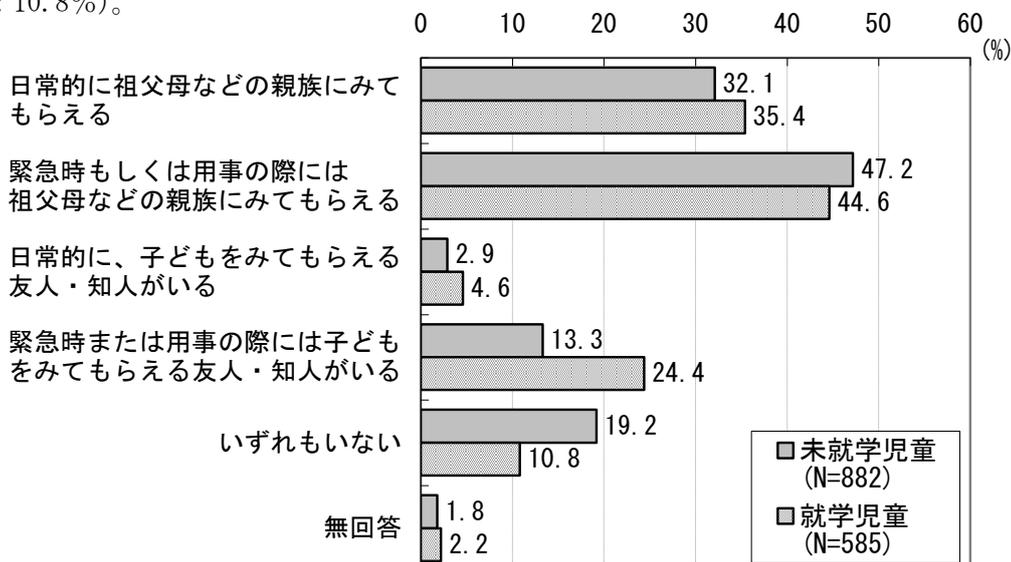
- ・未就学児童、就学児童ともに「家庭」で9割以上（未就学児童：94.1%、就学児童：94.2%）を占めている。また、就学児童では「学校」が8割以上（85.3%）を占める。
- ・「地域」をみると、未就学児童では32.8%に対し、就学児童で4割以上（45.6%）となっており、就学児童が未就学児童を1割以上上回っている。



2-3 日ごろ、お子さんを預かってもらえる人について（複数回答可）

【未就学：問 12、就学：問 12】

- ・未就学児童、就学児童ともに「緊急時もしくは用事の際には祖父母などの親族に預かってもらえる」が最も多い（未就学児童：47.2%、就学児童：44.6%）。
- ・「日常的に祖父母などの親族に預かってもらえる」が未就学児童、就学児童ともに二番目に多く（未就学児童：32.1%、就学児童：35.4%）、祖父母等の親族に預かってもらう人が多い。
- ・未就学児童、就学児童ともに「いずれもない」が1割以上を占める（未就学児童：19.2%、就学児童：10.8%）。

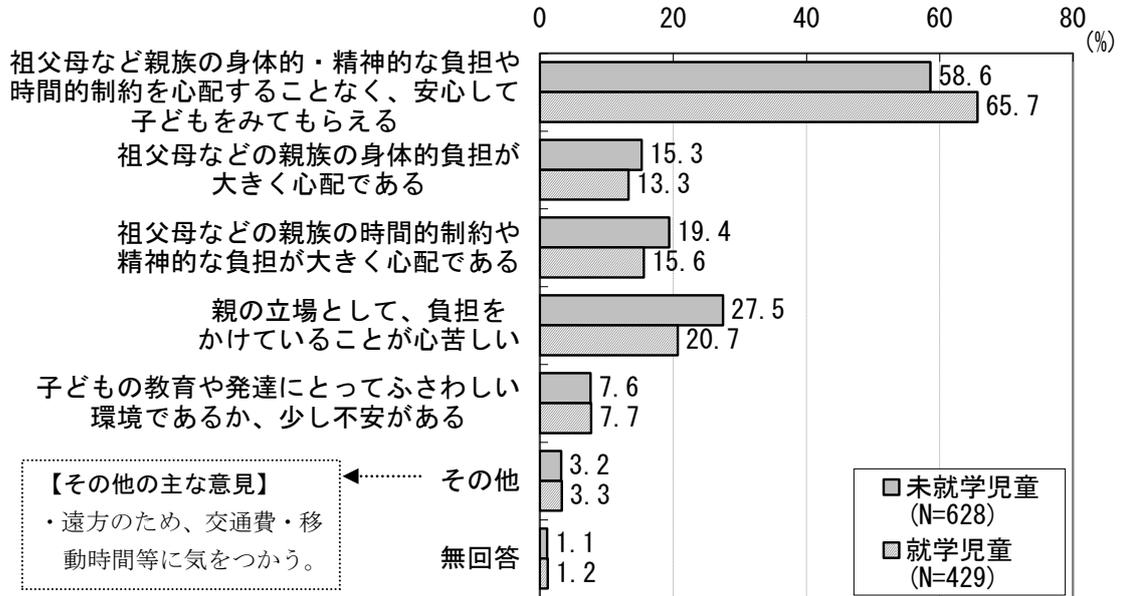


2-4 2-3で『祖父母などの親族にみてもらえる』と回答した人のみ

祖父母などの親族に子どもをみてもらっている状況について（複数回答可）

【未就学：問 12-1、就学：問 12-1】

- ・未就学児童、就学児童ともに「祖父母など親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が最も多い(未就学児童:58.6%、就学児童:65.7%)。

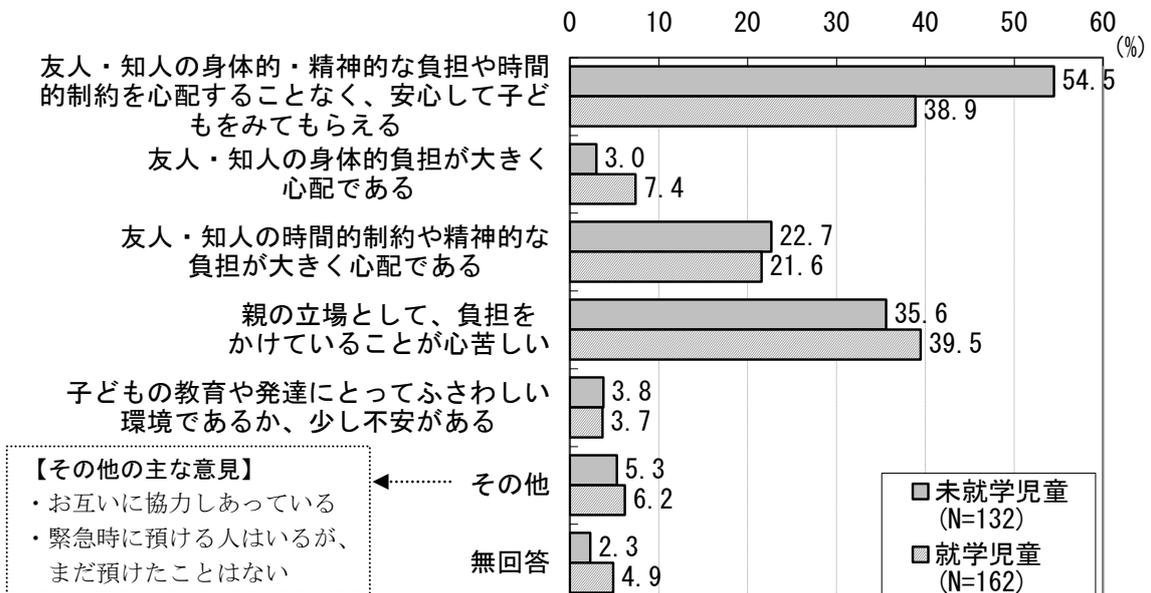


2-5 2-3で『子どもをみてもらえる友人・知人がいる』と回答した人のみ

友人や知人に子どもをみてもらっている状況について（複数回答可）

【未就学：問 12-2、就学：問 12-2】

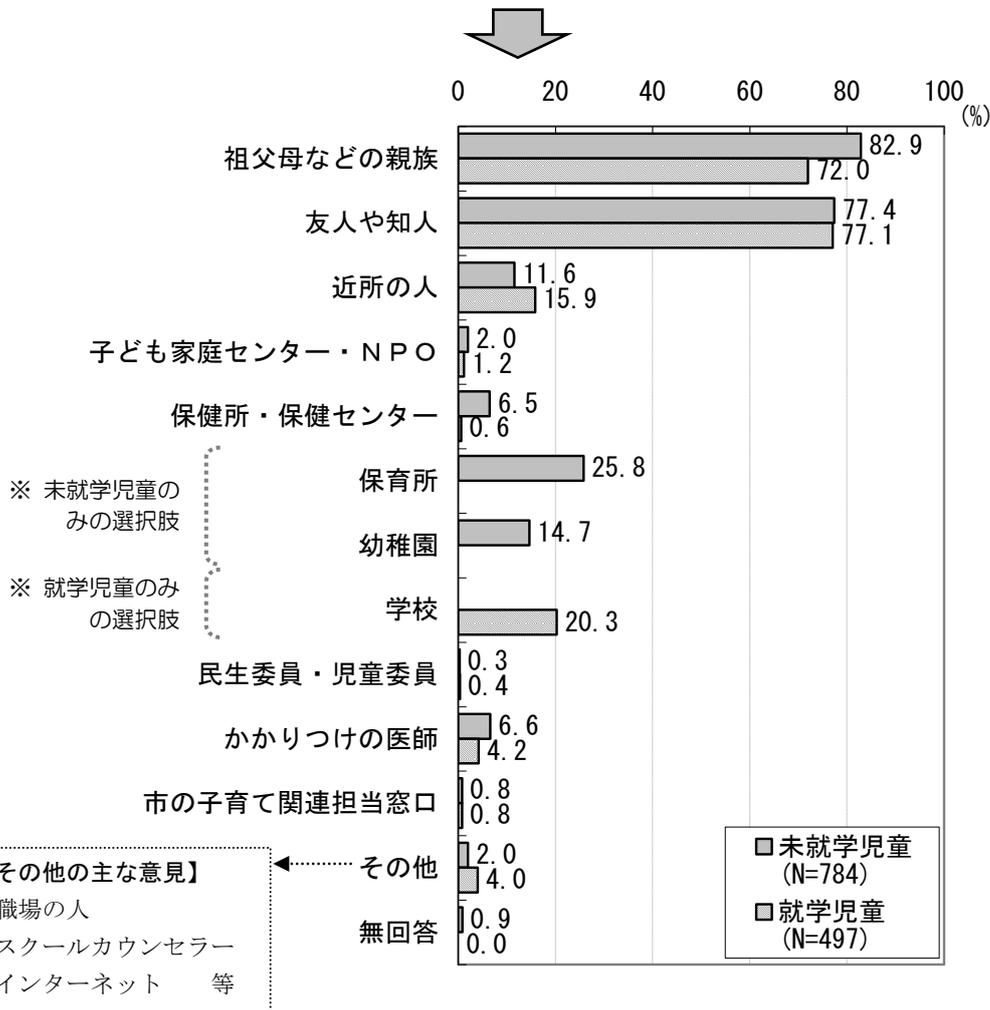
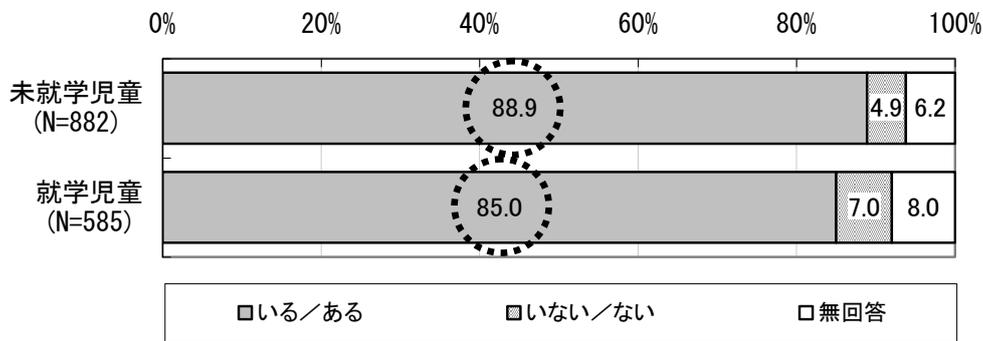
- ・未就学児童では「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が最も多い (54.5%)のに対し、就学児童では「親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が最も多い (39.5%)。
- ・2-4と比較すると、祖父母などの親族に比べて、友人や知人に子どもをみてもらうことに不安や心苦しさを感じている人が多いことが分かる。



2-6 子育てについて気軽に相談できる人（場所）について（単数回答）  
及び、その相談先について（複数回答可）

【未就学：問 13・問 13-1、就学：問 13・問 13-1】

- ・未就学児童、就学児童ともに「いる／ある」は8割以上（未就学児童：88.9%、就学児童：85.0%）を占めている。
- ・気軽に相談できる人（場所）がない（ない）と回答した人が、未就学児童で4.9%、就学児童では7.0%を占めている。
- ・その相談先については、「祖父母などの親族」、「友人や知人」が多く、次いで「保育所」や「幼稚園」、「学校」などの保育・教育施設が2割程度となっており、公的機関への相談は低い結果となっている。



2-7 子育てをする上で周囲（身近な人、行政など）からあれば良いと思うサポート（自由記述）

【未就学：問 14、就学：問 14】

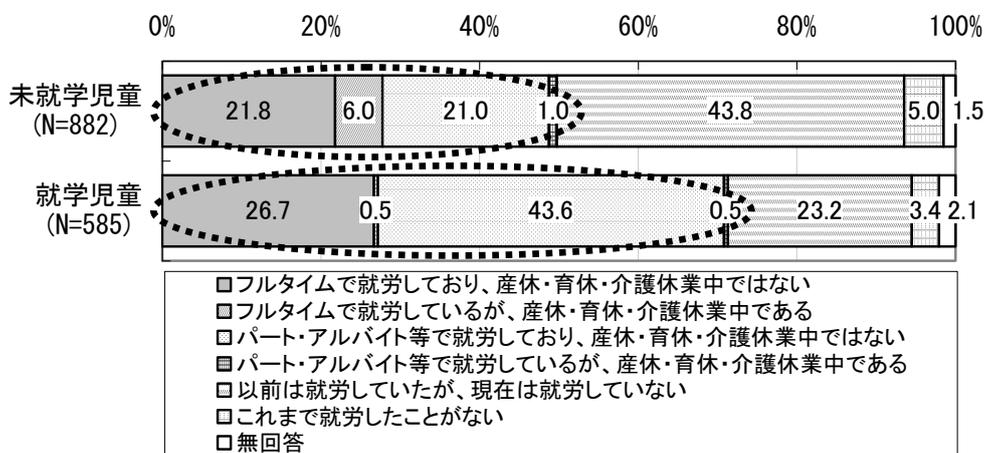
- ・未就学児童では、全体で 265 件の意見があった。
- ・未就学児童での意見の内訳を見ると、「緊急時等を含む一時預かり」が 53 件（20.0%）と最も多く、次いで「相談体制の充実」（29 件／10.9%）、「親子や親同士が交流できる場の充実」（28 件／10.6%）、「病児・病後児保育の充実」（19 件／7.2%）の順となっている。
- ・就学児童では、全体で 151 件の意見があった。
- ・就学児童での意見の内訳を見ると、「緊急時等を含む一時預かり」が 26 件（17.2%）と最も多く、次いで「相談体制の充実」（22 件／14.6%）、「経済的な援助・支援」（15 件／9.9%）、「学童保育の充実」（14 件／9.3%）の順となっている。
- ・未就学児童、就学児童ともに、緊急時や親の病気・用事等の際に利用しやすい一時預かりの充実や、子どもの発育・発達を含む子育てに関する相談体制の充実を望む人が多いことが分かる。
  
- ・それぞれ、詳細な意見は 54 ページ以降を参照。

### 3. 保護者の就労状況について

#### 3-1 母親の就労状況（単数回答）及び、家を出る時刻、帰宅時刻

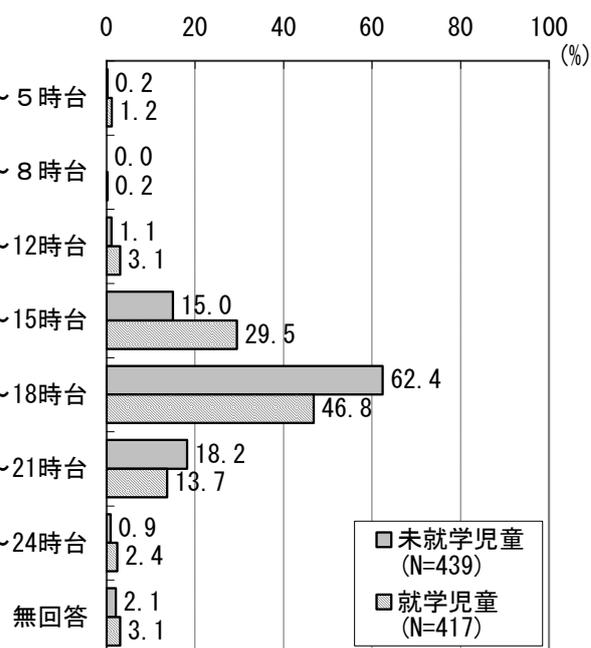
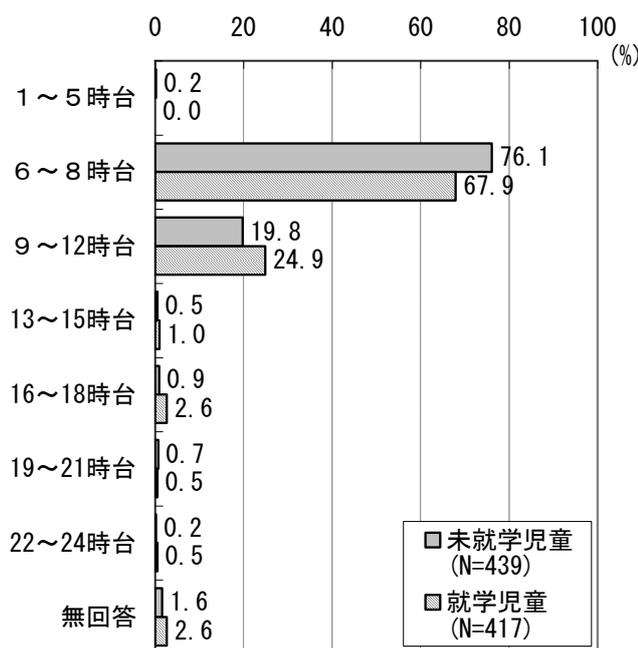
【未就学：問 15(1)・(1)-1、就学：問 15(1)・(1)-1】

- ・未就学児童では、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が4割以上（43.8%）で最も多い。
- ・就学児童では、「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が4割以上（43.6%）で最も多い。
- ・産休・育休・介護休業中を含んだ『就労している』の割合をみると、就学児童では7割以上（71.3%）となっているのに対し、未就学児童では約半数（49.8%）となっている。
- ・家を出る時刻については「6～8時台」が最も多く、帰宅時刻は「16～18時台」が最も多い。未就学児童に比べて就学児童で「9～12時台」の出発時刻、「13～15時台」の帰宅時刻が多いのは、パート・アルバイトでの就労者の割合が多いことが影響していると考えられる。



<家を出る時刻>

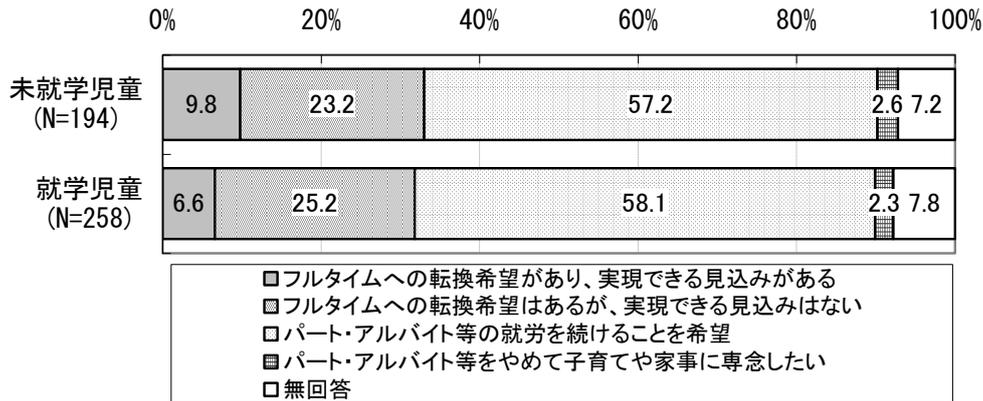
<帰宅時刻>



3-2 3-1で『パート・アルバイト等で就労している』と回答した人のみ  
フルタイムへの転換希望（単数回答）

【未就学：問 15(1)-2、就学：問 15(1)-2】

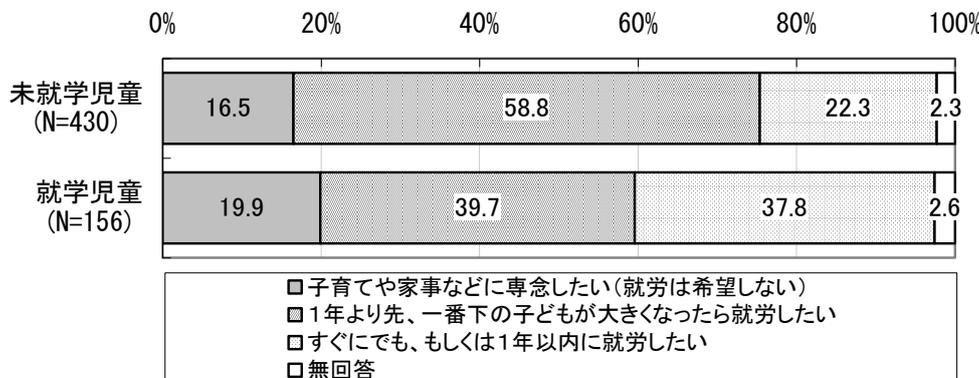
- ・未就学児童、就学児童ともに「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が6割近くで最も多い（未就学児童：57.2%、就学児童：58.1%）。
- ・『フルタイムへの転換希望がある』人は3割以上となっており、その割合は、就学児童に比べると未就学児童がやや上回っている。



3-3 3-1で『就労していない』と回答した人のみ  
今後の就労意向（単数回答）

【未就学：問 15(1)-3、就学：問 15(1)-3】

- ・未就学児童、就学児童ともに「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」は2割未満（未就学児童：16.5%、就学児童：19.9%）となっており、就労希望のある人が8割近く（未就学児童：81.1%、就学児童：77.5%）を占める。
- ・就学児童では「すぐにも、もしくは1年以内に就労したい」が4割近く（37.8%）を占め、未就学児童（22.3%）を15.5ポイント上回る結果となっており、未就労者の中でもすぐに就労を希望する人が多いことが分かる。

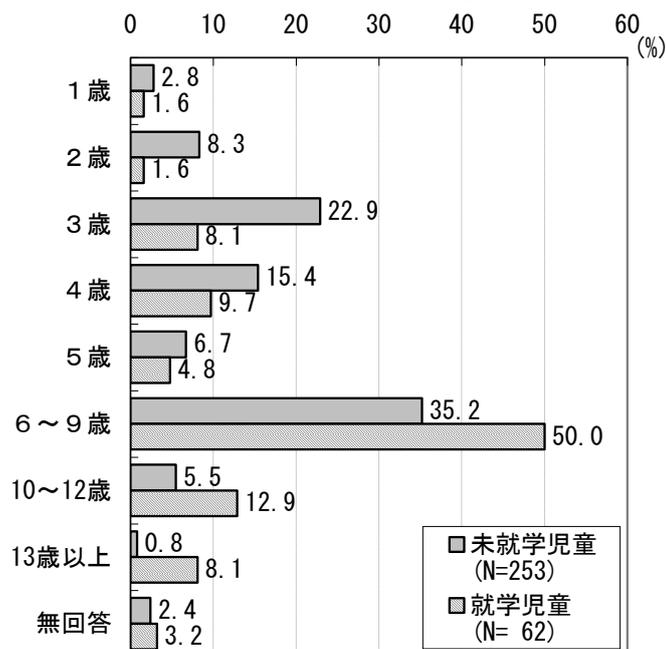


### 3-4 3-2で「一番下の子どもが大きくなったところに就労したい」と回答した人のみ

就労したいと考える時期（一番下の子どもの年齢）

【未就学：問 15(1)-3、就学：問 15(1)-3】

- ・未就学児童、就学児童ともに「6～9歳」が最も多い（未就学児童：35.2%、就学児童：50.0%）。次いで、未就学児童では「3歳」（22.9%）、就学児童では「10～12歳」（12.9%）となっている。
- ・平均年齢は、未就学児童では4.99歳、就学児童では7.12歳と、未就学児童をもつ保護者の方が、就労したいと考える子どもの年齢が低い結果となっている。

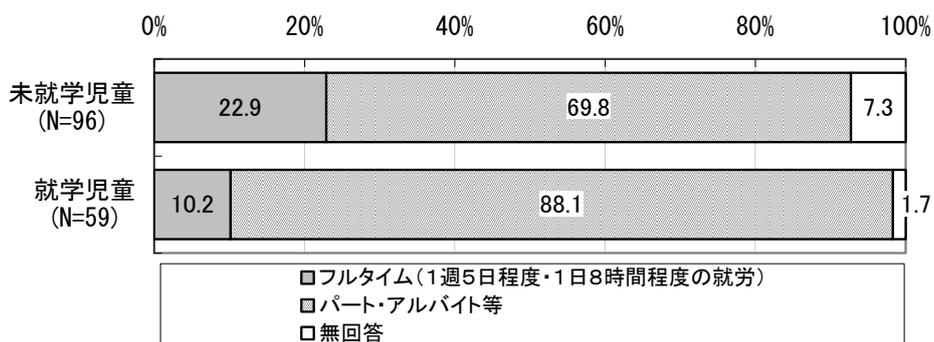


### 3-5 3-2で「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」と回答した人のみ

希望する就労形態（単数回答）

【未就学：問 15(1)-3、就学：問 15(1)-3】

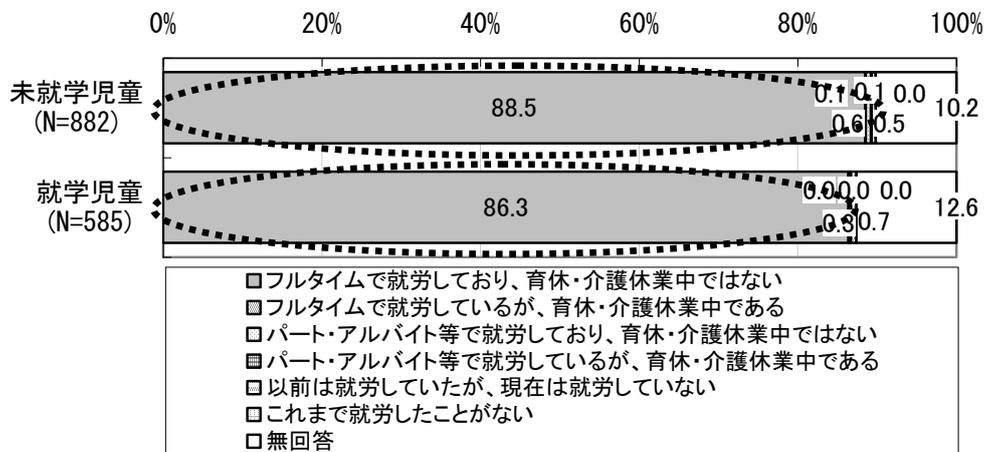
- ・未就学児童、就学児童ともに「パート・アルバイト等」が最も多い（未就学児童：69.8%、就学児童：88.1%）。
- ・「フルタイム」は、未就学児童では2割以上（22.9%）を占め、就学児童（10.2%）の2倍以上を占める結果となっている。
- ・3-3、3-4より、子育てや家事に専念し、就労を希望しない母親は一定数おり、就労を希望する母親は子どもが未就学期のうちに就労していることが分かる。また、フルタイムでの就労を希望する人が多いものの、実際にはパート・アルバイト等での就労となっていることが分かる。



3-6 父親の就労状況（単数回答）及び、家を出る時刻、帰宅時刻

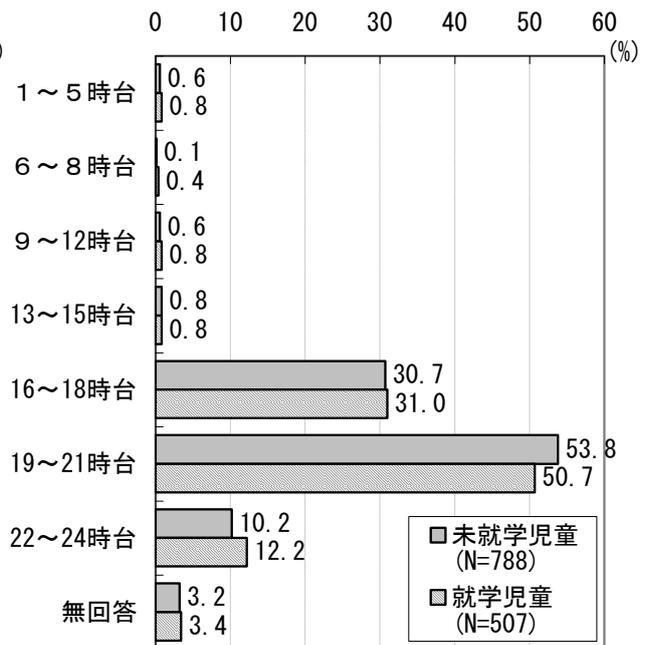
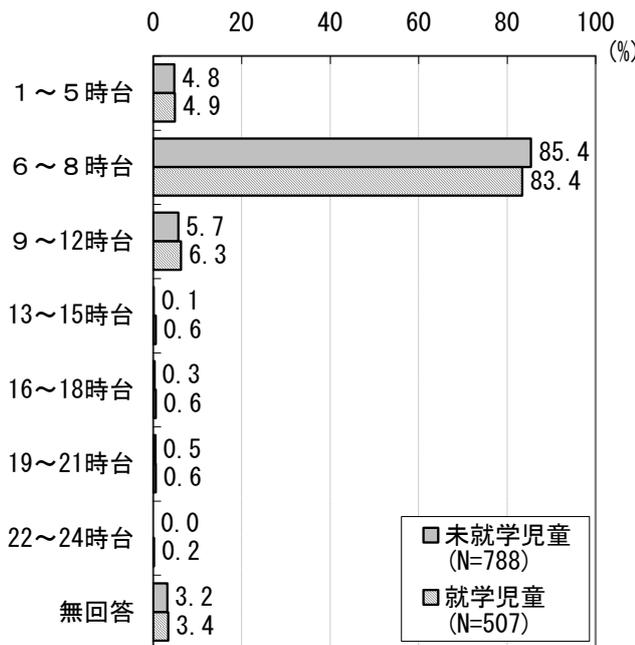
【未就学：問 15(2)・(2)-1、就学：問 15(2)・(2)-1】

- ・未就学児童、就学児童ともに、「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない」が8割以上（未就学児童：88.5%、就学児童：86.3%）を占めている。
- ・未就学児童で、『育休・介護休業中である』人は、わずか0.2%となっている。
- ・3-1と比較すると、母親に比べて、父親では就労している人の割合が高く、また、育休・介護休業中である人の割合が少ないことが分かる。
- ・家を出る時刻については「6～8時台」が最も多く、帰宅時刻は「19～21時台」が最も多い。また、帰宅時刻が「22～24時台」の人が未就学児童、就学児童ともに1割以上と多く、母親に比べると、父親の帰宅時刻が遅いことが分かる。



<家を出る時刻>

<帰宅時刻>



**3-7 3-6で『パート・アルバイト等で就労している』と回答した人のみ**  
フルタイムへの転換希望（単数回答）

【未就学：問 15(2)-2、就学：問 15(2)-2】

- ・未就学児童で、『パート・アルバイト等で就労』している父親（6人）のフルタイムへの転換希望については、転換希望のある人が3人、パート・アルバイト等の継続を希望する人が2人であった（1人は無回答）。
- ・就学児童で、『パート・アルバイト等で就労』している父親（2人）のフルタイムへの転換希望については、転換希望のある人が1人、無回答が1人であった。

**3-8 3-6で『就労していない』と回答した人のみ**  
今後の就労意向（単数回答）

【未就学：問 15(2)-3、就学：問 15(2)-3】

- ・未就学児童で、『就労していない』父親（4人）の今後の就労意向については、全員が「すぐにも、もしくは1年以内に就労したい」との回答であった。
- ・就学児童で、『就労していない』父親（4人）の今後の就労意向については、「すぐにも、もしくは1年以内に就労したい」が3人、「一番下の子どもが大きくなったところに就労したい」が1人となっており、全員に就労希望があることが分かる。

**3-9 3-8で「一番下の子どもが大きくなったところに就労したい」と回答した人のみ**  
就労したいと考える時期（一番下の子どもの年齢）

【未就学：問 15(2)-3、就学：問 15(2)-3】

- ・就学児童で、『一番下の子どもが大きくなったところに就労したい』と答えた1人の、その就労時期については「（一番下の子どもが）8歳になったところに就労したい」との回答となっている。

**3-10 3-8で「すぐにも、もしくは1年以内に就労したい」と回答した人のみ**  
希望する就労形態（単数回答）

【未就学：問 15(2)-3、就学：問 15(2)-3】

- ・未就学児童で、『すぐにも、もしくは1年以内に就労したい』父親（4人）の希望する就労形態については、フルタイムでの就労が3人、パート・アルバイト等での就労が1人であった。
- ・就学児童で、『すぐにも、もしくは1年以内に就労したい』父親（3人）の希望する就労形態については、全員が「フルタイムでの就労」となっている。

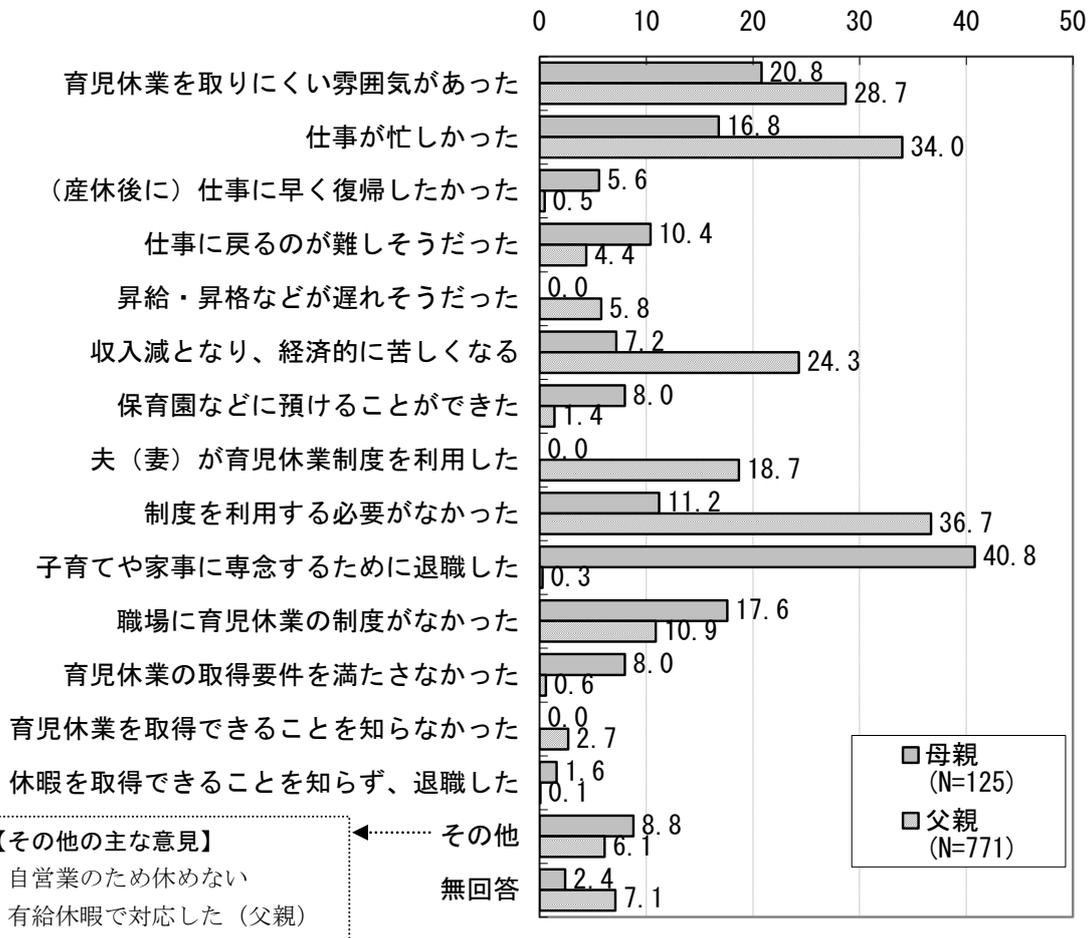
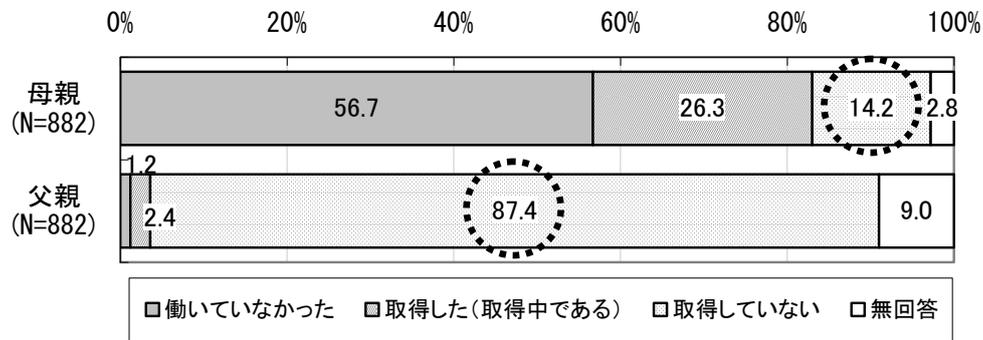
## 4. 職場の両立支援制度について

### 4-1 育児休業の取得状況（単数回答）

育児休業を取得していない理由（複数回答可）

【未就学：問30】

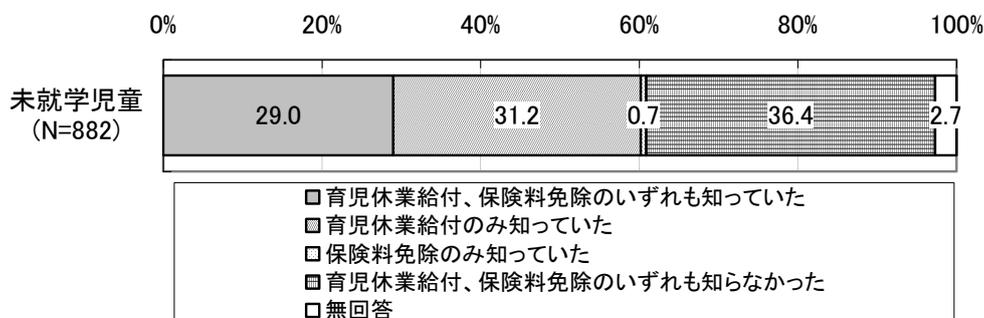
- ・育児休業を取得した人は、母親では2割以上(26.3%)であるのに対し、父親では1割未満(2.4%)となっている。
- ・育児休業を取得していない人の理由をみると、母親では「子育てや家事に専念するために退職した」が約4割(40.8%)で最も多く、父親では「制度を利用する必要がなかった」(36.7%)や「仕事が忙しかった」(34.0%)が3割以上を占めている。
- ・子どもが生まれた時に、母親が育児休業を取得もしくは退職して子育てを行い、父親は生まれる前の就労形態を継続している人が多いことが分かる。



#### 4-2 育児休業給付、保険料免除の認知度（単数回答）

【未就学：問 30-1】

- ・育児休業給付、保険料免除の認知度については、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」が3割以上（36.4%）を占めており、両方とも知っている人は3割未満（29.0%）となっている。

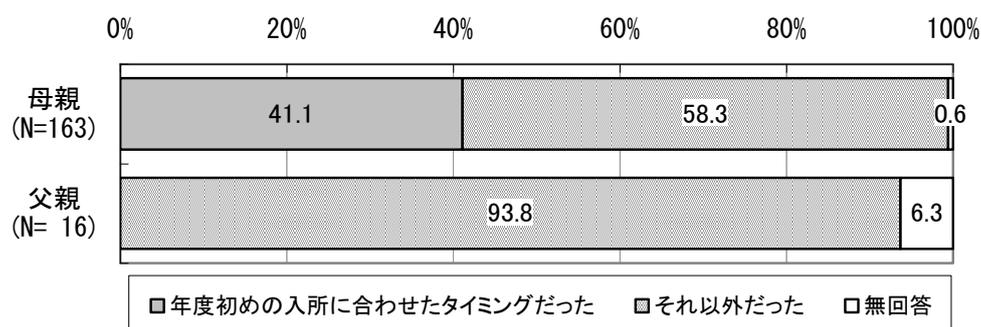
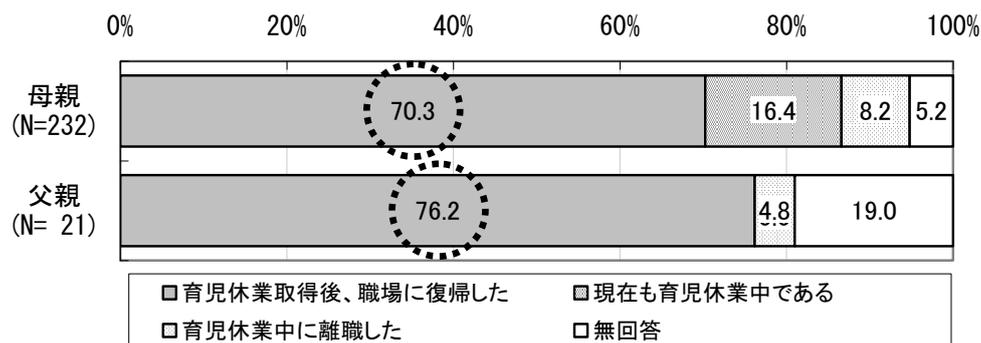


#### 4-3 4-1で「(育児休業を)取得した(取得中である)」と回答した人のみ

育児休業取得後の職場復帰の状況 及び、職場復帰のタイミング（単数回答）

【未就学：問 30-2・問 30-3】

- ・育児休業取得後については、母親、父親ともに「育児休業取得後、職場に復帰した」が7割以上（母親：70.3%、父親：76.2%）を占め、大半の人が職場復帰をしているものの、母親では「育児休業中に離職した」が1割近く（8.2%）を占める。
- ・育児休業取得後に職場復帰した人の復帰のタイミングについては、「それ（年度初めの入所に合わせたタイミング）以外だった」が最も多く（母親：41.1%、父親：93.8%）、父親では、年度初めの入所のタイミングまで育児休業を取得した人はいないという結果となっている。

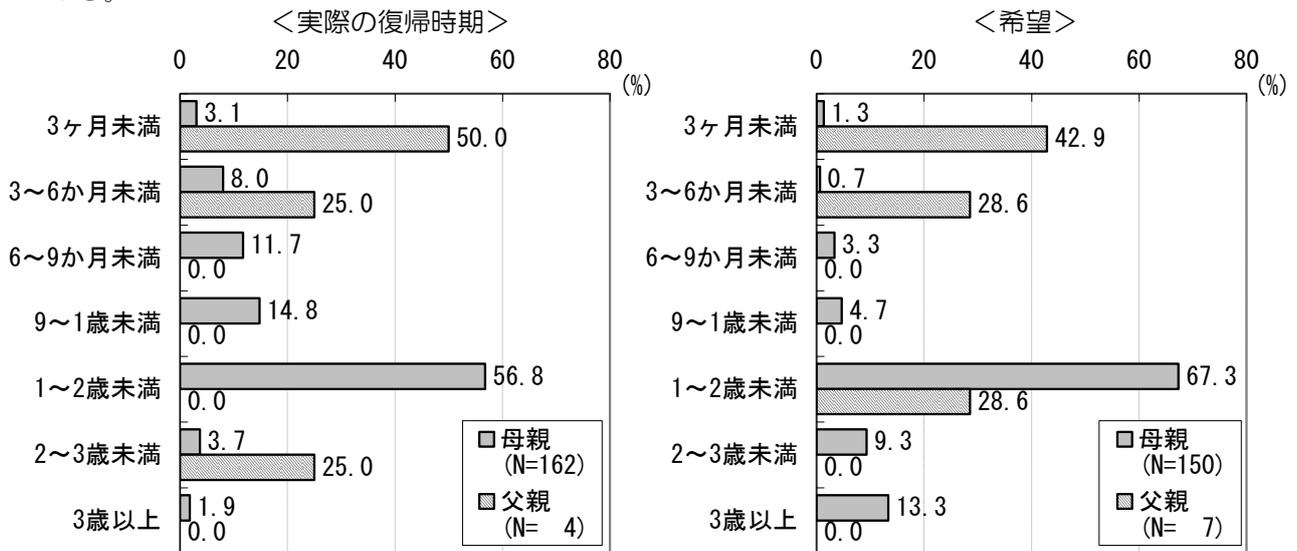


4-4 4-3で「育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した人のみ

職場復帰をした時の子どもの年齢・月齢と、取得したかった年齢・月齢の希望期間

※無回答を除いた集計【未就学：問30-4】

- ・実際に職場復帰した時の子どもの実際の年齢・月齢では、母親は「1～2歳未満」が半数以上（56.8%）を占め最も多く、次いで「9ヶ月～1歳未満」、「6～9ヶ月未満」の順となっており、2歳以上になるまで取得した人は5.6%となっている。
- ・一方で、取得したかった期間では、実際の期間と同様に「1～2歳未満」が最も多く、次いで「3歳以上」、「2～3歳未満」となっており、2歳以上になるまで取得したかった人が2割以上を占める。

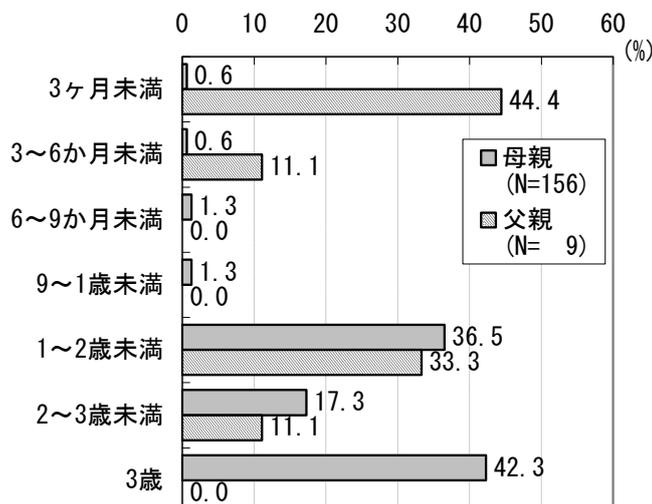


4-5 4-3で「育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した人のみ

3歳まで休暇を取得できる制度があった場合の希望取得期間

※無回答を除いた集計【未就学：問30-5】

- ・3歳まで休暇を取得できる制度があった場合の希望取得期間については、母親は「3歳」が4割以上（42.3%）を占め最も多く、次いで「1～2歳未満」、「2～3歳未満」の順となっており、2歳以上になるまで取得した人がほとんどとなっている。
- ・一方で、父親では実際の取得期間と同様に「3か月未満」が最も多い（44.4%）。



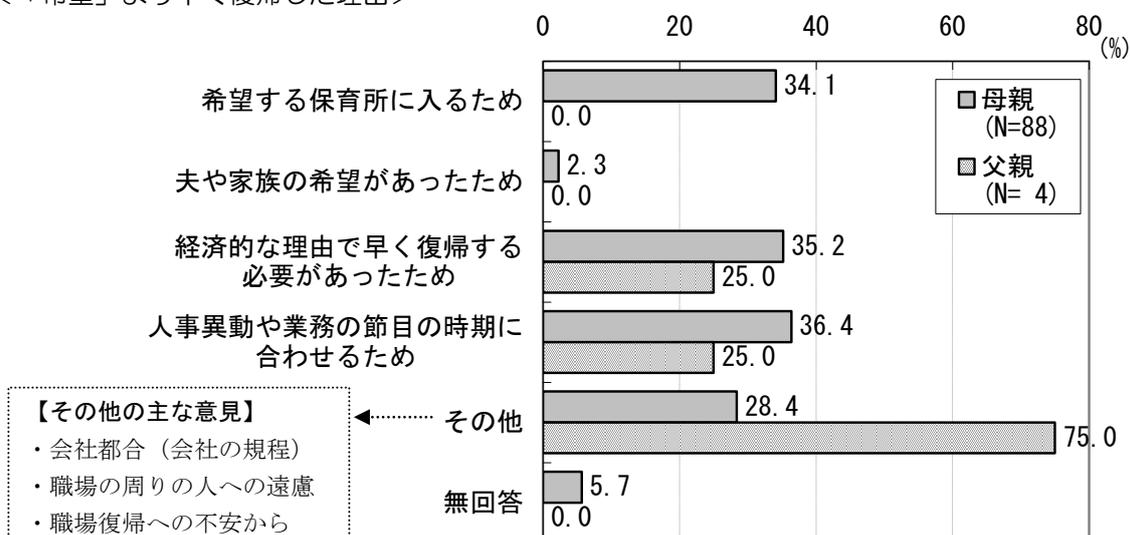
4-6 4-4で実際の復帰と希望の期間が異なる人のみ

希望の時期に職場復帰しなかった理由（複数回答可）

【未就学：問 30-6(1)・(2)】

- 希望より早く職場復帰した人の理由については、母親では「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」が最も多く、次いで「経済的な理由で早く復帰する必要があるため」、「希望する保育所に入るため」の順となっている。父親では「その他」が最も多く、その内容については、「会社の都合」、「世間体を気にした」等の意見があった。
- 反対に、希望より遅く職場復帰した人（母親：7人、父親：1人）の理由については、「希望する保育所に入れなかったため」（4人）が最も多く、次いで「子どもをみてくれる人がいなかったため」（3人）の順となっており、保育環境がないために復帰時期を遅らせた人が多いことが分かる。

<「希望」より早く復帰した理由>

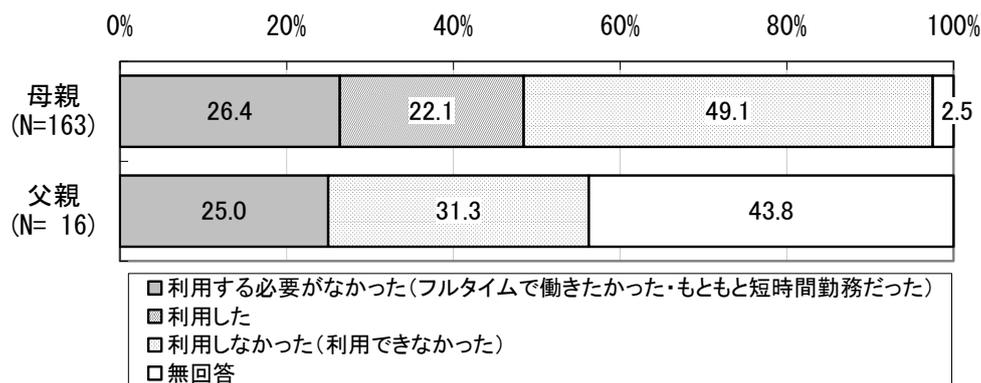


4-7 4-3で「育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した人のみ

職場復帰後の短時間勤務制度の利用状況（単数回答）

【未就学：問 30-7】

- 職場復帰後の短時間勤務制度の利用状況については、母親、父親ともに「利用しなかった（利用できなかった）」が最も多く（母親：49.1%、父親：31.3%）、「利用する必要がなかった」と合わせると、利用していない人が大半を占める。
- 短時間勤務制度を利用した人は、母親で2割程度（22.1%）となっている。

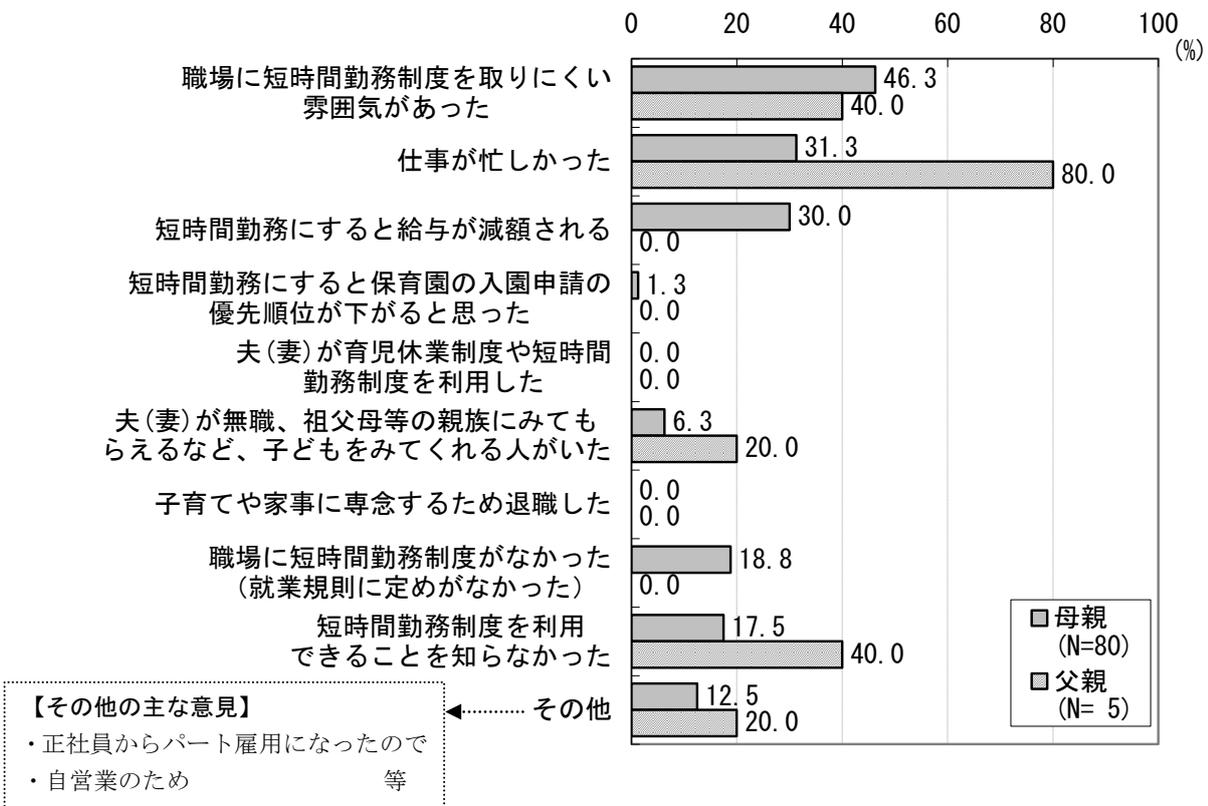


4-8 4-7で「利用しなかった（利用できなかった）」と回答した人のみ

短時間勤務制度を利用しなかった（利用できなかった）理由（複数回答可）

【未就学：問 30-8】

- ・短時間金制度を利用しなかった人の理由については、母親では「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」が4割以上（46.3%）で最も多く、次いで「仕事が忙しかった」、「短時間勤務にすると給与が減額される」の順となっている。
- ・父親では「仕事が忙しかった」が8割を占め、突出して高くなっており、次いで「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」「短時間勤務制度を利用できることを知らなかった」が多くなっている。

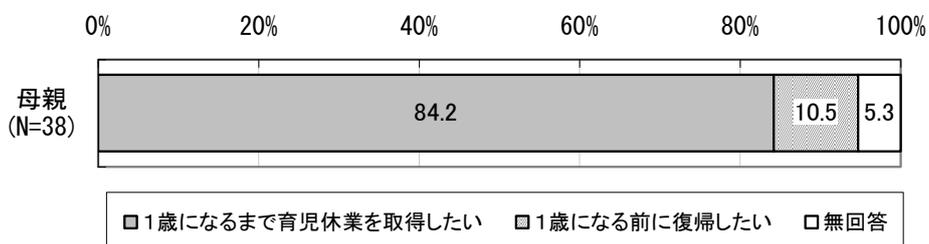


4-7 4-3で「現在も育児休業中である」と回答した人のみ

1歳になった時に必ず利用できる保育事業があった場合の育児休業取得希望（単数回答）

（父親は回答該当者無し）【未就学：問 30-9】

- ・育児休業中の人の、1歳になった時に必ず利用できる保育事業があった場合の育児休業の取得については、母親で「1歳になるまで育児休業を取得したい」が大半を占める（84.2%）。
- ・預けられる事業があった場合でも「1歳になる前に復帰したい」が約1割を占める結果となっている。



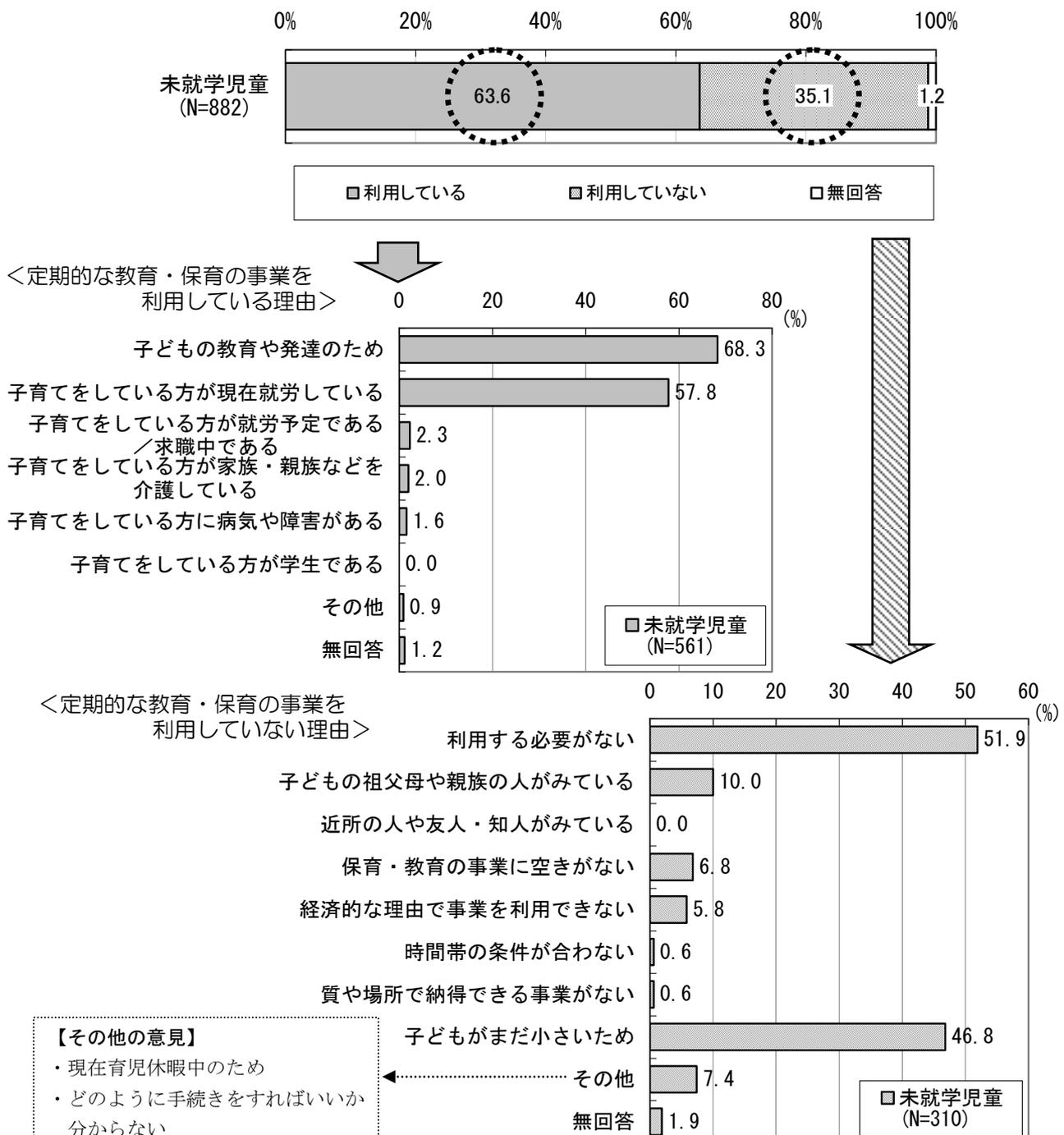
## 5. 平日の定期的な教育・保育の事業の利用について

### 5-1 平日の定期的な教育・保育の事業の利用状況（単数回答）

平日の定期的な教育・保育の事業を利用している理由・利用していない理由（複数回答）

【未就学：問 16・問 16-4・問 16-5】

- ・子どもの現在の定期的な教育・保育の事業の利用状況については、「利用している」が6割(63.6%)を占めている。
- ・定期的な教育・保育の事業を利用している理由については、「子どもの教育や発達のため」が7割近く(68.3%)を占め最も多く、次いで「子育てをしている方が現在就労している」(57.8%)となっている。反対に、教育・保育の事業を利用していない理由については、「(子どもの教育や発達のため、子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で)利用する必要がない」が半数以上(51.9%)を占め、就労状況に応じて保育サービスへの利用ニーズが変わることが分かる。

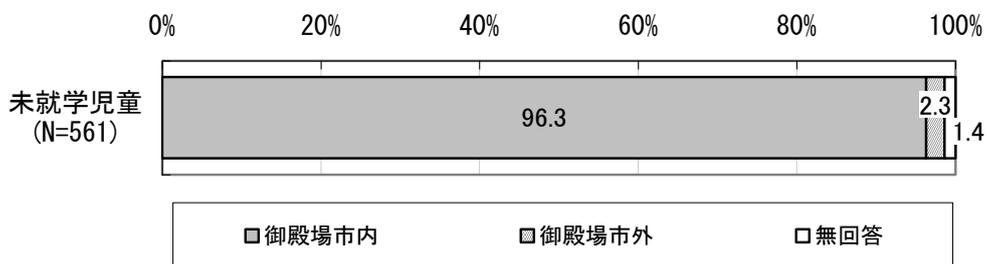
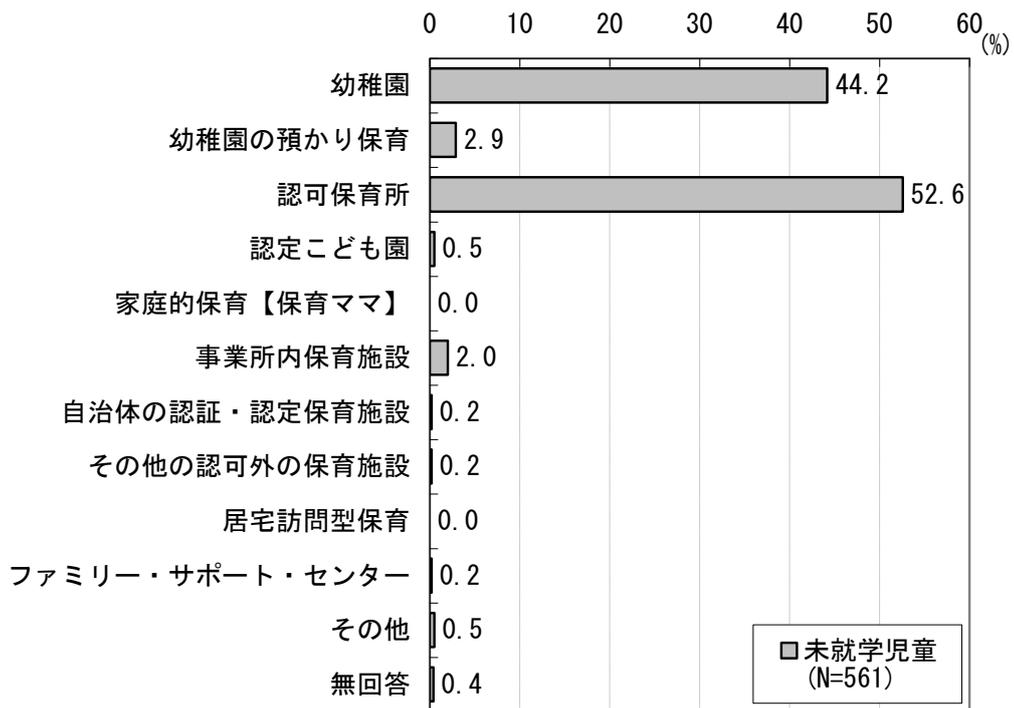


5-2 5-1で「利用している」と回答した人のみ

現在、利用している定期的な教育・保育の事業（複数回答可）

【未就学：問 16-1・問 16-3】

- ・現在利用している定期的な教育・保育の事業については、「認可保育所」が半数以上（52.6%）を占め、次いで「幼稚園（通常の就園時間の利用）」（44.2%）となっている。
- ・また、利用している定期的な教育・保育の事業は、「御殿場市内」が9割以上（96.3%）を占めている。

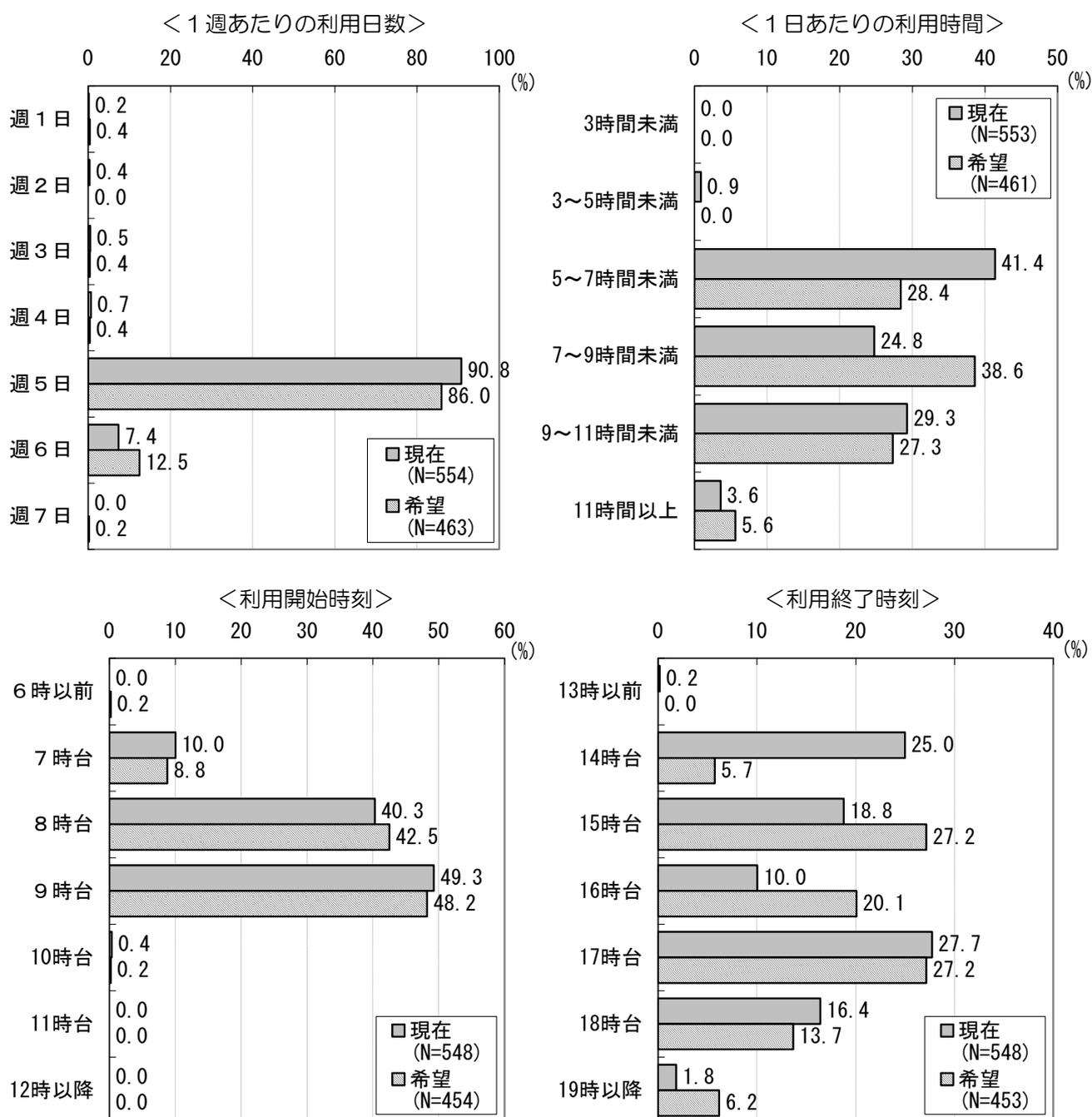


### 5-3 5-1で「利用している」と回答した人のみ

現在、利用している定期的な教育・保育の利用状況と希望

※無回答を除く集計【未就学：問16-2(1)・(2)】

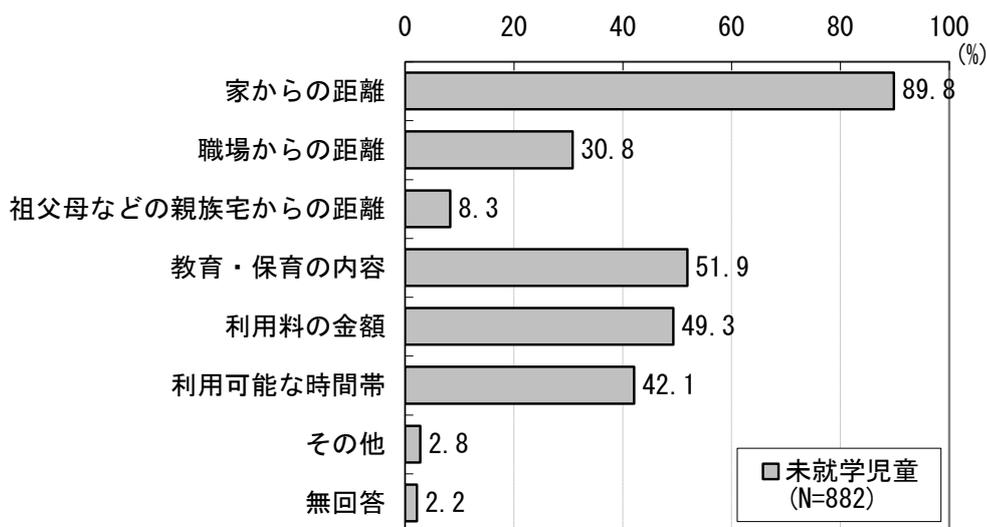
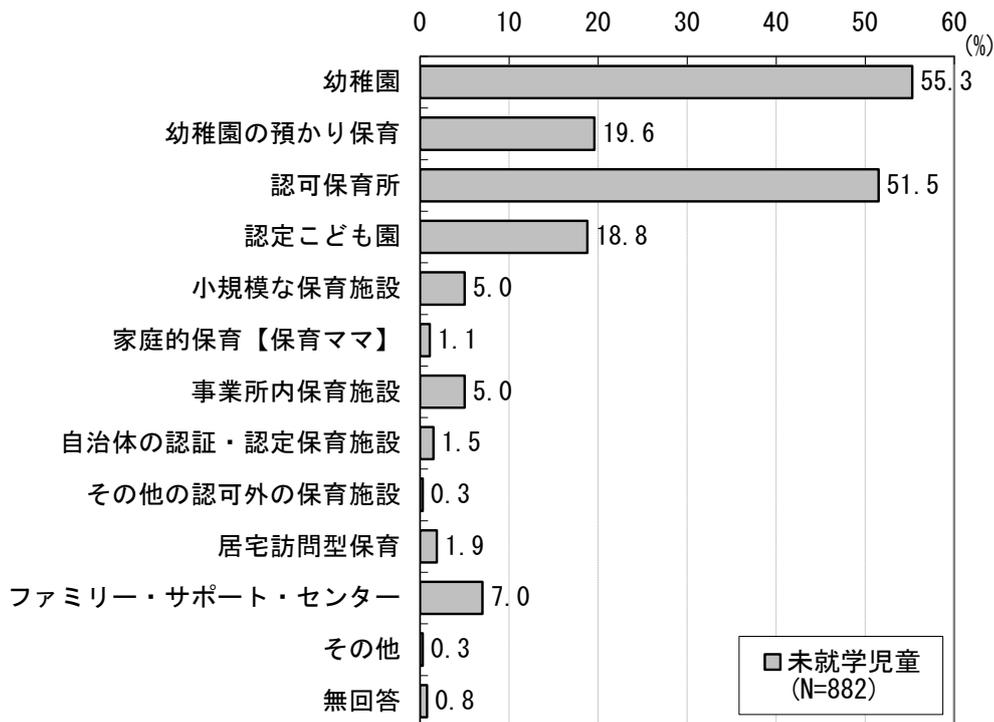
- ・現在利用している定期的な教育・保育の事業の利用状況については、現状では「週5日」の1日あたり「5～7時間未満」利用している人が最も多く、平均では1週あたり5.04日、1日あたり7.35時間となっている。
- ・希望では「週5日」の1日あたり「7～9時間未満」が最も多く、平均では1週あたり5.10日、1日あたり7.81時間と、やや増加している。
- ・利用開始時刻及び終了時刻をみると、利用開始時刻では現状と希望で大きな差異はないものの、利用終了時刻で現状に比べて希望が遅い時刻となっていることから、現在の利用時間後の延長保育を望む人が多いことが分かる。



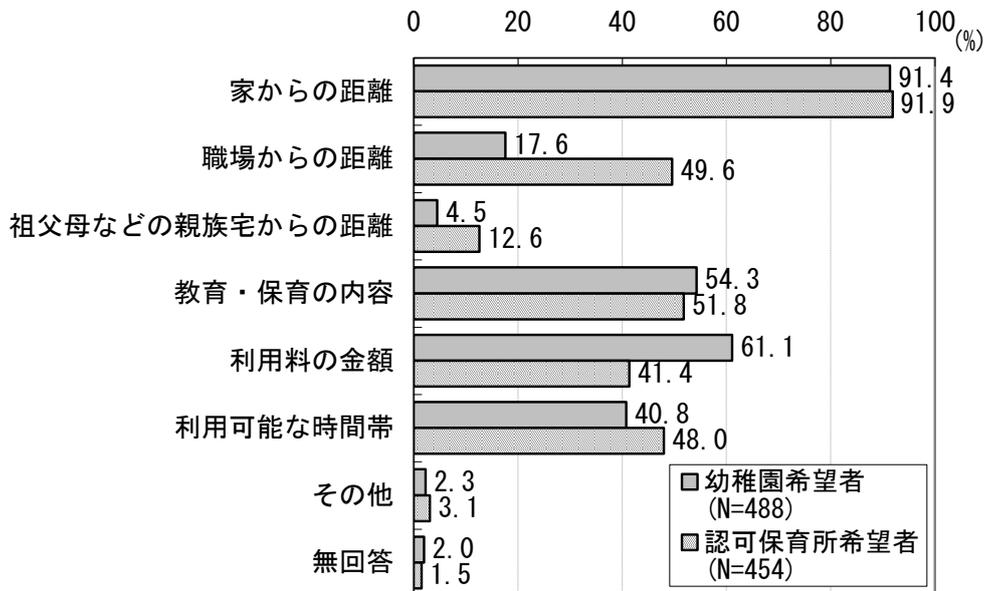
5-5 平日の定期的な教育・保育の事業に対する今後の利用意向（複数回答可）

【未就学：問 17・問 17-1】

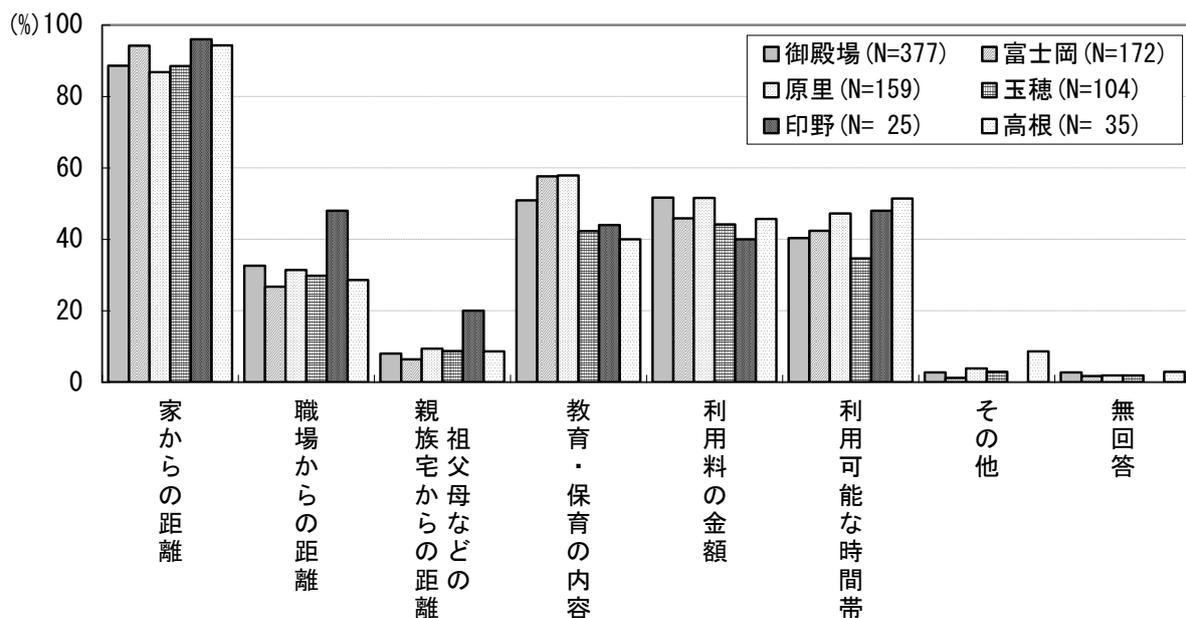
- ・今後、利用したい定期的な教育・保育の事業については、「幼稚園（通常の就園時間の利用）」及び「認可保育所」で半数を超える利用意向（幼稚園：55.3%、認可保育所：51.5%）がある。
- ・また、定期的な教育・保育の事業を選ぶ際の基準は、「家からの距離」が約9割（89.8%）を占め、保育内容や金額よりも近隣の保育事業への利用意向が高いことが分かる。



- ・定期的な教育・保育の事業を選ぶ際の基準について、利用希望の高い幼稚園、認可保育所に分けてそれぞれみると、ともに「家からの距離」が最も多いものの、認可保育所希望者では「職場からの距離」や「祖父母などの親族宅からの距離」、「利用可能な時間帯」が幼稚園希望者に比べて高く、通いやすさ・利用しやすさを重視している人が多い傾向を示している。
- ・一方で、幼稚園希望者では「教育・保育の内容」、「利用料の金額」が認可保育所希望者に比べて高い割合となっている。



- ・また、地域別にみると、回答割合の高い項目は同じ傾向となっているものの、「職場からの距離」、「祖父母などの親族宅からの距離」において、印野地区で他の地区に比べて高い割合となっている。

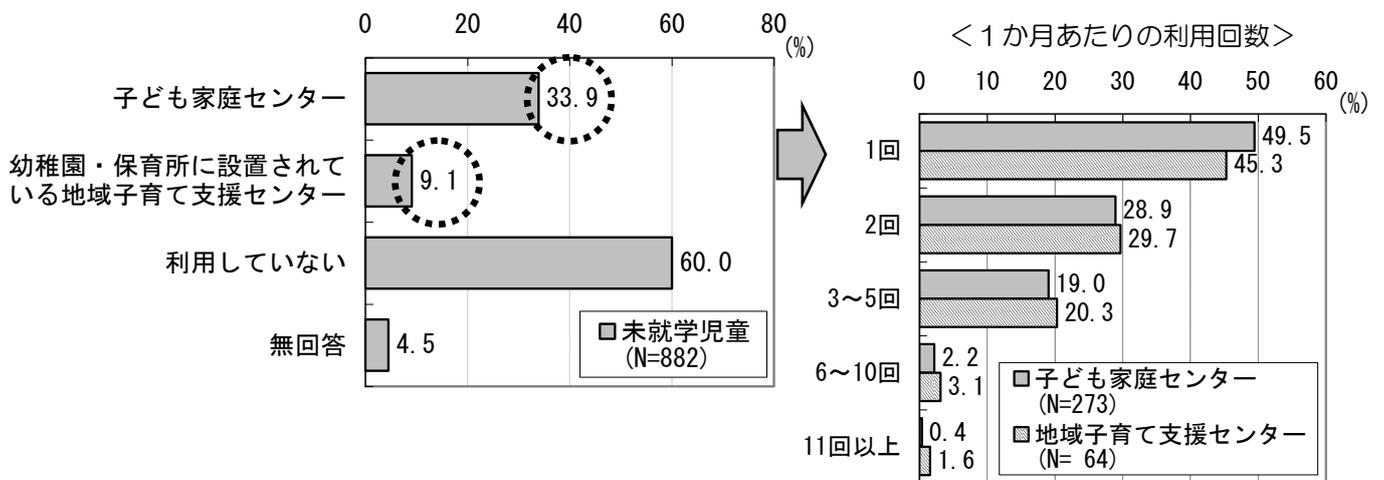


## 6. 地域の子育て支援事業の利用状況について

### 6-1 地域子育て支援拠点事業の利用状況（複数回答可） 及び、利用頻度（回数）

【未就学：問 18】

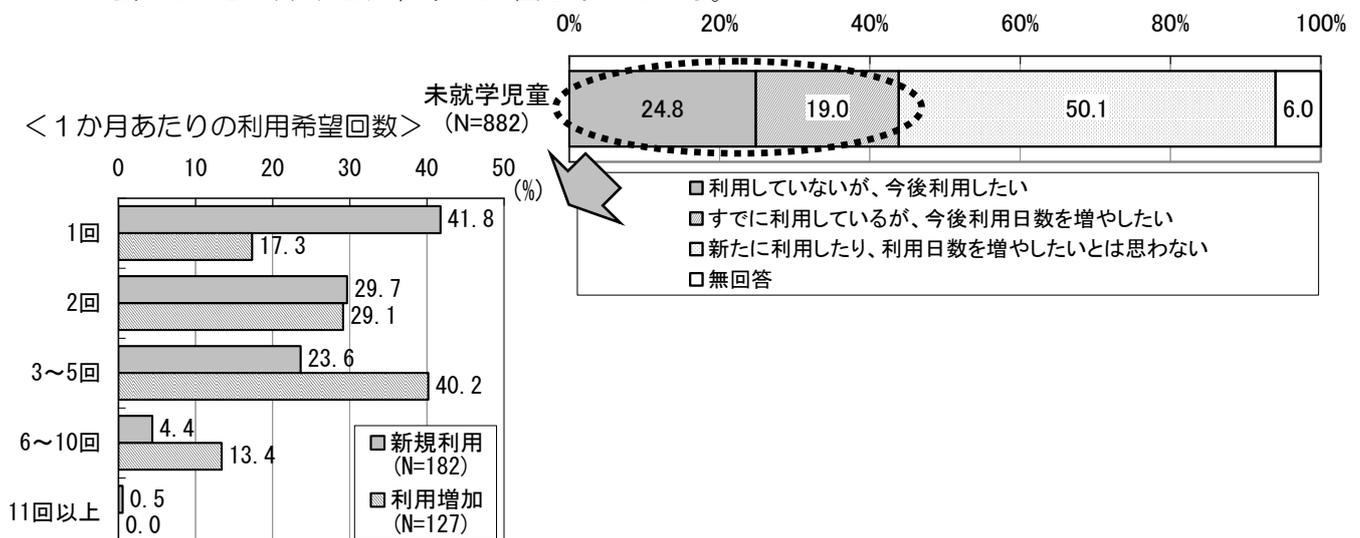
- ・地域子育て支援拠点事業の利用状況については、「利用していない」が約6割（60.0%）を占め、利用率は4割未満となっている。
- ・利用している人では、「子ども家庭センター」が3割以上（33.9%）を占める。その、利用頻度は1か月に「1回」が約半数を占め、平均利用回数は1か月あたり1.95回となっている。
- ・「幼稚園・保育所に設置されている地域子育て支援センター」の利用率は1割未満（9.1%）となっており、その利用頻度は1か月あたり2.06回と、子ども家庭センターと比べると利用者の利用頻度は高い結果となっている。



### 6-2 地域子育て支援拠点事業の今後の利用意向（単数回答） 及び、利用頻度（回数）

【未就学：問 18】

- ・今後の利用意向については、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」が約半数（50.1%）を占めるものの、「利用していないが、今後利用したい」の新規利用を希望する人が2割以上（24.8%）を占める。
- ・利用意向のある人の利用頻度は、新規利用者では1か月あたり平均2.43回、利用回数の増加を望む人では1か月あたり平均3.29回となっている。

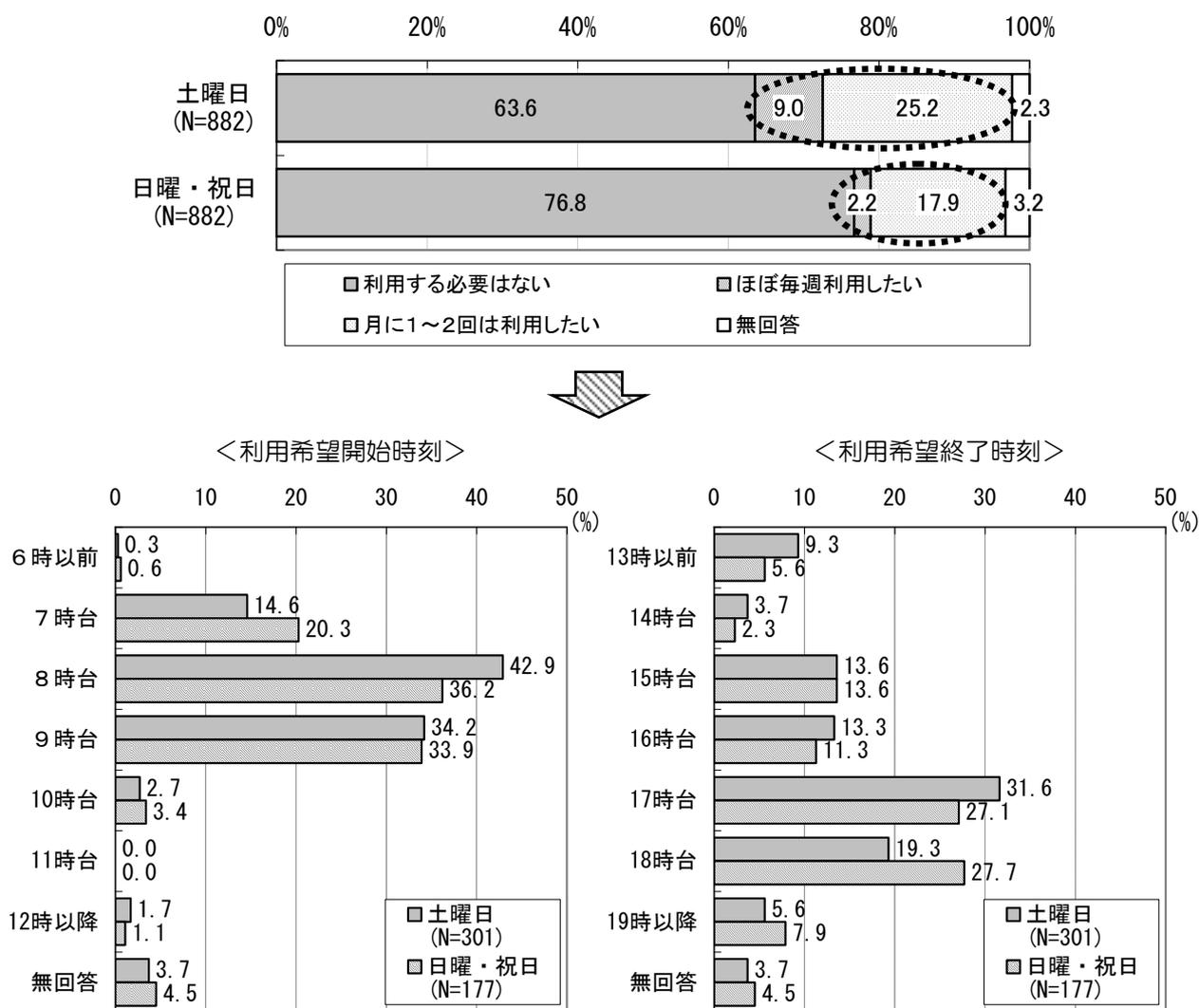


## 7. 土曜日や日曜日・祝日、長期休暇中の定期的な教育・保育の事業の利用について

### 7-1 土曜日・日曜日の定期的な教育・保育の事業の利用意向（単数回答）

【未就学：問 20(1)・(2)】

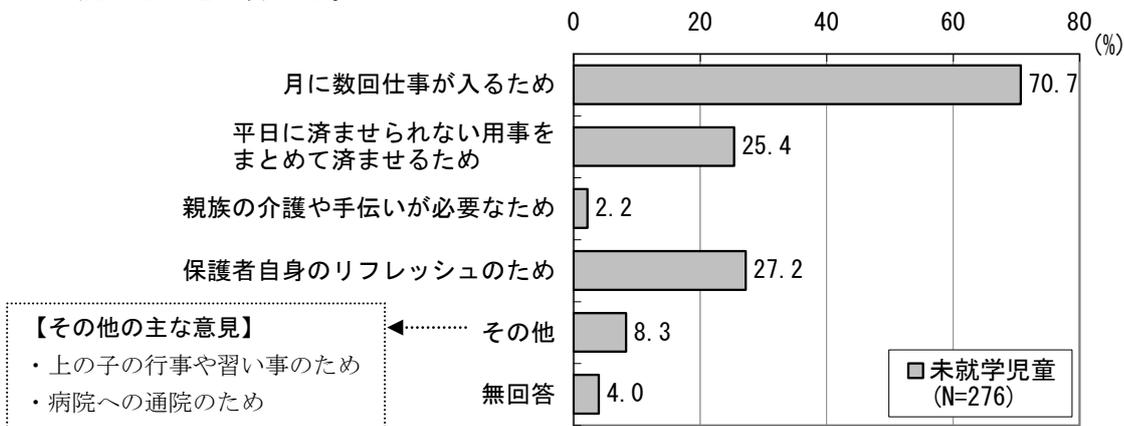
- ・土曜日、日曜日・祝日の定期的な教育・保育の事業の利用については、「利用する必要はない」がともに6割以上（土曜日：63.6%、日曜・祝日：76.8%）を占めている。
- ・利用意向のある人は土曜日で3割以上（34.2%）、日曜日・祝日で約2割（20.1%）を占めている。
- ・利用意向のある人の希望時間をみると、開始時刻では、土曜日、日曜日・祝日ともに「8時台」が最も多く、次いで「9時台」となっている。終了時刻では、土曜日は「17時台」が最も多いのに対し、日曜日・祝日では「17時台」および「18時台」で高い割合となっている。
- ・土曜日、日曜日・祝日の利用意向を比較すると、事業の利用意向は土曜日の方が高いものの、利用時間帯では日曜日・祝日の方が長い傾向を示している。



7-2 土曜日、日曜日・祝日に、毎週でなくたまに利用したい理由（複数回答可）

【未就学：問 20-1】

・土曜日、日曜日・祝日に、毎週ではなく、月に1～2回程度利用したい理由については「月に数回仕事が入るため」が約7割（70.7%）を占め、就労形態に応じて保育サービスへの利用ニーズが変わることが分かる。



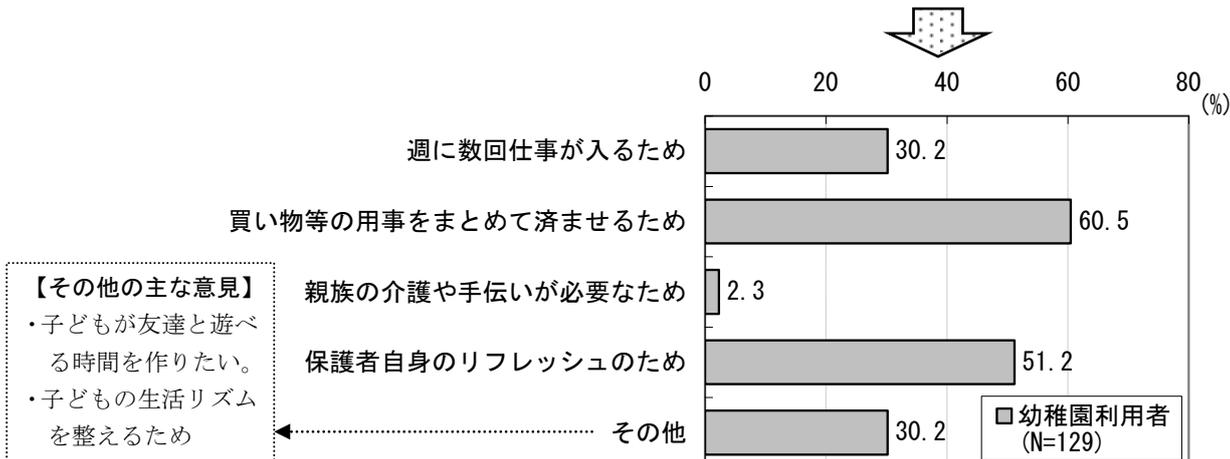
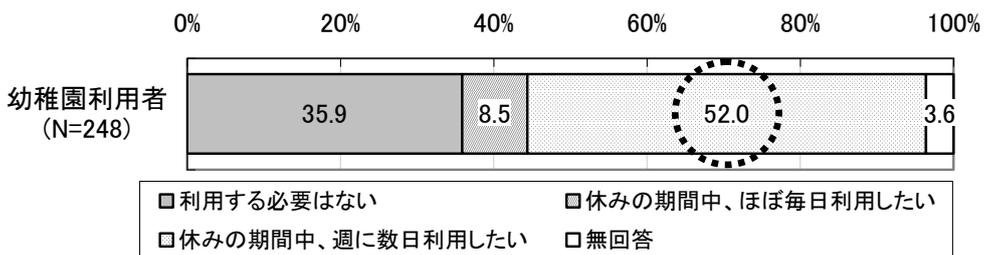
7-3 幼稚園を利用している人のみ

長期休暇中の定期的な教育・保育の事業の利用意向（単数回答）

【未就学：問 21・問 21-1】

・長期休暇中の定期的な教育・保育の事業の利用については、『利用したい』が約6割（60.5%）を占めている。毎日ではなく、週に数日利用したい理由については「買い物等の用事をまとめて済ませるため」が約6割（60.5%）を占め、次いで「保護者自身のリフレッシュのため」（51.2%）の順となっている。

・7-2の土曜日、日曜日・祝日の利用意向と比較すると、長期休暇中の利用希望理由については、買い物などを含む私用やリフレッシュ目的で利用を望む人が多いことが分かる。

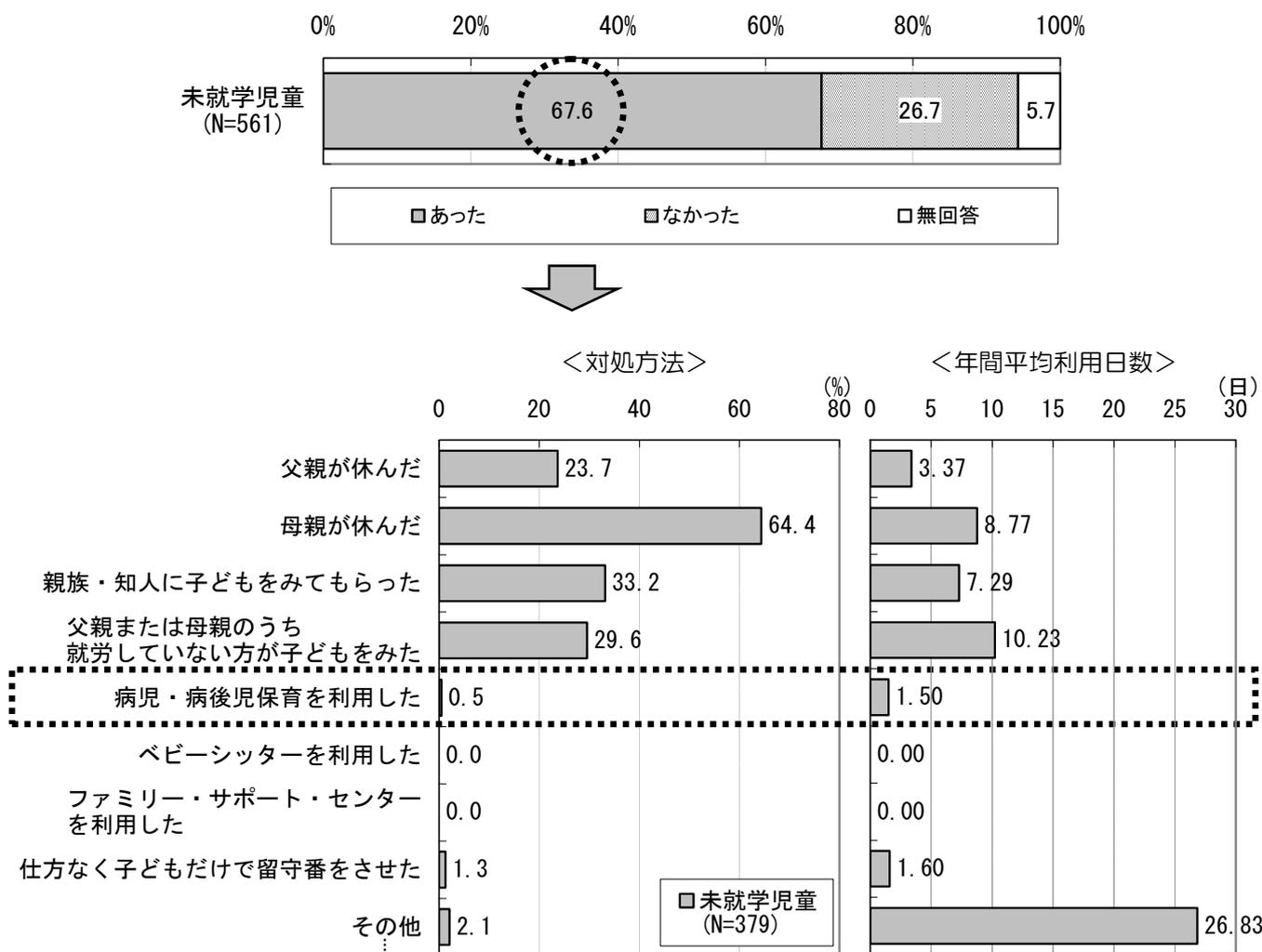


## 8. 病児・病後児保育について

### 8-1 過去1年間の病児・病後児保育の利用状況

【未就学：問 22・問 22-1】

- ・平日の定期的な教育・保育事業を利用している人で、過去1年間にお子さんが病気やケガで利用できなかったことについては、「あった」が6割以上（67.6%）を占めている。
- ・平日の定期的な教育・保育事業を利用しなかった日の対処方法については、「母親が休んだ」が6割以上（64.4%）を占め、「病児・病後児保育を利用した」人は0.5%となっている。
- ・また、その平均利用日数については、「父親または母親のうち就労していない方が子どもをみた」が年間平均10.23日、「母親が休んだ」が8.77日と多いのに対し、「父親が休んだ」は3.37日と少ない結果となっている。



#### 【その他の主な意見】

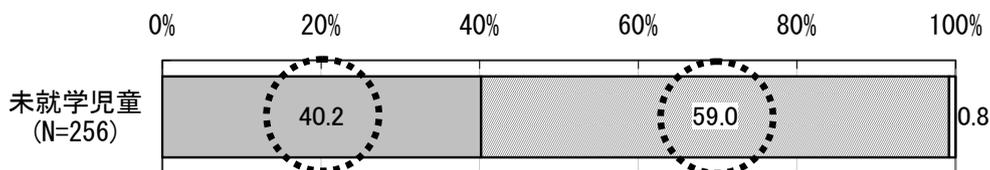
- ・夫・妻が交代で仕事をしているので休む必要はない。
- ・職場に連れていった

8-2 この1年で、子どもが病気やケガで保育サービスが利用できなかった時に父親または母親が仕事を休んだ人のみ

病児・病後児保育サービス対応の専門施設の利用意向（単数回答）、希望する事業形態（複数回答可） 及び、利用したいと思わない理由（複数回答可）

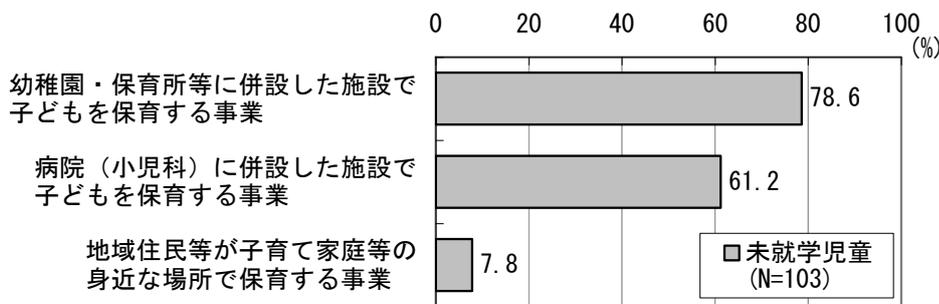
【未就学：問 22-2・問 22-3・問 22-4】

- ・病児・病後児保育サービス対応の専門施設については、「利用したいとは思わない」が「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」を上回る結果となっており、利用意向のある人の平均希望日数は、年間7.88日となっている。
- ・利用意向のある人の、利用したい事業形態については、「幼稚園・保育所等に併設した施設で子どもを保育する事業」が8割近く（78.6%）を占めている。
- ・利用意向のない人の理由については、「親が仕事を休んで対応する」が6割以上（64.9%）で最も多く、次いで「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」（51.7%）となっており、病気の際は親がみたいと考えている人が多いことが分かる。

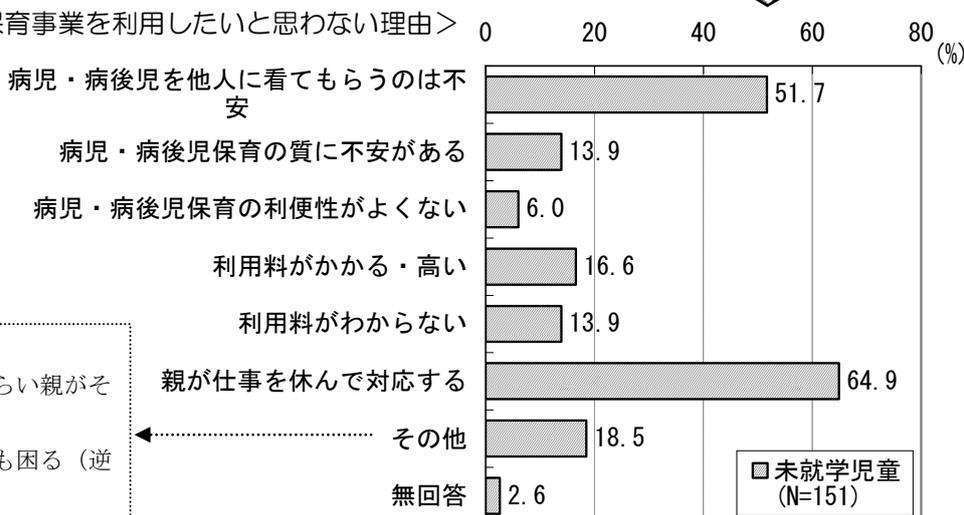


できれば病児・病後児保育施設等を利用したい  
 利用したいとは思わない  
 無回答

＜病児・病後児保育事業で希望する事業形態＞



＜病児・病後児保育事業を利用したいと思わない理由＞



【その他の主な意見】

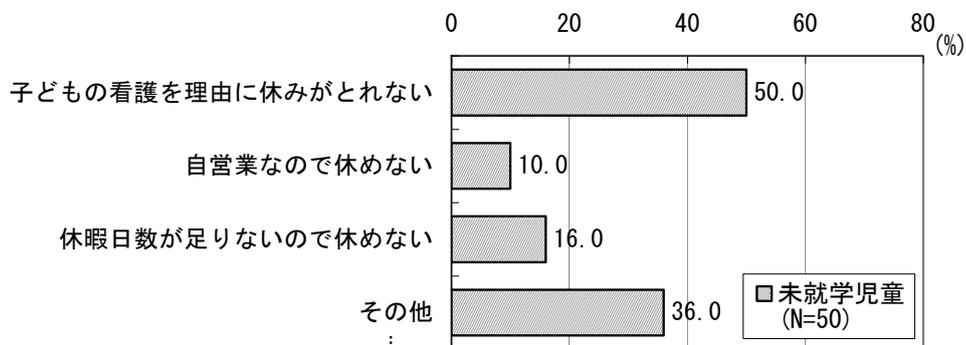
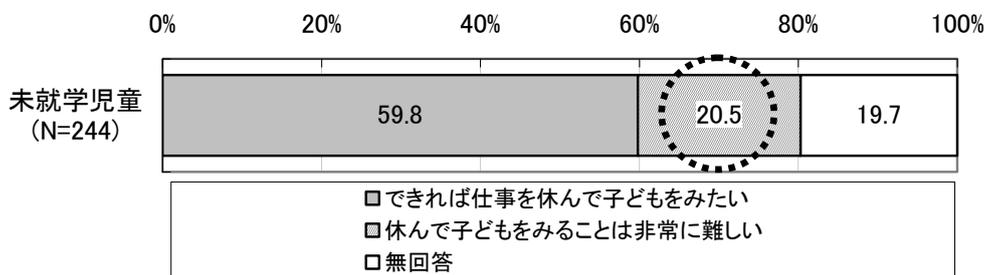
- ・子どもが病気の時くらい親がそばにいたい。
- ・他の病気をもらっても困る（逆にうつしても困る）

8-3 この1年で、子どもが病気やケガで保育サービスが利用できなかった時に父親または母親が仕事を休む以外で対処をした人のみ

仕事を休んで子どもをみたいと思ったかどうか（単数回答） 及び、仕事を休んで子どもをみるのが難しい理由（複数回答可）

【未就学：問 22-5・問 22-6】

- ・子どもが病気やケガで保育サービスが利用できなかった時に父親または母親が仕事を休む以外で対処をした人の仕事の休暇取得希望については、「できれば仕事を休んで子どもをみたい」が約6割（59.8%）を占め、大半の人が、親が仕事を休んで子どもをみたいと考えていることが分かる。
- ・仕事を休むことが難しいと回答した約2割（20.5%）の人の理由については、「子どもの看護を理由に休みがとれない」が約半数（50.0%）を占める。



【その他の主な意見】

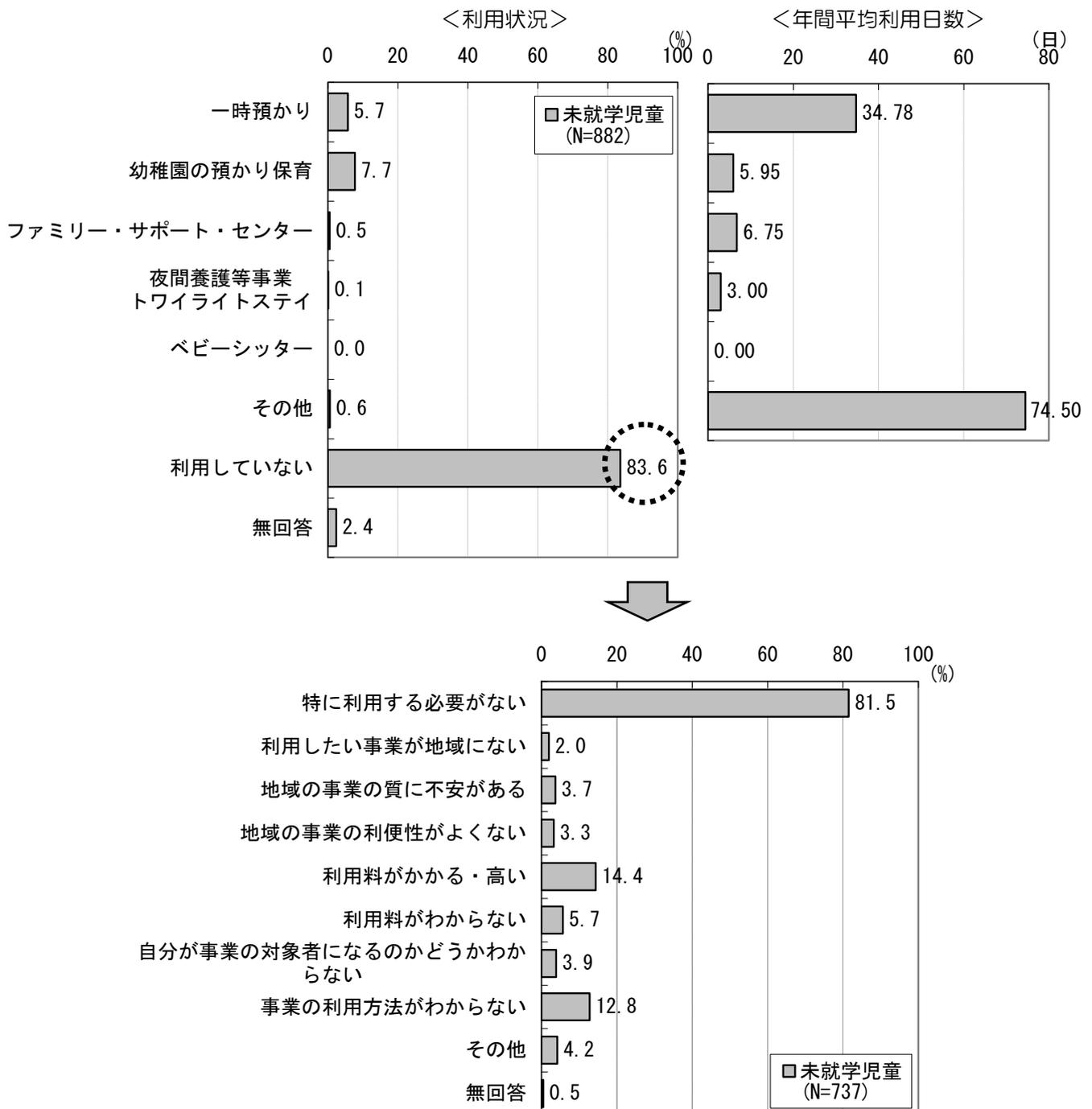
- ・仕事が忙しく休める状況でない。（何日も休みが続くと仕事に支障が出る、周りに迷惑がかかる）
- ・パートのため、給与より保育料が高くなってしまうと、働く意味がなくなってしまう。

## 9. 一時預かりについて

9-1 過去1年間の不定期での教育・保育事業の利用状況（複数回答可） 及び、不定期の教育・保育事業を利用していない理由（複数選択可）

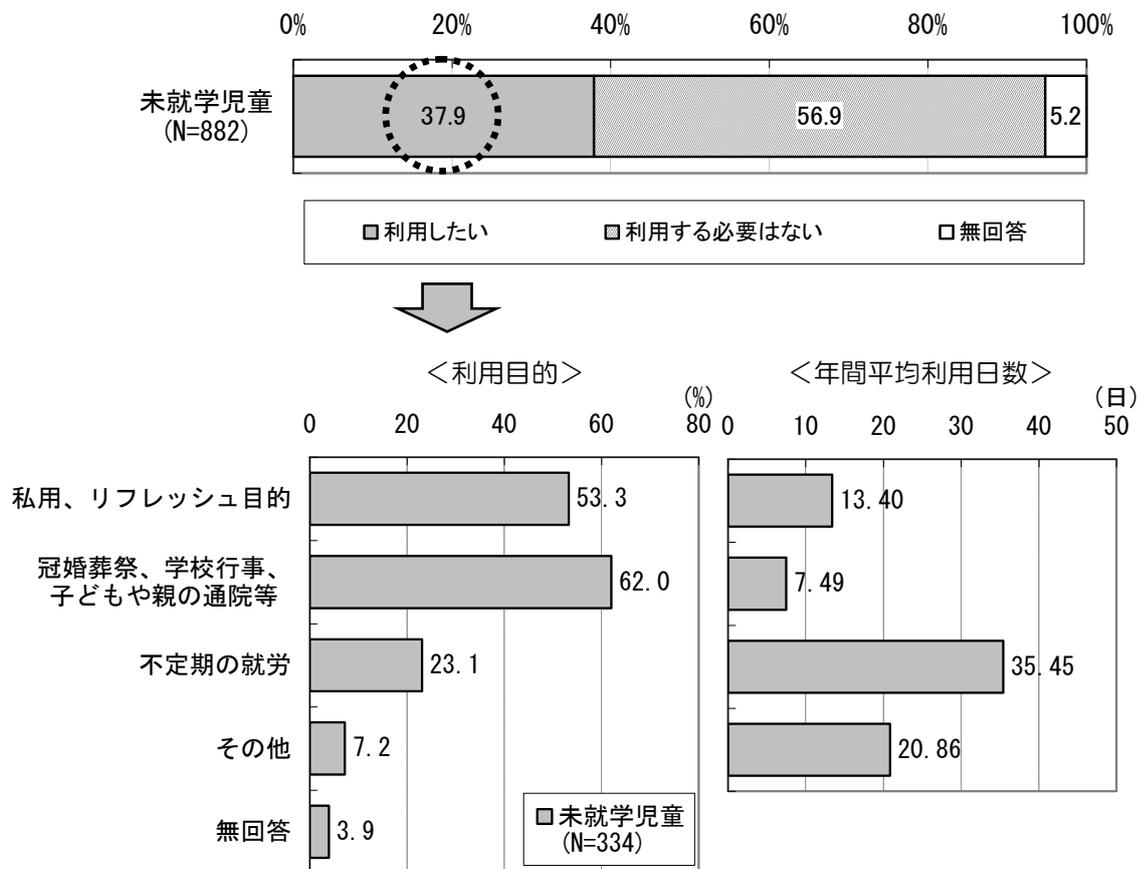
【未就学：問23・問23-1】

- ・ 不定期での教育・保育事業の利用状況については、「利用していない」が8割以上（83.6%）を占めており、利用している人は2割未満となっている。
- ・ 利用していない理由については、「特に利用する必要がない」が8割以上（81.5%）を占め、突出して高くなっている。また、「事業の利用方法がわからない」が1割以上（12.8%）を占める結果となっている。

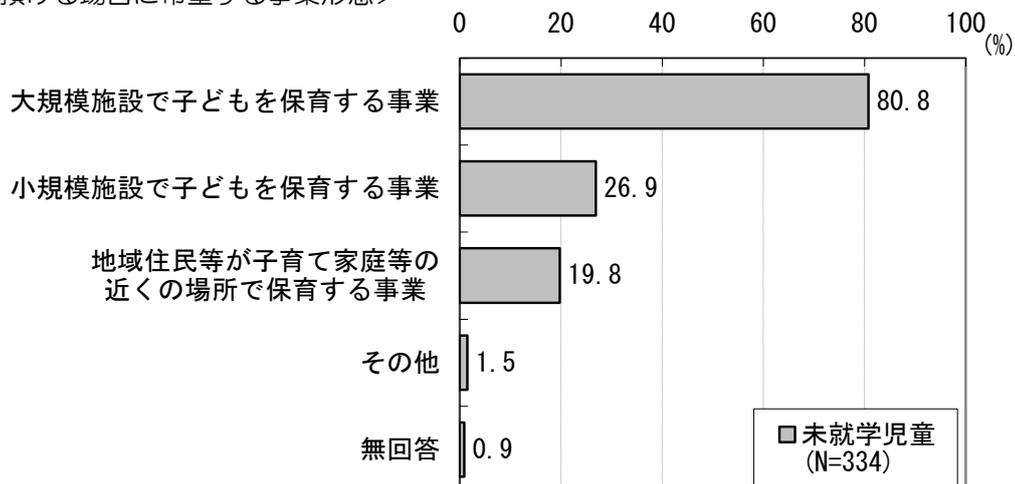


9-2 不定期での教育・保育事業の利用意向（単数回答） 及び、希望の事業形態（複数選択可）  
【未就学：問 24・問 24-1】

- ・不定期での教育・保育事業の今後の利用意向については、「利用する必要はない」が「利用したい」を上回っているものの、利用意向のある人が3割以上（37.9%）を占めている。
- ・利用意向のある人の利用目的については、「冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等」が6割以上（62.0%）で最も多く、次いで「私用、リフレッシュ目的」（53.3%）となっている。その平均年間利用日数では「不定期の就労」が最も多く、年間平均 35.45 日となっている。
- ・利用意向のある人の希望する事業形態については、「大規模施設で子どもを保育する事業」が約8割（80.8%）を占めている。

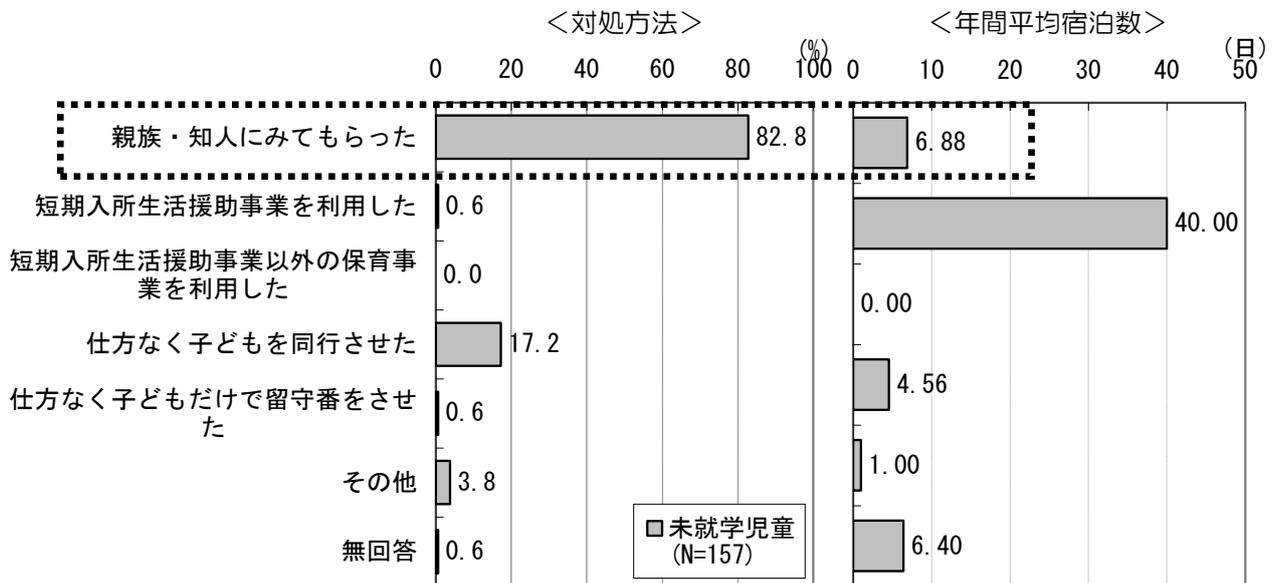
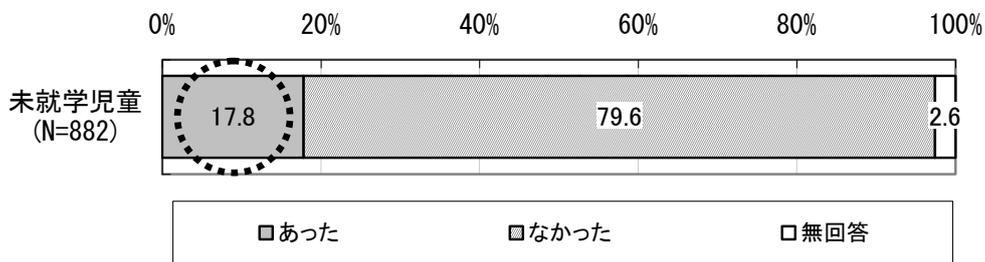


＜子どもを預ける場合に希望する事業形態＞

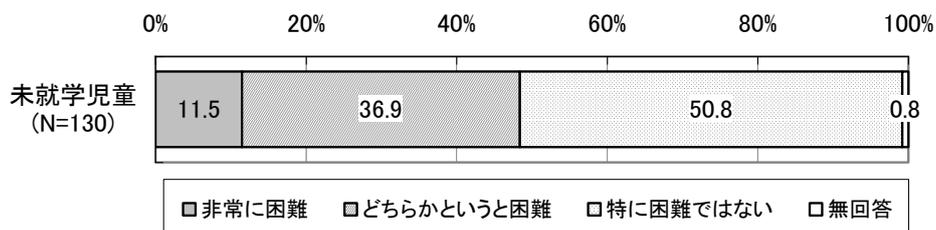


9-3 泊りがけで家族以外にみてもらわなければならなかったことの有無（単数回答）、  
その対象方法（複数回答可） 及び、親族・知人にみてもらった場合の困難度（単数回答）  
【未就学：問25・問25-1】

- ・保護者の用事により、泊りがけで子どもをみてもらわなければならないことについては、「なかった」が約8割（79.6%）を占め、「あった」と回答した人は2割未満（17.8%）となっている。
- ・家族以外の人に泊りがけで子どもをみてもらった人の対象方法については、「親族・知人にみてもらった」が大半（82.8%）を占める。
- ・親族・知人にみてもらった人の困難度については、「特に困難ではない」が約半数（50.8%）を占め最も多いものの、「非常に困難」と「どちらかという困難」を合わせた『困難』が半数近くを占める結果となっている。



<親族・知人にみてもらった場合の困難度>



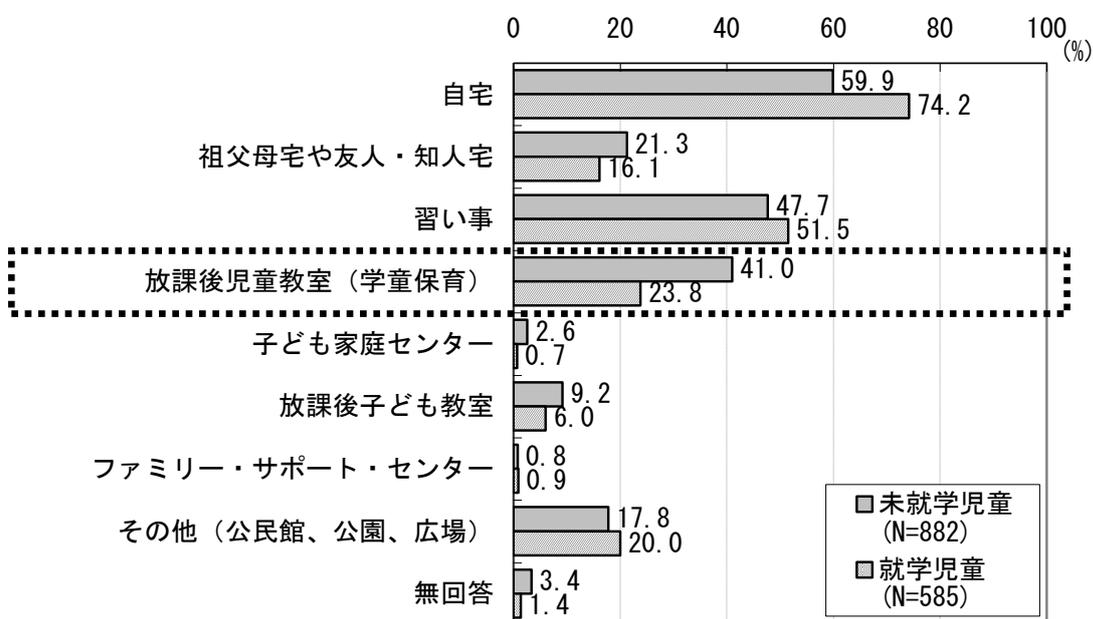
## 10. 放課後児童教室（学童保育）の利用状況について

### 10-1 小学校低学年時の放課後の過ごし方の希望（複数回答可）

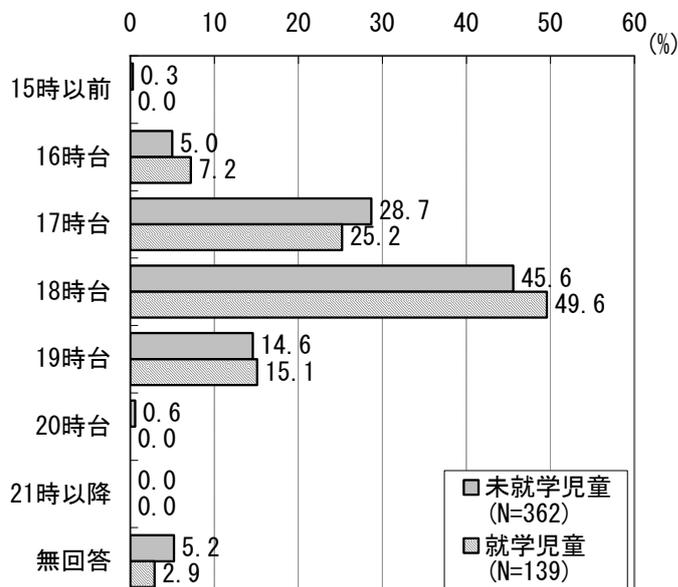
（未就学児童は今後の意向、就学児童は現状及び今後の意向）

【未就学：問 26、就学：問 16】

- ・未就学児童、就学児童ともに「自宅」が半数以上（未就学児童：59.9%、就学児童：74.2%）を占めている。
- ・放課後児童教室（学童保育）の利用意向は、未就学児童では4割以上（41.0%）に対し、就学児童では2割程度（23.8%）となっている。週あたりの利用希望日数は、未就学児童では3.25日、就学児童では3.95日となっている。
- ・また利用を希望する時刻については、未就学児童、就学児童ともに「18時台」が最も多い（未就学児童：45.6%、就学児童：49.6%）。未就学児童と比べると、就学児童の方が、やや遅い時刻までの利用（長い時間の利用）を望む人が多い傾向を示している。



### <放課後児童教室（学童保育）の利用希望時間>

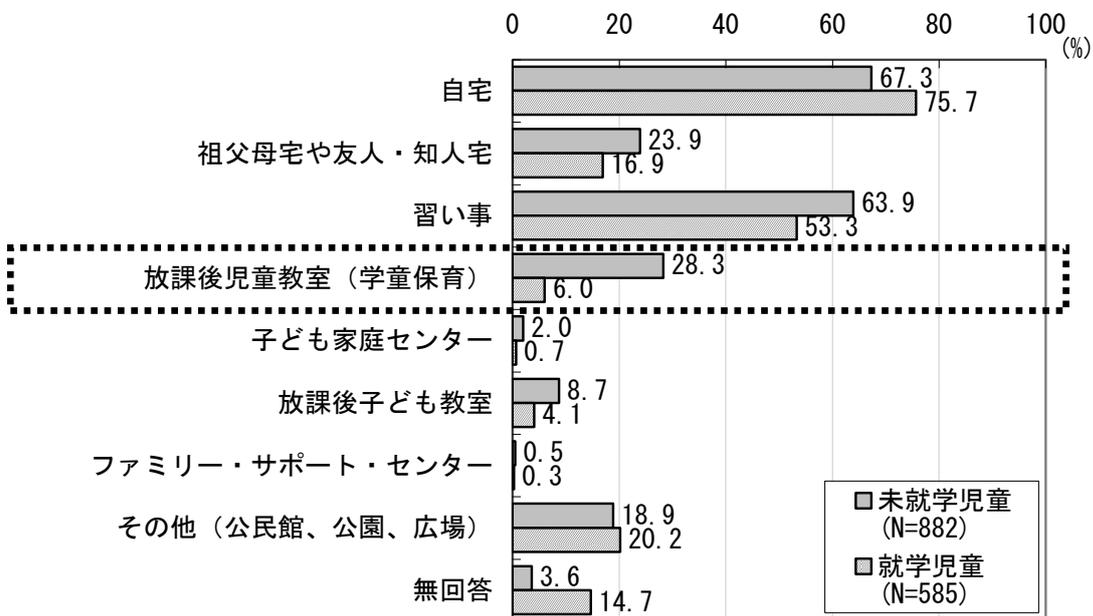


10-2 小学校高学年時の放課後の過ごし方の希望（複数回答可）

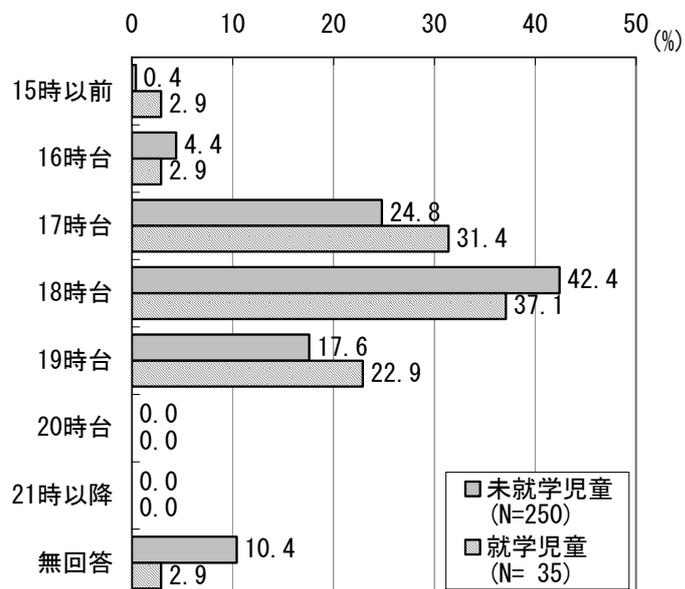
（未就学児童は今後の意向、就学児童は現状及び今後の意向）

【未就学：問 27、就学：問 17】

- ・未就学児童、就学児童ともに「自宅」が6割以上（未就学児童：67.3%、就学児童：75.7%）を占めている。
- ・放課後児童教室（学童保育）の利用意向は、未就学児童では3割近く（28.3%）に対し、就学児童では1割未満（6.0%）となっており、10-1と比較すると、低学年時での利用意向が高いことが分かる。
- ・また利用を希望する時刻については、未就学児童、就学児童ともに「18時台」が最も多い（未就学児童：42.4%、就学児童：37.1%）。



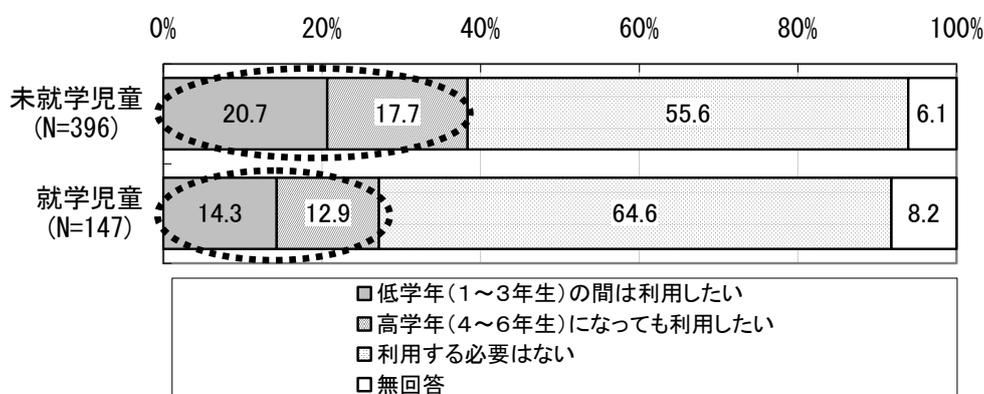
<放課後児童教室（学童保育）の利用希望時間>



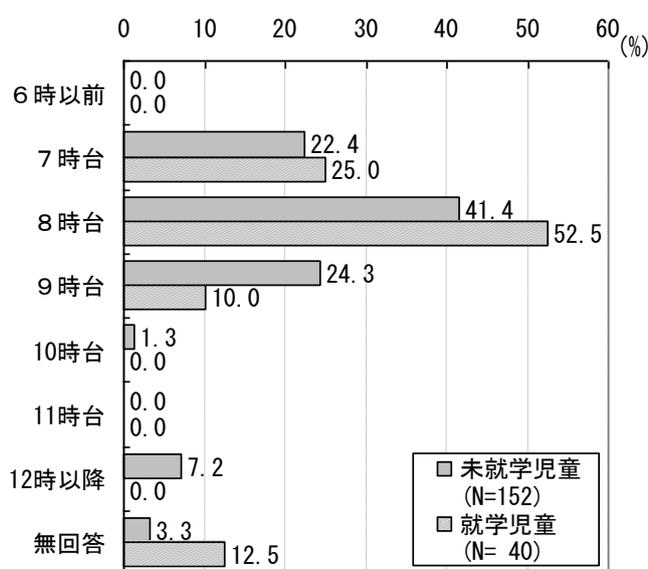
10-3 土曜日の放課後児童教室（学童保育）の利用意向（単数回答）

【未就学：問 28(1)、就学：問 18(1)】

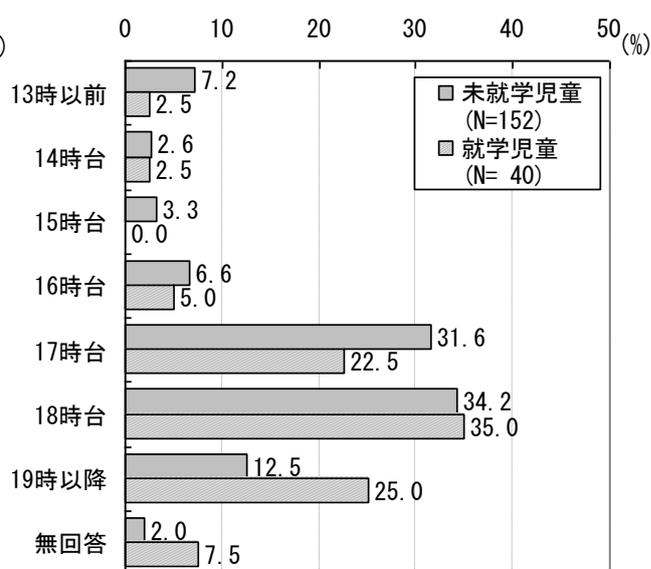
- ・未就学児童、就学児童ともに「利用する必要はない」が半数以上（未就学児童：55.6%、就学児童：64.6%）を占めている。
- ・放課後児童教室（学童保育）の利用意向のある人をみると、未就学児童、就学児童ともに低学年時のみの利用意向が高いものの、高学年も継続しての利用を含めると低学年時の利用意向は未就学児童では4割近く（38.4%）、就学児童では2割以上（27.2%）を占めている。
- ・利用意向のある人の希望する開始時刻及び終了時刻をみると、利用開始時刻では未就学児童、就学児童ともに「8時台」が最も多く、利用終了時刻では「18時台」が最も多い。未就学児童に比べて就学児童の方が、開始時刻は早く、終了時刻は遅い時間を希望する人が多く、長い時間の利用を望む人が多い傾向を示している。



<利用希望開始時刻>



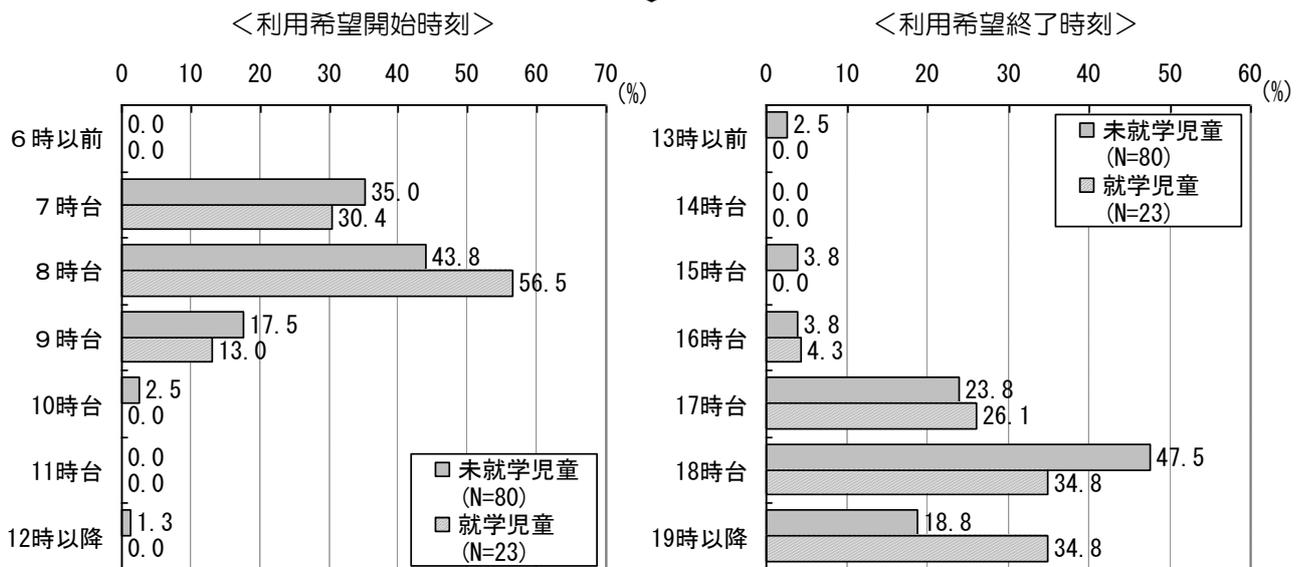
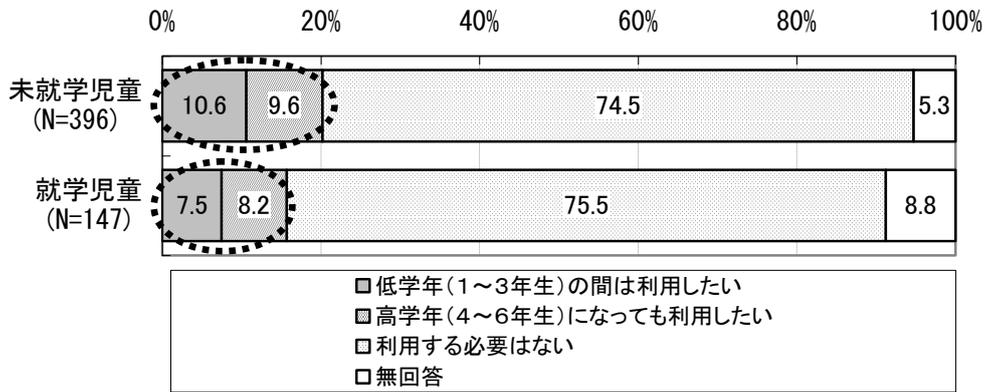
<利用希望終了時刻>



10-4 日曜日・祝日の放課後児童教室（学童保育）の利用意向（単数回答）

【未就学：問 28(2)、就学：問 18(2)】

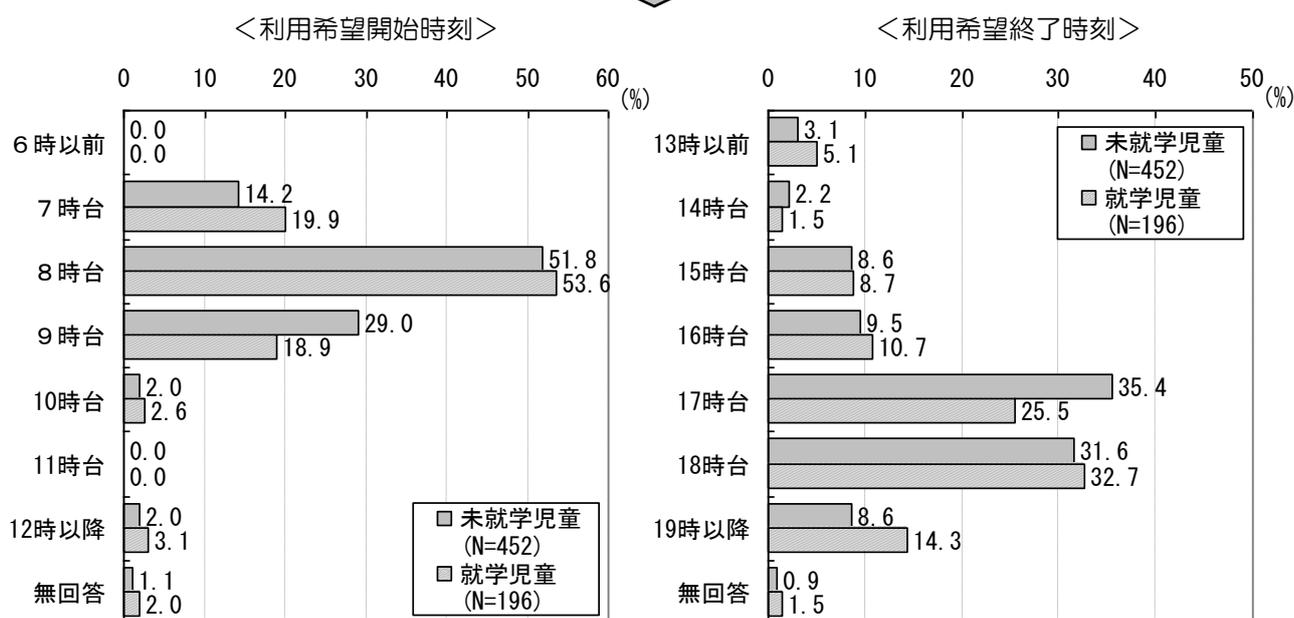
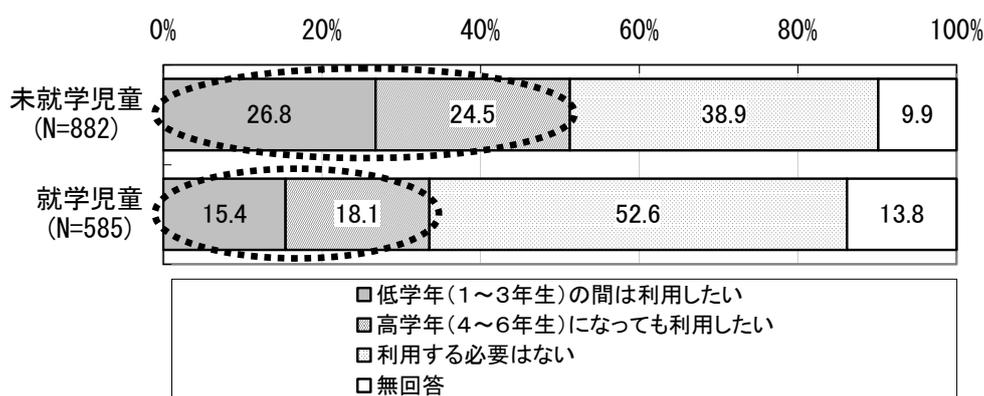
- ・未就学児童、就学児童ともに「利用する必要はない」が7割以上（未就学児童：74.5%、就学児童：75.5%）を占めている。
- ・放課後児童教室（学童保育）の利用意向のある人をみると、未就学児童、就学児童ともに低学年時のみの利用意向が高いものの、高学年も継続しての利用を含めると低学年時の利用意向は未就学児童では約2割（20.2%）、就学児童では1割以上（15.7%）を占めている。
- ・利用意向のある人の希望する開始時刻及び終了時刻をみると、利用開始時刻では未就学児童、就学児童ともに「8時台」が最も多く、利用終了時刻では「18時台」が最も多い。未就学児童に比べて就学児童の方が、開始時刻は早く、終了時刻は遅い時間を希望する人が多く、長い時間の利用を望む人が多い傾向を示している。
- ・10-3と比較すると、日曜日・祝日に比べて、土曜日での放課後児童教室（学童保育）の利用意向が高いことが分かる。



10-5 長期休暇期間中の放課後児童教室（学童保育）の利用意向（単数回答）

【未就学：問 29、就学：問 19】

- ・未就学児童、就学児童ともに「利用する必要はない」が最も多く（未就学児童：38.9%、就学児童：52.6%）を占めている。
- ・放課後児童教室（学童保育）の利用意向のある人をみると、未就学児童では低学年時のみの利用意向が高いのに対し、就学児童では高学年時の継続利用意向が高くなっている。高学年も継続しての利用を含めると低学年時の利用意向は未就学児童では半数以上（51.3%）、就学児童では3割以上（33.5%）を占めている。
- ・利用意向のある人の希望する開始時刻及び終了時刻をみると、利用開始時刻では未就学児童、就学児童ともに「8時台」が最も多く、利用終了時刻では未就学児童では「17時台」、就学児童では「18時台」が最も多い。未就学児童に比べて就学児童の方が、開始時刻は早く、終了時刻は遅い時間を希望する人が多く、長い時間の利用を望む人が多い傾向を示している。
- ・10-3、10-4と比較すると、土曜日や日曜日・祝日に比べて、長期休暇期間中の放課後児童教室（学童保育）の利用意向が高いことが分かる。

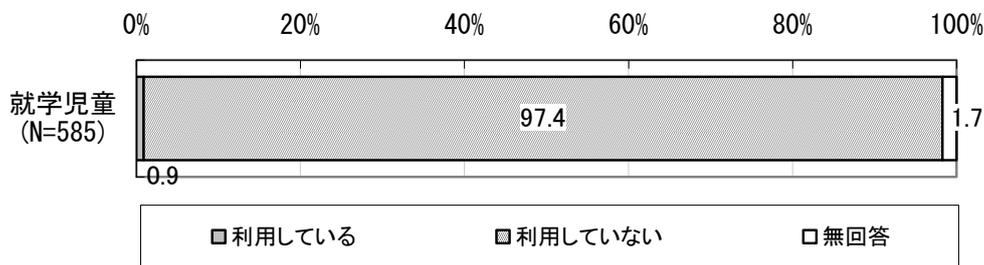


## 11. ファミリー・サポート・センターの利用について

### 11-1 ファミリー・サポート・センターの利用状況（単数回答）

【就学：問 20・問 20-1・問 20-2】

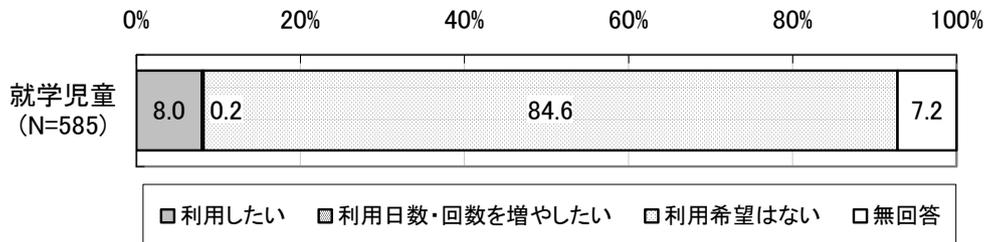
- ・ファミリー・サポート・センターの利用については、「利用していない」が大半（97.4%）を占め、利用している人は1%未満（0.9%：5人）となっている。
- ・利用している5人の利用目的については、「祖父母や近所の人・友人等に預かってもらえないときに利用している」が2人と最も多く、その他では「主たる保育事業として利用している」、「放課後児童教室等の利用で足りない分の時間を補う目的で利用している」、「子どもの病気・ケガ等の緊急時に利用している」の回答となっている。
- ・利用頻度では、月あたり平均1.75日、1回あたり平均4.75時間となっている。



### 11-2 ファミリー・サポート・センターの今後の利用意向（単数回答）

【就学：問 21】

- ・ファミリー・サポート・センターの今後の利用については、「利用希望はない」が8割以上（84.6%）を占め、「利用したい」と「利用日数・回数を増やしたい」を合わせた『利用したい』は1割未満（8.2%）となっている。
- ・利用意向のある人の利用頻度については、月あたり平均3.46日、1回あたり平均3.17時間となっており、現在の利用状況と比較すると、短い利用時間で回数を多く利用したい人が多いことが分かる。

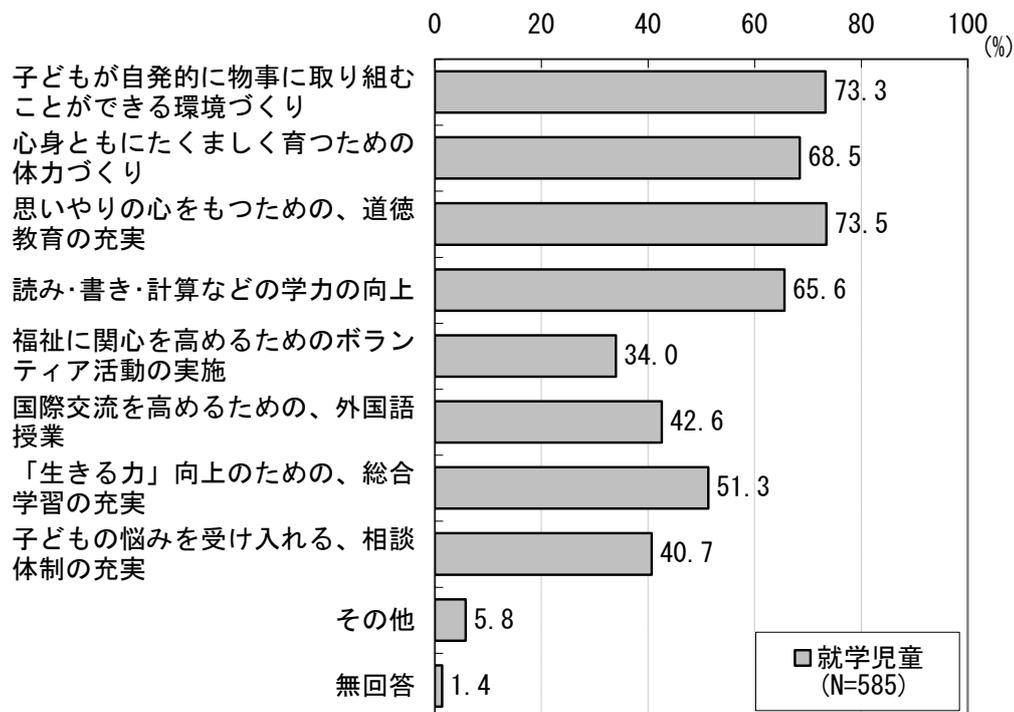


## 12. 学校教育について

12-1 学校教育において、子どもの健全な育成のために今後取り組むべきだと思うこと  
(複数回答可)

【就学：問 22】

- ・学校教育において今後取り組むべきだと思うことについては、「思いやりの心をもつための、道徳教育の充実」、「子どもが自発的に物事に取り組むことができる環境づくり」がともに7割以上を占めている。



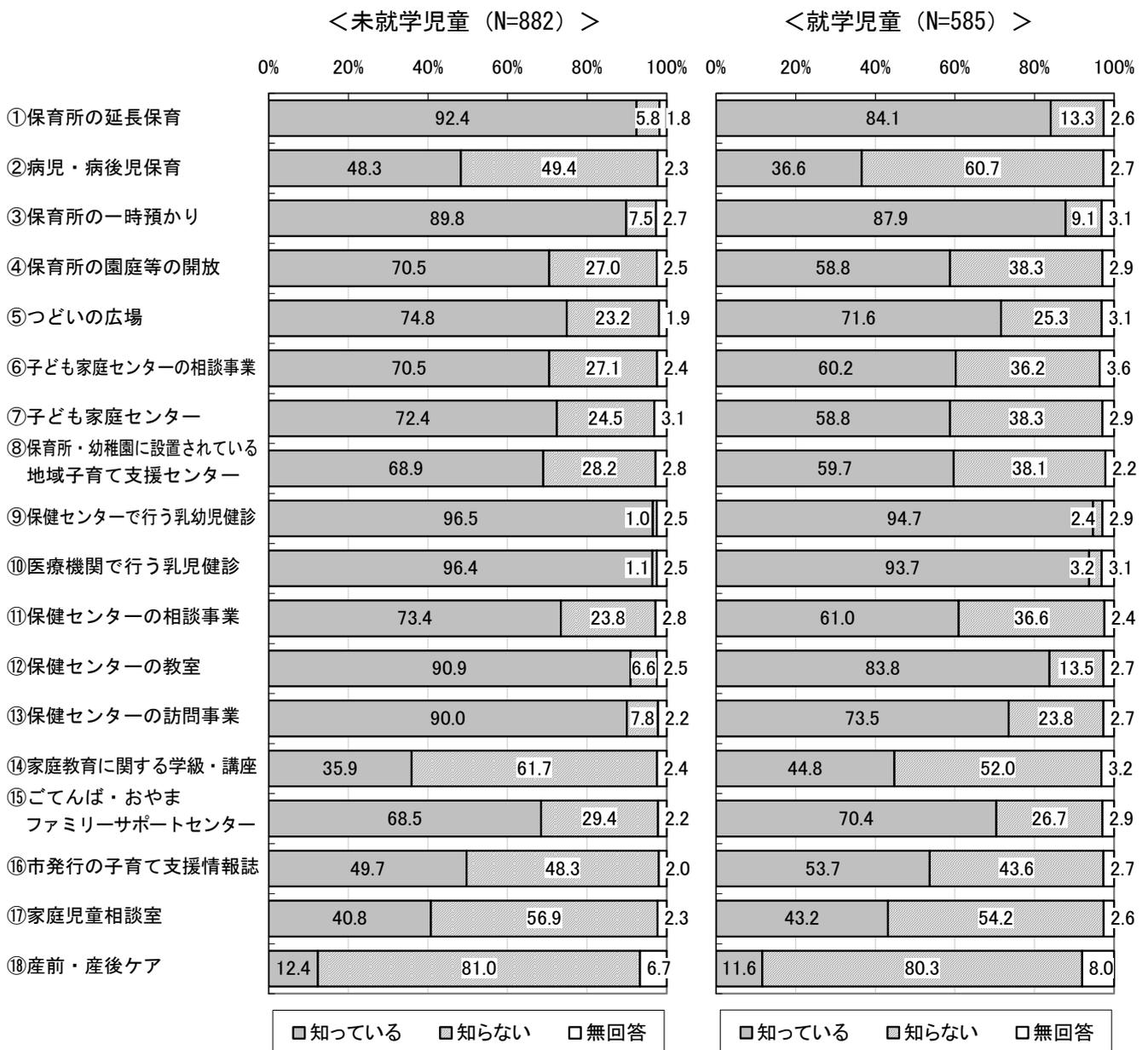
### 13. 子育て支援事業の認知度・利用意向について

#### 13-1 御殿場市で実施している事業の認知度と今後の利用意向（単数回答）

【未就学：問 31、就学：問 23】

##### (1) 認知度

- ・“保健センターで行う乳幼児健診”や“医療機関で行う乳児健診”などの健診に関しては、未就学児童、就学児童ともに高い認知度となっている。
- ・保育所や保健センターの事業に関しては、未就学児童を持つ保護者の方が就学児童を上回っており、“家庭教育に関する学級・講座”や“家庭児童相談室”などの相談事業に関しては、就学児童を持つ保護者の方が未就学児童を上回っており、子どもの成長に応じたサービスの認知度がより高くなっている。

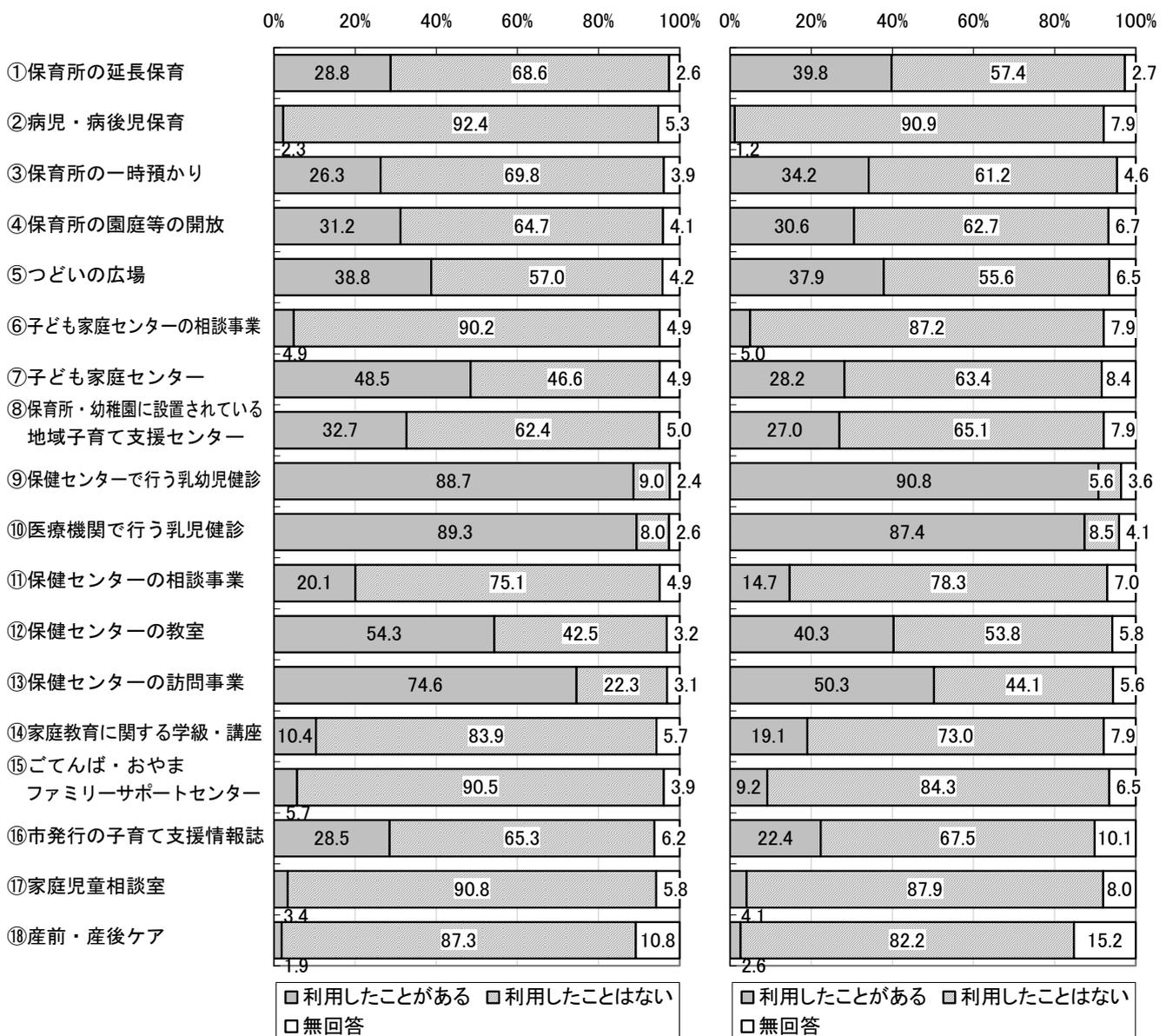


(2) 利用有無

- ・半分以上の事業において、未就学児童を持つ保護者の方が各種サービスに対する利用率が高くなっており、特に“子ども家庭センター”、“保健センターの訪問事業”では就学児童を2割以上上回る利用率となっている。
- ・保健センターや子ども家庭センターの事業に関しては、未就学児童を持つ保護者の方が就学児童を上回っており、“家庭教育に関する学級・講座”に関しては、就学児童を持つ保護者の方が未就学児童を上回っており、子どもの成長に応じたサービスの利用率がより高くなっている。
- ・“保育所の延長保育”や“保育所の一時預かり”など、保育所事業の利用率に関しては、就学児童を持つ保護者の方が未就学児童を上回る結果となっている。

<未就学児童 (N=882) >

<就学児童 (N=585) >

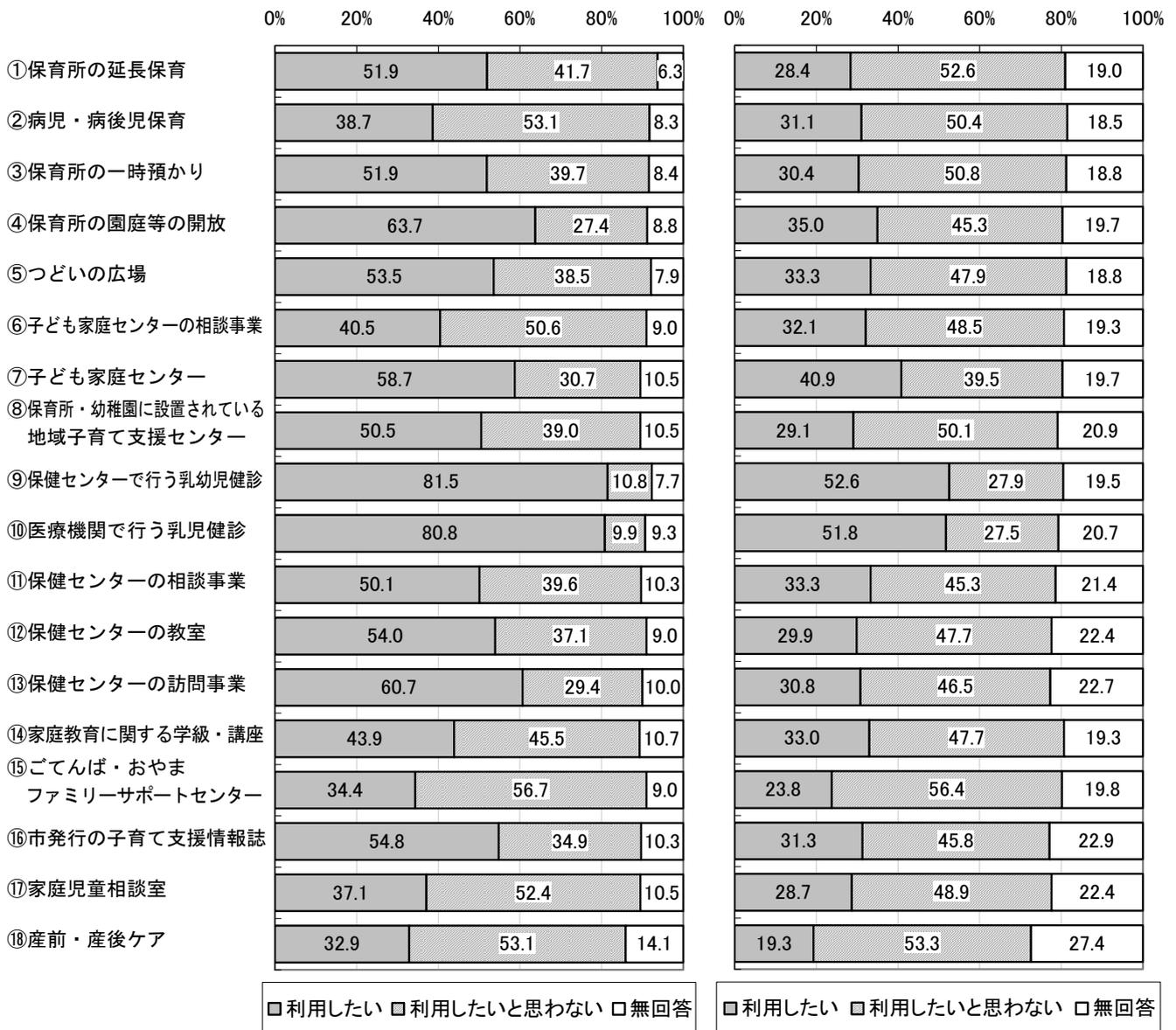


(3) 今後の利用意向

- ・大半の項目において、未就学児童を持つ保護者の方が各種サービスに対する利用意向が高くなっている。
- ・認知度の高い保育所や保健センターの事業に加え、“市発行の子育て支援情報誌”の利用意向に関しても、未就学児童を持つ保護者の方が就学児童を大幅に上回っており、子育てに関する情報提供サービスの利用意向が高い。
- ・“家庭教育に関する学級・講座”や“家庭児童相談室”などの相談事業に関しては、就学児童を持つ保護者の方が未就学児童を持つ保護者より認知度は高いものの、利用意向は総じて低くなっている。

<未就学児童 (N=882) >

<就学児童 (N=585) >

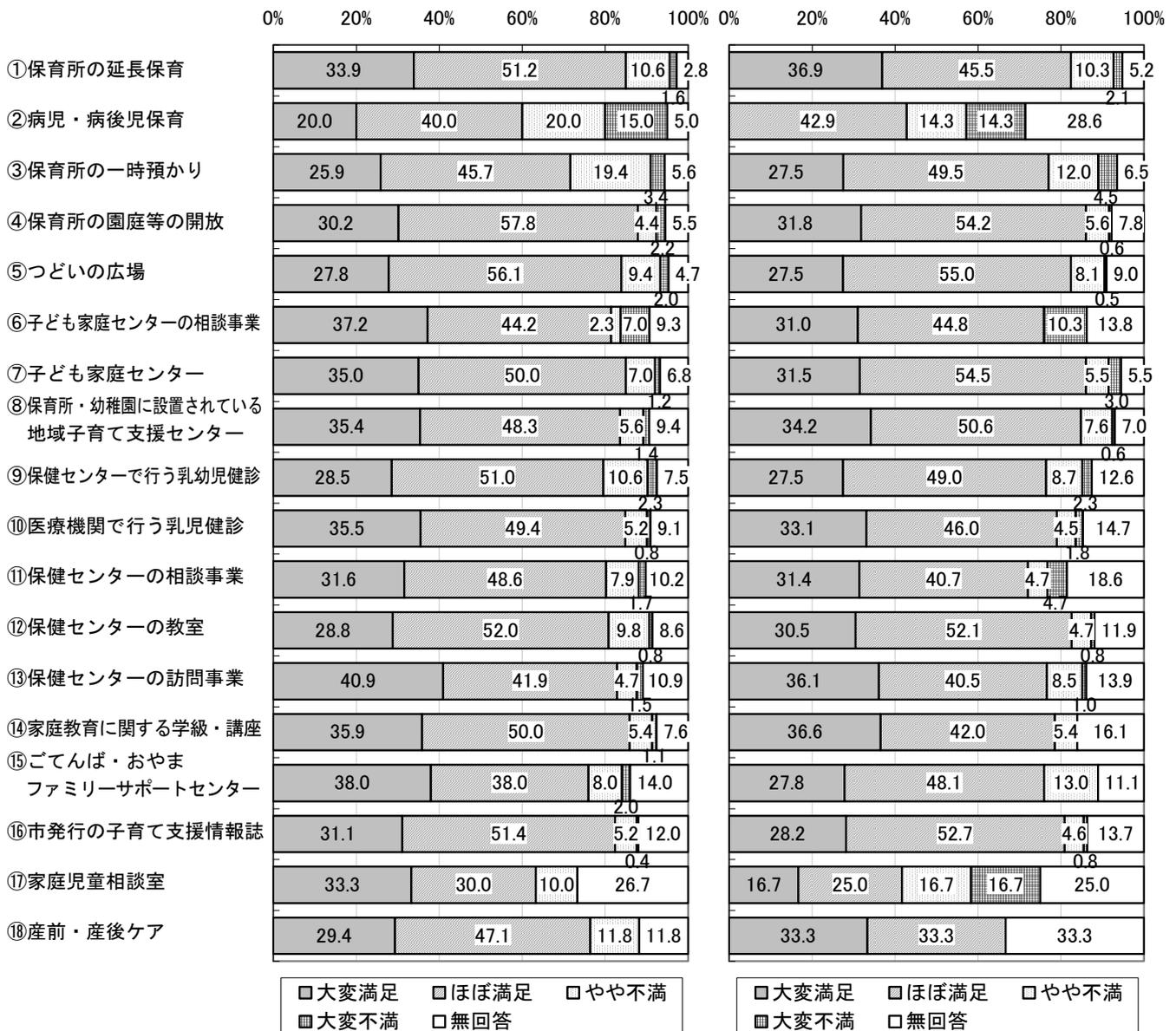


(4) 満足度（各事業者の利用者のみ）

- ・各種サービスに対する利用者の満足度については、ほとんどの項目において、『満足』（「大変満足」と「ほぼ満足」を合わせた割合）が大半を占めており、特に“保育所の園庭等の開放”で未就学児童、就学児童ともに最も高い満足度（未就学児童：88.0%、就学児童：86.0%）となっている。
- ・未就学児童と就学児童を比較すると、未就学児童の方が、就学児童に比べて満足度が高い。
- ・未就学児童では全ての事業で『満足』が6割以上となっているのに対し、就学児童では、“病児・病後児保育”、“家庭児童相談室”において、『満足』が半数未満と低い結果となっている。この2事業については、就学児童での『不満』（「やや不満」と「大変不満」を合わせた割合）が2割以上を占める結果となっている。

<未就学児童>

<就学児童>

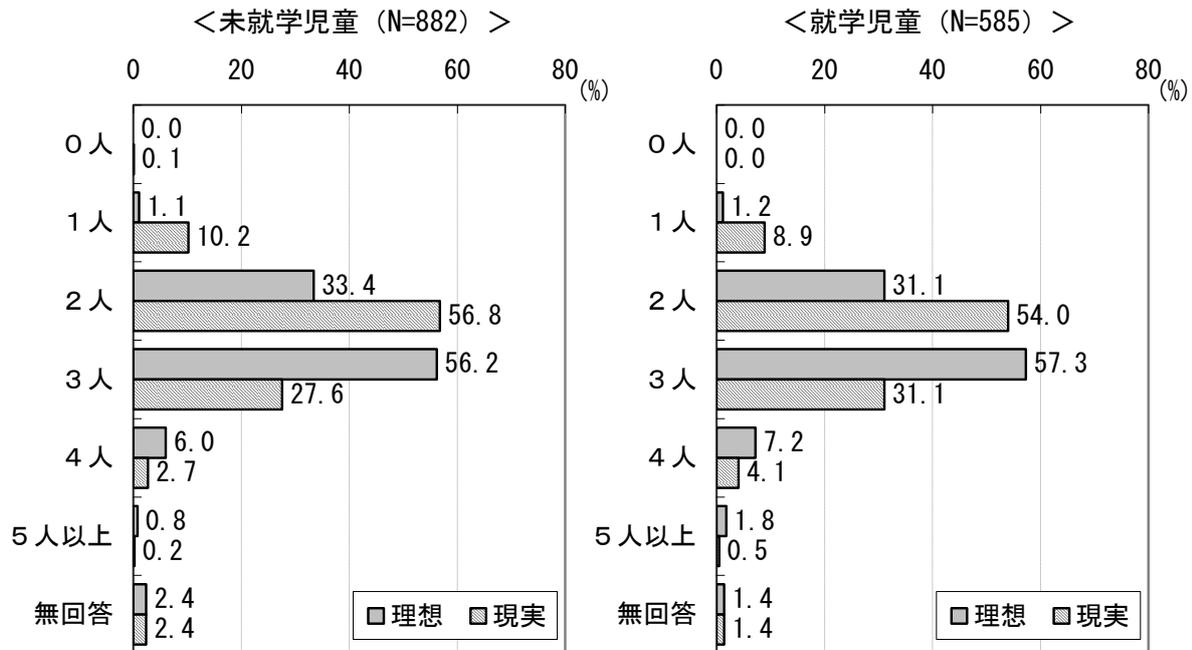


## 14. 子育てに関する一般的な事項について

### 14-1 子どもの人数の理想と現実的に子育てが可能な子どもの人数

【未就学：問 32、就学：問 24】

- ・未就学児童、就学児童ともに理想では「3人」が半数以上（未就学児童：56.2%、就学児童：57.3%）を占めているのに対し、現実的に子育てが可能な人数では「2人」が半数以上（未就学児童：56.8%、就学児童：54.0%）を占めている。

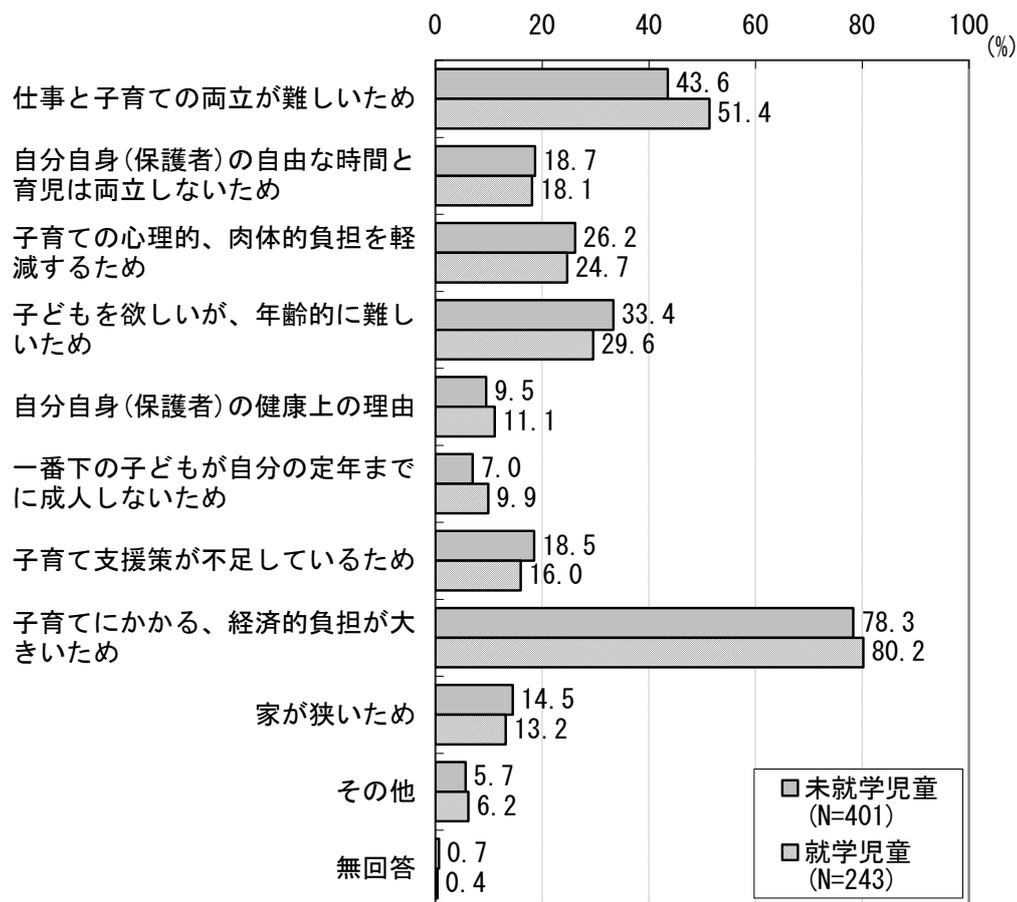


14-2 14-1で理想より現実的に子育て可能な人数が少ない人のみ対象

理想より現実的に子育てが可能な子どもの人数が少ない理由（複数回答可）

【未就学：問 32-1、就学：問 24-1】

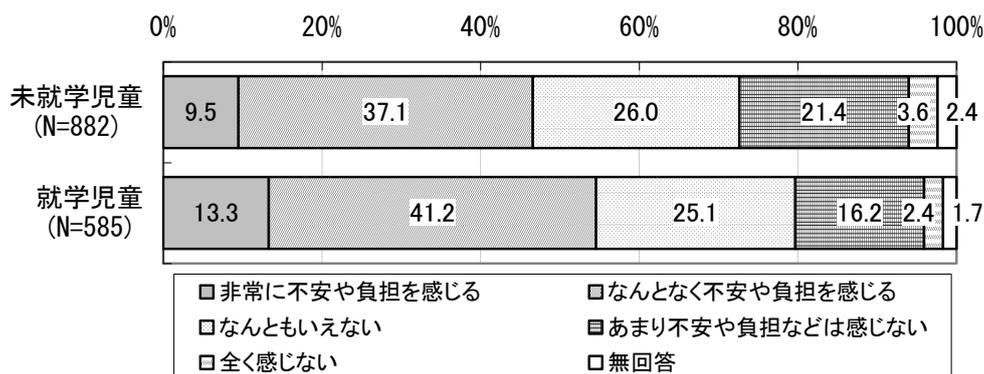
- ・未就学児童、就学児童ともに、「子育てにかかる経済的負担が大きい」が約8割（未就学児童：78.3%、就学児童：80.2%）を占め、次いで「仕事と子育ての両立が難しい」ため（未就学児童：43.6%、就学児童：51.4%）となっている。



14-3 子育てに関する不安や負担（単数回答）

【未就学：問 33、就学：問 25】

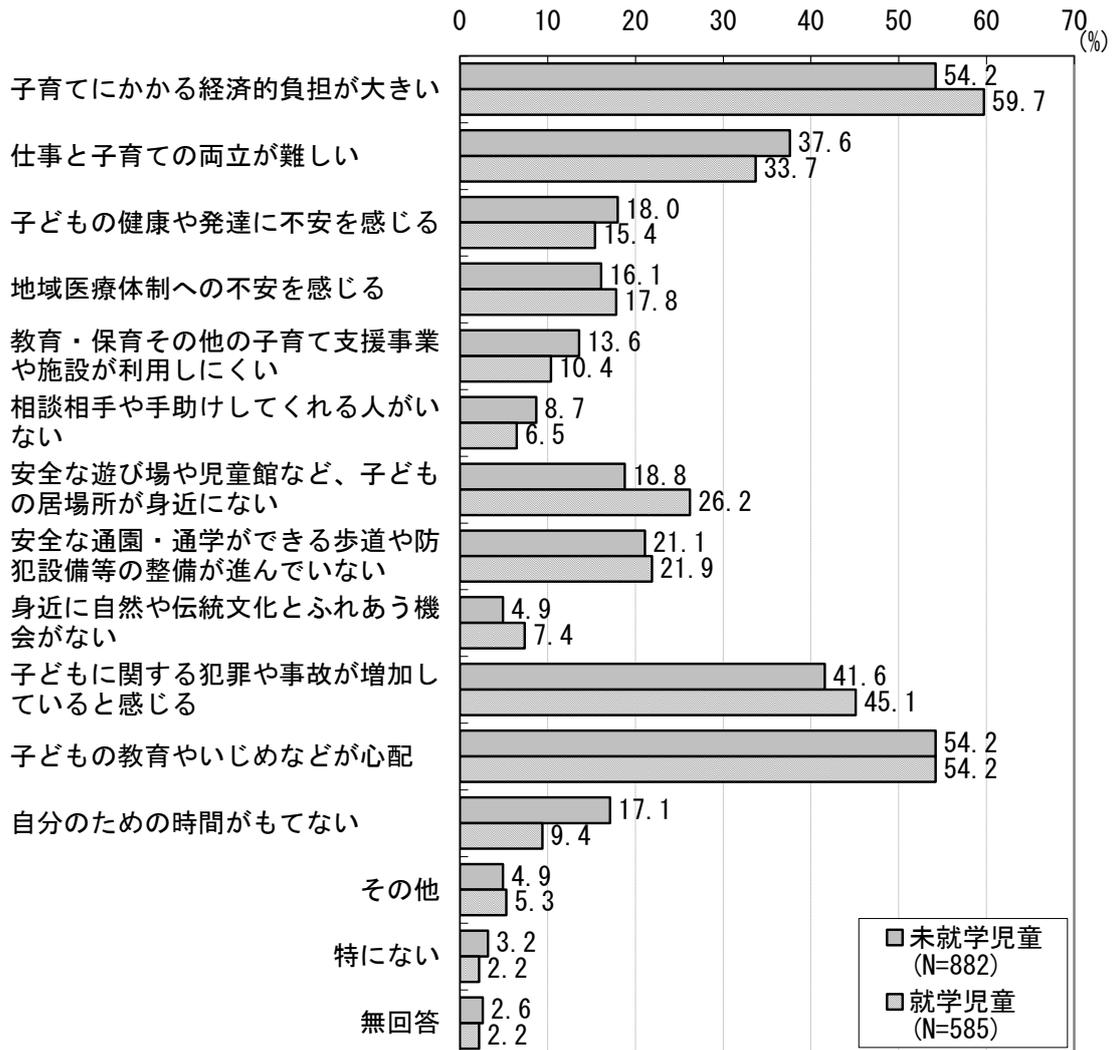
- ・未就学児童、就学児童ともに「なんとなく不安や負担を感じる」が4割程度（未就学児童：37.1%、就学児童：41.2%）を占めて最も多く、「非常に不安や負担を感じる」と合わせると、不安や負担を感じている人が、就学前児童で46.6%、就学児童では54.5%を占めている。



14-4 子育てをする上で、不安に思っていることや悩んでいること（複数回答可）

【未就学：問 34、就学：問 26】

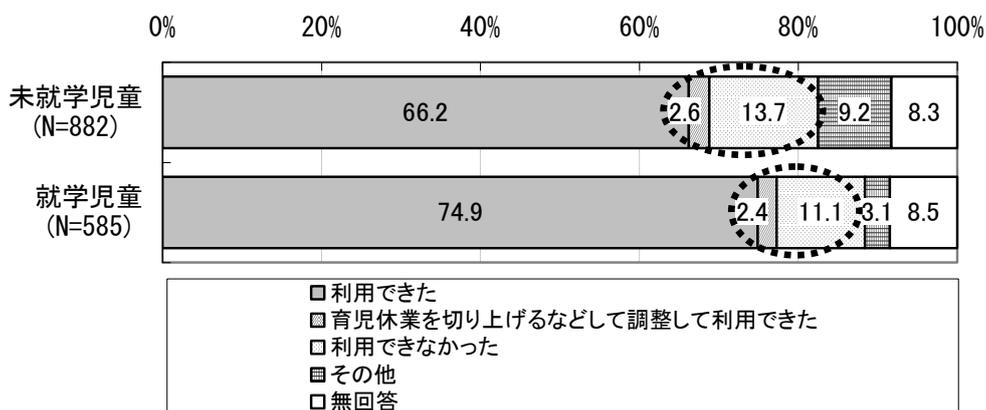
- ・未就学児童、就学児童ともに「子育てにかかる経済的負担が大きい」が最も多く（未就学児童：54.2%、就学児童：59.7%）を占めて最も多く、次いで「子どもの教育やいじめなどが心配」（未就学児童：54.2%、就学児童：54.2%）となっている。
- ・14-2と同様に、子育てをする上で、子育てにかかる経済的負担が大きいと感じている人が多いことが分かる。



#### 14-5 希望した時期の希望した事業の利用について（単数回答）

【未就学：問 35・問 35-1、就学：問 27・問 27-1】

- ・未就学児童、就学児童ともに「利用できた」が最も多く（未就学児童：66.2%、就学児童：74.9%）大半の人が、希望した時期に希望した事業を利用できているという結果となっている。
- ・一方で、「利用できなかった」がともに1割以上（未就学児童：13.7%、就学児童：11.1%）を占める。



#### ◆ 未就学児童（主な意見）

意見
・一時保育を利用したかったが、前月から予約しないと希望する日に利用できなかった。
・保育所での一時預かりを希望したが、初めての場所に、いきなり子どもを入れるのに抵抗があった。
・職場復帰に合わせた保育所入所をしたかった。
・できれば早く保育所に入所したかったが、入所困難だったため、託児所を利用したが、料金が高かった。赤ちゃんでも入所ができる様対応してほしい（待機児童が多い）。
・仕事（パート）をしたかったが長期休みに預かってくれる所がなかった。ファミリーサポートは1時間700円で仕事をしたとしても1時間分の時給が保育料にかかるので諦めた。
・育児休業に入ると2才以上の保育園は退園しなければいけないし、学童も辞めなければいけないということで大変困った。赤ちゃんを見ながらの上の子を見るのはすごく大変。
・幼稚園を年少から利用したかったが、子どもの発達障害を理由に断られたため、1年間自宅で過ごした。

#### ◆ 就学児童（主な意見）

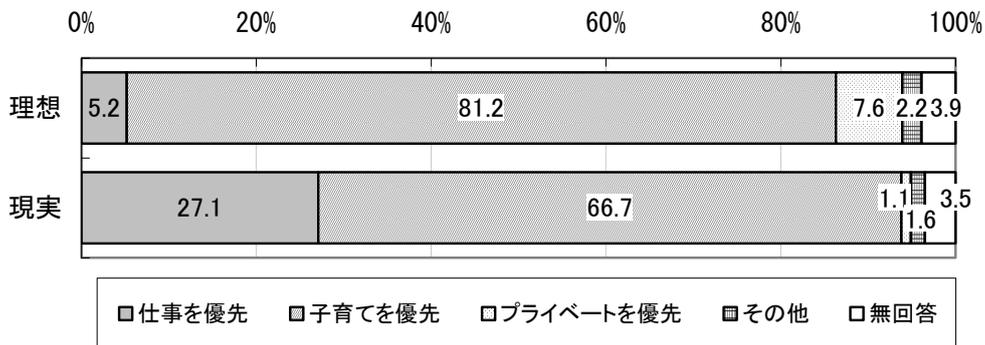
意見
・下の子が2才半ぐらいから働きたいと思ったが保育園に入所できなかった。途中入所希望した時は一番遠い保育園しかあいていないと言われた。
・第5子、第6子の妊娠、出産による体調不良の為、仕事を続けられず退職した為、第4子が保育園に入れなくなり一時保育としての扱いとなり保育が非常に大変だった。年長児童であったのに入園不可とされ卒園させてもらえなかった。
・子どもが1才になったら、保育園に入園させようと思っていた。ダメなら、一時保育を理用して入園を待とうと思っていた。だが、一時保育は市内どの園も満員。入園できたのは、それから1年3ヶ月後だった。1才から3ヶ月すぐで、認可外園へお世話になって順番をまった。
・一時預かりは早め早めに連絡しないとなかなか預かってもらえなかった。フルタイムやパートの仕事をしている人を優先にしている感じがあり、身近に頼れる親がいなくて、預けたいのに預けられないことが何回もあった。

14-6 生活の中での優先度の理想と現実

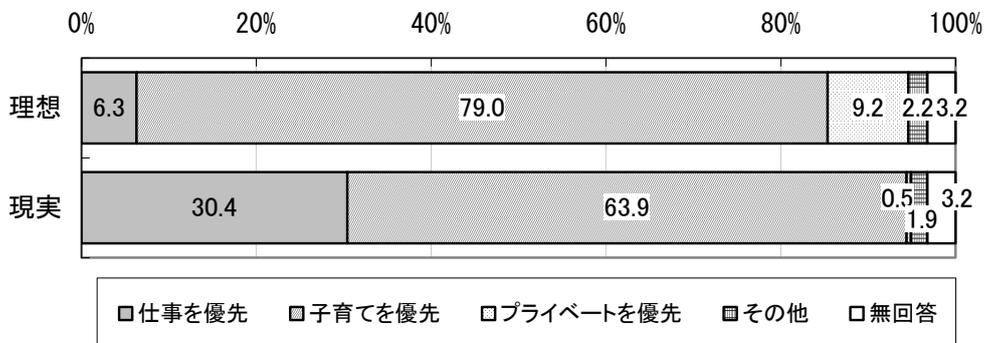
【未就学：問 36、就学：問 28】

- ・未就学児童、就学児童ともに理想・現実ともに「子育てを優先」が大半を占めている。
- ・理想では「プライベートを優先」が未就学児童、就学児童ともに1割近く（未就学児童：7.6%、就学児童：9.2%）をしているのに対し、現実では1%程度となっている。
- ・反対に、現実では「仕事を優先」が就学児童、就学児童ともに3割程度（未就学児童：27.1%、就学児童：30.4%）を占めている。

<未就学児童 (N=882) >



<就学児童 (N=585) >



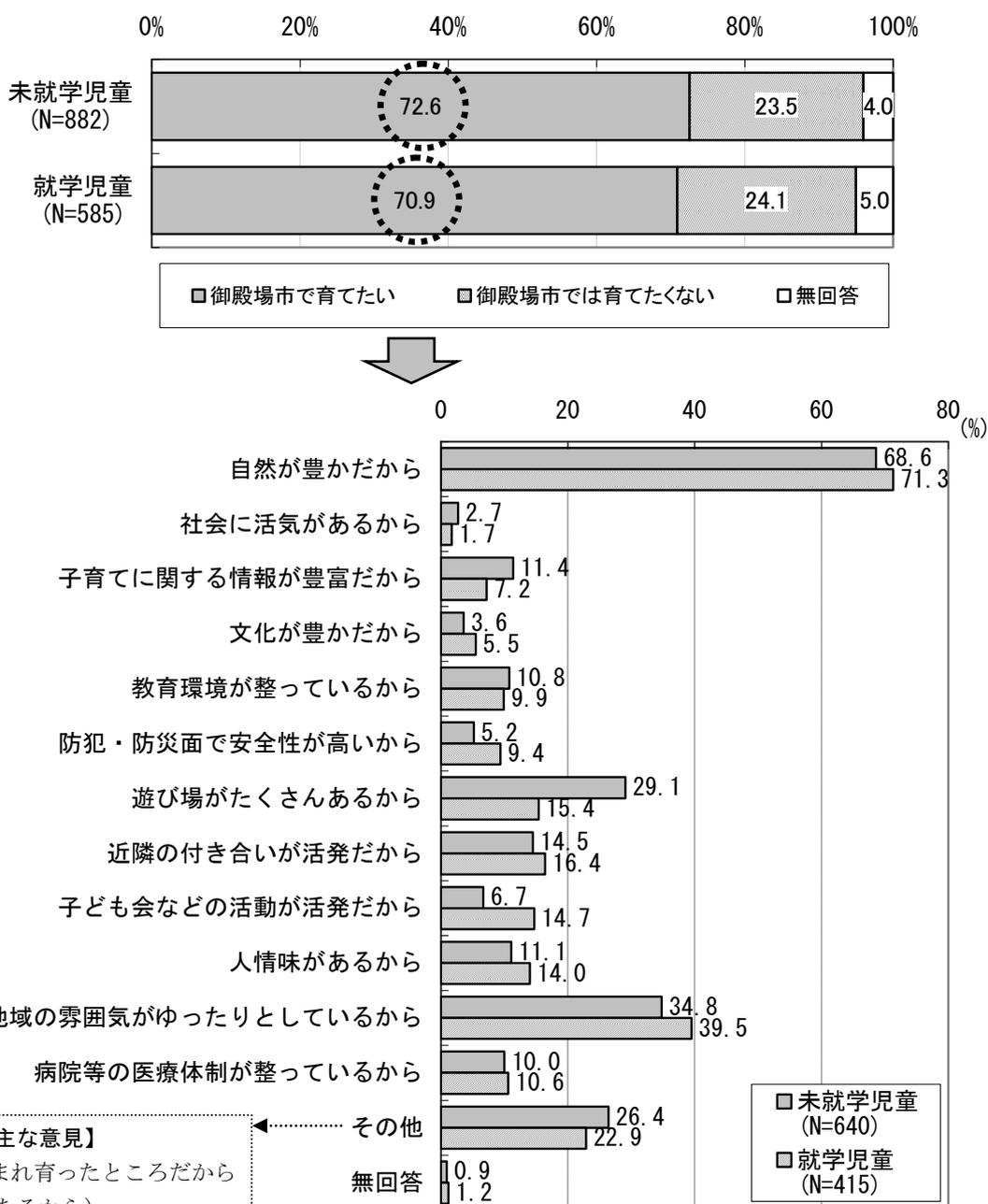
## 15. 子育て環境に対する評価について

### 15-1 今後の御殿場市での子育て意向（単数回答）

御殿場市では育てたいと思う理由（複数回答可）

【未就学：問 37・問 37-1、就学：問 29・問 29-1】

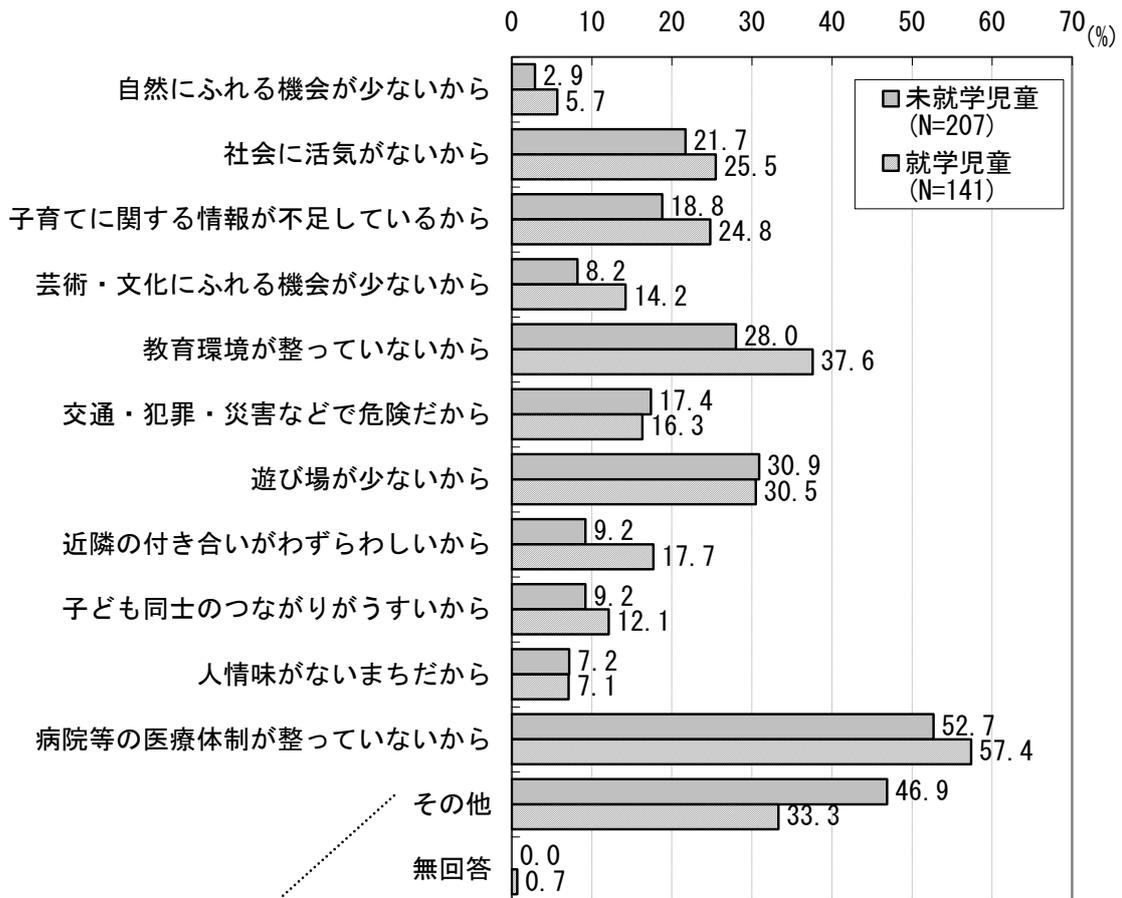
- ・未就学児童、就学児童ともに「(今後も) 御殿場市で育てたい」が7割以上（未就学児童：72.6%、就学児童：70.9%）と大半を占めている。
- ・「(今後も) 御殿場市で育てたい」と回答した人の理由をみると、未就学児童、就学児童ともに「自然が豊かだから」が7割程度（未就学児童：68.6%、就学児童：71.3%）を占め最も多く、その他の項目と比べても突出して高い割合となっており、次いで、「地域の雰囲気やゆったりとしているから」（未就学児童：34.8%、就学児童：39.5%）となっている。
- ・未就学児童では、「遊び場がたくさんあるから」が就学児童を1割以上上回る結果となっている。



15-2 御殿場市では育てたくないと思う理由（複数回答可）

【未就学：問 37-2、就学：問 29-2】

・「(今後は) 御殿場市では育てたくない」と回答した人の理由をみると、未就学児童、就学児童ともに「病院等の医療体制が整っていないから」が半数以上(未就学児童:52.7%、就学児童:57.4%)を占め最も多く、次いで未就学児童では「遊び場が少ないから」(30.9%)、就学児童では「教育環境が整っていないから」(37.6%)となっている。



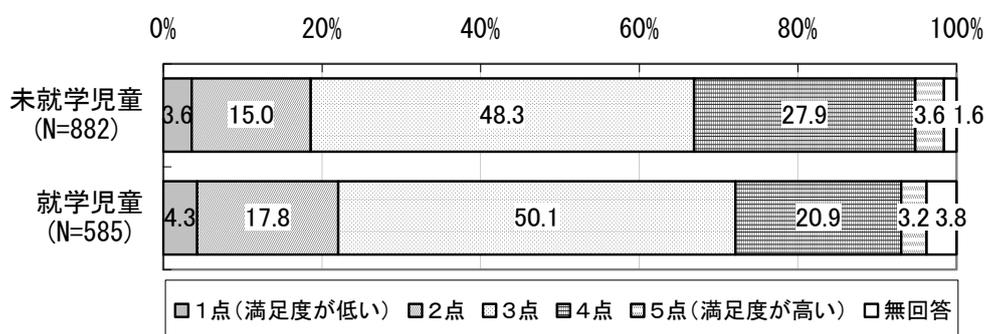
【その他の主な意見】

- ・一般交通が整っていない、車が無いと生活できない。
- ・医療費の助成が少ない。
- ・高校の選択肢が少ない。
- ・税金などの公共面が高い。

15-3 御殿場市の子育て環境や支援に対する満足点（単数回答）

【未就学：問 38、就学：問 30】

- ・未就学児童、就学児童ともに、真ん中の「3点」が半数程度（未就学児童：48.3%、就学児童：50.1%）と大半を占めている。
- ・満足度の低い「1～2点」と、満足度の高い「4～5点」を比較すると、未就学児童では大幅に「4～5点」が上回っているのに対し、就学児童では「4～5点」が「1～2点」をやや上回る程度となっている。
- ・評価点の平均点は、未就学児童では3.13点、就学児童では3.01点と、未就学児童を持つ保護者の方が就学児童に比べて、やや満足度が高いことが分かる。



### III 自由意見

#### 1. 子育てをする上で周囲（身近な人、行政など）からあれば良いと思うサポート

##### (1) 未就学児童【問 14】

##### ◆一時預かり（緊急時などの預かり含む）の充実（53件）

地区	意見
御殿場	保育所の一時預かりがもう少し使いやすいと思う。子どもが小さければ小さいほど預かりを断られる確率が高い。
御殿場	気軽に短時間子どもを預けられる施設の設置。
御殿場	学校、幼稚園行事の時に一時的に見てもらえる施設があると良い。
御殿場	リフレッシュしたい時に気軽に預けられるような環境づくり。
御殿場	保育園の一時保育をお願いしても、7～8月は無理など規制があり、なかなか預ってもらえない。
御殿場	定期的に短時間でも預かってもらい、子どもと強制的に離れる時間があると気持ち的に楽になる。
御殿場	短時間で良いので、面倒を見てくれたらありがたい。時には一人になる時間が欲しい。
御殿場	少しの時間、上の子の学校行事や下の子の予防接種など気軽に預かってもらえる場所があれば良い。保育所の一時預かりだと、空いてないと言われることもある。
御殿場	下の子がまだ泣いてしまうと思うので、預ける事はないが、緊急で連れて行けない時に、気軽に預けられる施設があれば良い。
御殿場	子どもを連れて行けない時があるので、預かってもらえる保育所があると助かる。小学校、幼稚園の兄弟も一緒に。
御殿場	具合の悪い時や用事がある時に気兼ねなく子どものことを見てもらえる人。
御殿場	緊急の時、用事の時などに、すぐに預けられるような施設や制度がもっと充実していれば良いと思う。ファミリー・サポート・センターは手続きとか大変そうなので。
御殿場	緊急時に昼夜問わず預かってもらえると思う。
御殿場	父が亡くなった時、いざという時に誰かが助けてくれたらもっと父の所に行けていたのでは…と思った。
御殿場	兄弟の習い事の間だけでも気軽に預かってもらえる場が欲しい。
御殿場	冠婚葬祭時や父母が体調を崩した時に一時的に保育できる施設の充実。
御殿場	1時間単位での料金設定がある一時預かりが近所にほしい。
御殿場	公共施設などで、保育士（保育補助員）を配置し、病院や買い物などの間に子どもを預けたりできれば便利だと思う。（幼稚園、保育園程、大げさではなく）
御殿場	緊急時でも預かってもらえる保育所があったら助かる。公立幼稚園にも預かり保育があったら良い。
御殿場	幼稚園の行事、父母の幼稚園の仕事等の時、下の子を預かって欲しい。
富士岡	短時間預かってもらえる託児所（兄弟の急病、病院に行く時に利用できる）
富士岡	保育所で行っている一時保育サービスをもっと気軽に利用できるようにして欲しい。保育所の定員がいっぱいで預けられない状況等。
富士岡	スーパー等、母1人子ども1人で買い物している時にぐずった時、10分でもみてもらえると助かる。
富士岡	私的理由で気楽に一時預かりをできる施設・場所がもっとあると思う。（有料の方が安心）
富士岡	子どもが幼いので、自分の病院や美容院などに行く短時間でも預かってもらえると思う。でも実際一時保育など申込や持ち物などが面倒で、両親に預かってもらっているのが現状。
富士岡	緊急時の預かり。
富士岡	緊急時に誰も見てもらえる人が居ない場合。すぐに預けられるようなサポート。
富士岡	急な依頼であっても引き受けてもらえるサポート体制。ファミリー・サポート・センターは利用しているが、なかなか人が見つからず、緊急時にはあてにならない。
富士岡	気軽に預けてリフレッシュできる時間（2,3時間）を持てるようなサポート。一時保育よりも気軽なもの。
富士岡	親が息抜きできることが大切だと思うので、少しの時間でも預けられる施設とか人がいると良いと思う。
富士岡	一時保育がすぐにできる。保育所に問い合わせても、人数がいっぱいで預けることができない。保育園、保育士の充実を願う。
原里	積極的に一時保育、緊急保育がある事を勧めてもらいたい。祖父母に頼るのは身体的に辛い年齢なので。
原里	保育園の一時預かりをもっと利用できるようにして欲しい。希望利用日が近いと断られる。
原里	初めてでも、急な時、預かってもらえる行政運営の施設。
原里	緊急時や日常的に少しの間でも子どもを預けられる制度。
原里	緊急時に見てもらふ所は必要。
原里	緊急時に子どもを気軽に預かってもらえるシステムがあれば良い。数時間単位で。

地区	意見
原里	気軽に子どもを預けられる制度。保育園の一時預かりは満員の場合もある。ファミリー・サポート・センターは料金が高いことと、個人宅では不安。
原里	予約なしにすぐ預けられるようなサポートがあれば助かる。
玉徳	緊急時（自分の病気やケガなどの時）に一時保育がすぐできる場所があると助かる
玉徳	短時間の託児サービス。映画館での託児など、気楽に買い物できる施設があると良い。
玉徳	一時保育をお願いしたい時に予約がいっぱいでよく断られてしまう。学校行事が重なるので仕方が無い。
玉徳	用事や緊急時に気軽に安心して、預けられるところが欲しい。
玉徳	育児休暇終了後の仕事復帰後が保育所利用となり、急な呼び出し時に対応してくれる所があれば助かる。
玉徳	行事などの際に預かってくれる（すでにしてもらっている）。
玉徳	兄妹の園行事、学校行事の時の一時保育（預かり）の充実。現在の一時預かりでは、人数制限や金銭的な問題がある。
印野	他兄弟の行事（学校、園など）に連れていくのが難しい時に短時間で地域の保育所などが預かってくれると助かる。
印野	預ける先が保育園しかないので、こども園になっても有料にて延長（日数限定）を受けてもらいたい。できれば小学校低学年の土曜日のみ、用事があるときに預かってもらえるとうれしい。
高根	自分が病気の時に預かってくれる。買い物などで荷物が多い時にみていてくれる。仕事の時に保育園に送ったり迎えに行ったりしてくれる
高根	気軽に短時間、預けられると良い。上の子の参観日の間、2～3時間のみなど。
高根	一時保育の手続きが分かりにくく預けられない
不明	主人の転勤で御殿場に来て、友人もできたが子どもを預けるのは万が一何かあるとお互い嫌な思いをしてしまいそうなので預けない。急な用で子どもを預けられるようなサポートがあると助かる。
不明	静岡県に来てまだ半年しか経っていないので、周りにまだ頼れる人がいない。緊急で何か起こった時に子どもを預ける場所のサポートがあると助かる。

#### ◆相談体制の充実（29件）

地区	意見
御殿場	地元でないので近場で頼れる人がおらず、気になっていることなどが消化されないままのことが多い。ちょっとしたことでも気軽に相談できる場が欲しい。知識のある方と電話相談など。
御殿場	子育てに対する相談できる機会の増大。
御殿場	保健センターなどでも相談できるようなので安心している。健診の時なども話を聞いて頂いたり何かあれば電話でも相談して下さいと声を掛けて頂けるので有難い。
御殿場	保育所のような所がある相談所が欲しい。話をしたくても子どもが気になり相談どころではなくなる。
御殿場	知り合いが少ないと母と赤ちゃん2人だけの時間が長いと思うので、あまり出歩けない。生後3,4ヶ月位まで、希望の有無を確認して、2週間に1回位の割合で自宅まで来て、アドバイスをもらえたり、話を聞いてもらえると不安が薄れるお母さんは多いと思う。
御殿場	仕事をしていて、相談に行ける場所があっても、なかなか行ける時間がない。相談に行ける場所があるかも知れませんが。
御殿場	困ったり悩んだりした時に気軽に相談できる。
御殿場	子育ての知えなどを教えてくれる。こつなど。
御殿場	子育てサロンが月に1度しか無いので、回数を増やして頂けると、児童委員の先生に相談する機会も増えるのではないかと思います。
御殿場	気軽に悩みや困っていることを相談できる場があると良い。「悩みごと相談」と設けられると、敷居が高く、かえって相談しにくいと思う。
御殿場	気軽に相談できる場所や保護者が集える場所があれば良い。
御殿場	気軽に相談（しつけや体調不良の時等について）できるところがあると良い。
富士岡	無料相談をネットや気軽にできるような形にしてもらいたい。
富士岡	話を聞いてくれること。
富士岡	悩んだ時に気軽に相談できる
富士岡	気を使わずに相談できる環境や人がいる窓口があれば良い。
富士岡	家庭訪問サービス（生後1ヶ月ぐらまでは来てくれたので）車がない人には相談もできてうれしい。
富士岡	何でも相談しやすい所がある。
原里	分からない事（ケガや病気）の時に相談にのってくれると良い。
原里	悩みがある時、相談に乗ってもらえる。
原里	電話相談窓口や予約しなくても気軽に話せる相談窓口
原里	定期的な連絡。無料で参加できる土日開催の相談窓口（その間、子どもをみてもらえると助かる）。

地区	意見
原里	産後の母親の相談専門職が東京、神奈川にはあるのに静岡県には何もない。
原里	コールセンター
原里	行政で相談できるところ（よく分からないので。）のPRがあれば良い。
玉穂	保育センターの発育相談が月1度しかなく、なかなかその日に行けないので、もう少し日を増やした方が良い。
玉穂	ちょっとした悩みを気軽に相談でき、答えをもらえる機関があるといい（予約等しなくても）
高根	子育てサロンや子どもが参加できるイベントがたくさんあると助かる。また、緊急時や子どもが事故やケガをしてしまった際にどう対処すべきかすぐに相談できる、電話のサポートがあると助かる。
高根	具体的な経験談を話してくださる方。

◆交流の場・機会の充実（28件）

地区	意見
御殿場	年齢別に参加できるサークルや講座などの案内をメールリストで定期的にも送ってもらって、どういうものをやっているのか知らせてくれる。予約しやすいようにTEL番号を入れてもらえると周りに知人がいない土地に慣れていない人でも参加しやすい。
御殿場	小学生にならないと地域行事など参加しづらい。住まいの近くに同じぐらいの子がいるか分からないので交流があれば良いと思う。
御殿場	子どもが主体で楽しめるイベントなどがあったら参加したい。
御殿場	もっと同じ月齢の子達と触れ合える機会がほしい。母親同士も知り合えるきっかけになると良い。
御殿場	ふじざくら以外にも児童館などのコミュニティ施設があると、遊びに行っても話もできて良いと思う。
御殿場	ふじざくら以外での地域の子育てサロン又は児童センターなどの情報交換、母親同士の交流の場、子ども同士の交流の場が欲しい。
御殿場	託児付きのカルチャー教室など開催してもらいたい。相談、サポートとかたいものでなく、同じ年頃の子どもの持つ母親同士気軽におしゃべりできる所が欲しい。（子ども抜きで）
御殿場	就労していない母親の子どもが幼稚園などに入園する前に、定期的にも集まれる場を作って欲しい。また、そういった母親のリフレッシュをする場を作って欲しい。
御殿場	同じぐらいの子どもを持つ親と話をする機会があると、相談まではいかなくても話をするだけで悩みが軽くなるのがよくある。そのような機会がたくさんあると良い。気持ちを楽にする時間を作れる。
御殿場	子育てサロンをもっと多くしてほしい。その場に保育士さんがいれば、相談したり子どもを少し遊んでもらえたら気分転換にもなるのでそのようなサポートをして欲しい。
御殿場	県外から引っ越してきた人が気軽に行けるサークルなど。
御殿場	同じぐらいの子どもを持つ母親同士で話をできる場（カフェ的にゆったりできる所）。週1でも安心して通ってもらえる場所（気兼ねなく）。
御殿場	衣服・子ども用品などを、譲ったり、譲られたりする場所がもっと欲しい。
富士岡	子育てサロン等の実施
富士岡	両親と過ごす時間がほとんどなので、一緒に遊んでもらったりしてもらえると助かる。
富士岡	1人で考えこむのではなく周囲の人と子育てについて話せる環境があればすごく良い。
富士岡	子育てサロンのような母子が気軽に参加できる場が増えれば良い。南部地域にもこども家庭センターのような場所が欲しい。
富士岡	地域の子育てサロンは近くて行きやすく、同年代の子どもを持つ人に会えるので、回数が増えたら嬉しい。
原里	災害時におむつ等の対応があると避難する時に心配事が少なくなって助かる。休日ではなく平日に子どもと参加できる簡単なイベント（公園などで）があれば同じ育児状態の人と知り合う機会が増えると思う。
原里	地域ごとのママサークルのようなものがあると良い。
原里	休日に子育て世代中心に参加できる催し物があると気軽に参加できて良い。できるだけ自由に参加にしたい。
原里	赤ちゃんセミナーのようなものを定期的にして欲しい。月齢の近いお母さんと交流できる機会が欲しい。
玉穂	保健センター等で定期的にセミナー等、月齢に合った情報提供して頂ける講習会のような会があると良い。スケジュールがお知らせで届くと有難い。
玉穂	赤ちゃんセミナーのような母親同士の交流を促す企画を増やして欲しい。
玉穂	仕事をしたい母親が多いのが現実なのですが、託児ができるような（短時間）施設が御殿場市には少なく感じる。託児してもらおう中で、子ども同士も色んな方と接することができるようになると思う。
玉穂	子育てサロンのような気軽に話せる場があれば良い。
高根	子育てサロンのような、イベントを市でやってくれたら、もっと盛大で、お母さんの情報交換や交流が増えるのではないかなと思う。
高根	子育てサロンの回数をもっと増やしてほしい。場所だけでも貸してほしい（係の人がいなくても）。ホール等。

◆病児・病後児保育の充実（19件）

地区	意見
御殿場	病気の時に困るので、色々なサポートがあると良いと思う。
御殿場	病気の時でも預かってもらえる保育所内のサービスがあると助かる。
御殿場	病気になった時、一時的に子どもを預かってくれる病院または病院近くの施設があれば良い。
御殿場	子どもの具合悪い時に、不安でどうすれば分からない時、知識の様子を見に来てもらえるようなサポートがあれば安心。
御殿場	子どもが急に具合が悪い時など、私が仕事を休めない時、半日位、緊急でみてくれるところがあると良い。
御殿場	延長保育や病児保育の充実や、それらを利用する際の金銭補助があればありがたい。緊急時に預け先がなく、共働きのため。
御殿場	子どもが病気の際も保育園が預かり可能であれば助かる。何よりも職場のサポートが欲しい。有休は取れるが、いつも後ろめたい。
富士岡	病気（突発含む）の時の保育。
富士岡	2人の子どものうち、どちらかの病院などの時、急な場合でも片方を預かってもらえる場所が近くにあると助かる。
原里	病時保育をもっと増やしてほしい。
原里	父母のみでみていると病気になった時、どちらかが休まなければいけない。職場の理解があるから助かっている。常に休むかもしれないと思いながら仕事をするのは申し訳なく感じる。
原里	病児保育。小学校3～4年まではお願いしたい。
原里	熱が出て（重病でなければ）預かってもらえる保育所があれば良い。
原里	公立保育園に病児保育を。
原里	親が近くに住んでいるなら具合悪い時に預けられたら良い。
玉穂	病気になった時、急でも預かってもらえる所があると助かる。他にどうしても抜けられない予定がある場合等
玉穂	急に熱が出て仕事で父親が居ない場合など、他の兄弟をみてくれる（自宅にきて）サービスがあれば良い。
印野	公立保育所の定額料金内で病後保育を入れて欲しい。
印野	子どもの体調が悪い時、仕事でどうしても休めなく預ける所がない時見てくれる場所があると良い。

◆遊び場の充実（15件）

地区	意見
御殿場	深沢にも公園が欲しい。
御殿場	児童館、近所に子どもだけでも遊びに行けて、管理人さんが居る場所が欲しい。私達が子どもの頃はよく行っていたのに。
御殿場	フジザクラのようにいつでも子どもを室内で遊ばせる所があれば良い。
御殿場	子どもが安全に遊べる場所があれば良い（親がいなくても）
御殿場	回数によって無料から低料金の認定こども園があると助かる。東京の青山にあるこどもの国みたいな低料金で遊べる広い場所があると良い。
御殿場	安心して遊ばせられる公園が少ない。近所に公園がない。
御殿場	遊ぶ場所、預ける場所（土、日、祝）保育園に入園できない。
富士岡	同年代の子が楽しく遊べる公園がもっとあると嬉しい。
富士岡	児童館みたいな、広々と遊べる施設がもっとあると助かる。あっても、遊具が少ない、衛生的ではない感じがする。
富士岡	時間を決めて、公園で、集団で遊べ、その間見ていてくれる方がいると良い。
富士岡	子育て支援センター（ふじざくら）のような児童館とか施設を増やして欲しい。
富士岡	近所に公園がないため、休日など外で遊ぶ事がないので公園を作ってもらい、もっと近所の人達とのコミュニケーションをとれるようにして欲しい。
原里	子ども家庭センターのような室内で遊べる所を増やしてほしい。雨の日や長期休みの日に利用者が多いため、幼稚園後、同センターを利用した際、園児向けの何か行事があれば良い。
原里	御殿場市は公園が多く、「ふじざくら」のような施設もあり大変充実した子育てを送れているので、とても感謝している。
原里	遊び場の提供。

◆医療・保健に対する意見（12件）

地区	意見
御殿場	子どもの医療費は低所得の家庭は無料にしてもらいたい。河口湖に実家があるので富士五湖道が無料のチケットなどがあつたらありがたい。

地区	意見
御殿場	病院を受診する際のサポート。(待ち時間が長く、そこで他の菌をもらい悪化したことが何度もあるので)
御殿場	子ども医療費の負担額の見直し。すぐ隣の小山町は全額助成、御殿場も全額にしてほしい。
御殿場	行政は、新生児訪問以来、自ら検診や予防接種に行かなければなかなか関わる機会が少ないので、定期的に各家庭を訪問し、相談にのったりするサポートがあると良いと思う。
富士岡	予防注射(インフルエンザ・おたふくなど)自己負担の軽減のサポートがあればとても助かる。
富士岡	小児科専門の医師など、もう少したくさんあると良い。
富士岡	夜中など緊急で対応してくれる施設(救急センター等)が遠い。御殿場市の南部にも安心できる医療施設が欲しい。
原里	養育費軽減(水疱瘡、インフルエンザ、おたふく)などの予防接種費用軽減、補助してほしい。
玉穂	小児科がもう少し選べたらうれしい。
玉穂	子どもが入院できる病院(小児病棟)小児科が少ない。
印野	小児科をもっと増やして欲しい。
高根	産院(保健センター)などで、気軽な同総会的な事があつたら良いと思う(同年児)。予防注射や健診は、あいさつできてても時間がなく話までできない。

◆休日(長期休暇中を含む)の保育の充実(12件)

地区	意見
御殿場	日曜日の保育。
御殿場	日祝に仕事が入ってしまった場合に、保育所に(慣れた)気軽に頼めると有難い。
御殿場	土曜日フルタイムで仕事をしているので、土曜日に子どもを預けられる所が欲しい。
御殿場	幼稚園の長期休暇時の預かり。
御殿場	働く時(園が夏休み、冬休みの時)安くて安心して気軽に子どもを預けられるところがあつたら良い。転勤で引っ越してきたため、頼れる人がいないので。
富士岡	土日に預かってもらえる場所があると良い。
原里	保育所が休みの日に、少しでも良いので安心してお願いできる場所があれば助かる。
原里	土、日、祝日でも、理由を問わず預かってもらえる(短時間)託児所があれば自分の通院や用事を済ませることができる。
原里	夏季・冬季などの長期休みの時に子どもを預かってもらえる施設(現在以上に)があると、パート・アルバイトに行くことができるので助かる。
玉穂	土・日の託児があれば助かる。子どもを連れて行けない幼稚園行事の手伝いや、地区の手伝いがある。
玉穂	日、祝日の保育の実施を行なって欲しい。
不明	祝日もやっている保育所。無認可は不可。

◆子育てしやすい環境づくり(11件)

地区	意見
御殿場	共働きなので、子どもに言葉やしつけ等教える時間が少なくなってしまう。身近な人から教えてもらえるとう助かる。
御殿場	自分が目を離した時などに危険な事、悪い事を子どもがしていたら、声をかけてくれたりしてもらえると良い。
御殿場	子どもにも大人にも気軽に声をかけ合う。
御殿場	近所全体で育てていくような、家族のような関係になれば良い。
富士岡	見守り。何かあつたり、子どもが困っていたりする時の声かけ。
富士岡	少しでも声をかけてくれる(気にかけてもらえれば)。
富士岡	孤立しやすい(周囲に同年代の子どもがいないため)立場にあるので温かく見守ってもらえると嬉しい。
富士岡	近所に常にいる方の愛ある声かけ、目かけ、ありがたい。
富士岡	新しい子育て支援の仕組みができて、祖父母などに理解がなく、利用しにくい。祖父母世代の理解、認知を広める。
玉穂	散歩がしやすいように安全な歩道を増やして欲しい。
印野	地域のほぼ強制的な役員選出をやめてもらいたい。

◆情報提供に対する意見(11件)

地区	意見
御殿場	子育てについて自分が分かっていないことが分からない。情報量が多すぎて困惑することもあるし、何が正しい情報なのかも分かりにくい。
御殿場	何でも良いので、声をかけてくれるとう有難い。家庭センターの毎月のスケジュールを自宅に送って欲しい。

地区	意見
富士岡	御殿場市に引っ越して来たばかりで、現状のサポートすら何があるのかわからないし、資料をもらっても説明がないので、利用の仕方も地名が分からないので、施設の場所が分からない。
富士岡	地域子育て支援センターの情報がもっとあれば良い（活動内容が分からない）。また、参加を促す積極的なアピールがあった方が良い。赤ちゃん訪問では2人目ということもあり、説明を省かれたり、心配事などを聞いてもらうことはできなかった。2人目なので分かりますよねという態度で接された。それなら必要ないので来ないでほしい。ただ虐待がないか、子どもの身体ばかり見られ、嫌な気持ちになった。
原里	幼稚園に入る前の子どもを預かってもらえる場所の提供が増えると助かる。また、その情報を知らない人も多いので、もっと広めてもらいたい。
原里	情報誌とか。
玉穂	施設の情報、使った人からの感想を聞かせて欲しい。急に子どもを預かってもらいたい時などの利用方法を分かりやすくしてもらいたい。
玉穂	雑誌（広報紙）のようなものがあると良い。内容が子育てのこのことのみ。子ども〇歳で困っていますとか、〇〇譲りますとか。自分の周りだけでは分からないような情報や、子育ての悩み等、同じ市内でのママさんの意見を知りたい。
印野	引っ越してきて行政内容を知らない等あるので、もっと情報配信をして欲しい。
高根	他県から来たので、ファミリー・サポート・センターや、一時保育、保育園、幼稚園などの利用方法や、いつから準備したら良いとかを詳しく知りたいが、どこで聞いたら良いか分からないので、冊子などがあったら良い。
高根	子育てに関する情報誌の配布。母親の気分転換になるような面白いものがあると良い。

#### ◆子育てしやすい環境づくり（10件）

地区	意見
御殿場	延長保育や病児保育の充実や、それらを利用する際の金銭補助があれば有難い。
御殿場	医療費を無料、高校や大学まで義務教育にもらえるとても助かるし子どもを産み育てやすい。
御殿場	子どもが生まれた時の助成、何か補助金が出る場合のお知らせなどを誰もが知り得るようにして欲しい。
御殿場	金銭的サポート
御殿場	色々な面で無償化。
御殿場	温かく見守ってほしい。保育料を安くしてほしい。
御殿場	チャイルドシート無料貸出。
富士岡	金銭的サポートがあれば不安もなくなるし、家事の負担で軽減できる。
原里	3人、4人目から教育費を免除してもらえると、もっとたくさん子どもを産む方が増えると思う。
玉穂	手当がもっと欲しい。なかなか仕事に行けないので金銭的に辛い。

#### ◆待機児童に対する対策（6件）

地区	意見
御殿場	保育所に入れにくい（空きがない）ので、もう少し受け入れを多くして欲しい。
御殿場	待機児童をなくす。
御殿場	待機児童問題の解消。
富士岡	保育園にもっと簡単に入園できるようにして欲しい。
富士岡	待機児童をなくして欲しい。子どもを預ける施設の負担額を減らして欲しい
原里	とにかく保育園にスムーズに入れるようにして欲しい。

#### ◆働きやすい職場環境の改善（6件）

地区	意見
御殿場	職場での周りの人の理解がなかなか難しい。周りの人はサポートしている気持ちはあるが、子育てに対して分かっていない人が多いので、帰りにくいなどがある。子育ての経験がない人や男性に分かってもらおうというのか無理かもしれない。
御殿場	仕事場の近くに託児所があると便利だと思う。
富士岡	父親の育児のための休暇。現状なし。
原里	働きながら子育てをしていることを理解した上で雇ってくれる会社が増えて欲しい。
原里	唯一頼れる夫が激務で母親である私が休めない。育児中の父親が時短勤務などで子育てにもっと関わられるよう社会・会社の制度として取り組んでほしい
玉穂	もう少し、子どもがいても働きやすいように行政からのサポートを求める。

◆延長保育の充実（6件）

地区	意見
御殿場	迎えの代行や保育時間の延長を20時までにしてもらえると助かる。
御殿場	現在、通園している幼稚園では就業による延長保育を認めていない。就業による延長保育を認めて欲しい。
御殿場	延長保育（幼稚園）をもう少し兼ねなくできると嬉しい。
原里	幼稚園での預かり保育をお願いしたい日が（小学校行事のため）幼稚園の研修と重なり、お願いできない時など、派遣してくれると助かる。
玉穂	公立幼稚園に通園中だが、月に数回子どもの降園後に仕事の日があり、お迎えを遠方の親族を呼び寄せてお願いしており、公立でも仕事という名目であれば預かり保育をしてもらえると大変助かる（有料で可）。
印野	保育園の終了時間をもう少し遅くしてもらいたい。

◆夜間保育の充実（3件）

地区	意見
御殿場	24時間体制の保育施設。子どもを預ける際のルールは必要と思われるが（例：連日の預かりは不可とか）
原里	仕事上夜勤があるので、夜間保育があるととても嬉しい。
玉穂	24時間体制の保育所。病気でもみてもらえる保育所。

◆家庭でのサポートの充実（2件）

地区	意見
御殿場	祖父母など助けてくれる人が身近にいるならば子どもの送迎をお願いしたい。
富士岡	同居の祖母にも積極的に子育てに参加してもらいたい。

◆ひとり親家庭へのサポートの充実（2件）

地区	意見
富士岡	父子家庭は親同士が友人になる時間がない。3人も子どもを育てているのに収入が高い理由で支援がない。時間もお金も全く足りない。子どもの人数に応じた支援をして欲しい。
原里	子ども手当てに関しては、とても助かっている。学用品や保育園の雑費にお金がかかるので、母子家庭に対しての制度があまり良くない気がする。保育料など収入がそれなりにあっても、母子家庭だと支払うだけでも大変だった。母子家庭だと、保育園で必要な雑費を払うだけでも大変。両親がいる人とあまり変わらないのは困った。

◆その他（47件）

地区	意見
御殿場	もう少し気軽に子どもを預けられる制度がほしい（金銭面で）
御殿場	無料の託児所等が全国的に普及すれば良いと思う。
御殿場	保育園やその他の方々にもサポートしてもらっているので、自分の子どもは問題ないが、ゲームセンターなどで保育園ぐらいの少し問題ありそうな子のサポートをしてあげて欲しい。夜遅くまでいるとか（親も一緒だけど、ほっとかれる）、大金を持っている子など。
御殿場	バスでの通園。
御殿場	仕事をしているため、朝、車1台で夫の会社、上の子の保育園、下の子の保育所を回るのはとても大変。保育園の申請をするのに生まれてからしかできないため、10～3月生まれの子はとても不平等だと思う。
御殿場	支援センターのような施設が各地区にあったら良い。
御殿場	コミュニティセンターや市役所で不要になった品物（服やおもちゃ等）を差し出したり、もらったりできるスペース。
御殿場	子どもと一緒に、気軽に食事や買い物できる施設があったら嬉しい。（買い物、食事、映画館など）
御殿場	各所で行政主体の支援があるが、交通手段が実質マイカーに限られ、参加が難しい。出先を増すか、当日のみの、バス等があると助かる。
御殿場	買物やお金のかからない送り。
御殿場	お店（スーパー特に）のレジが混み合っていて、0歳児を抱いての買い物が結構大変だから優先とは言わないが、少し気に掛けて欲しい。待ち時間が長い。
御殿場	いつでも気軽に預けられる。
御殿場	安価で子どもを預かってくれるところがあると良い。
富士岡	近くに子どもをあずける場所が欲しい。
富士岡	住んでいる地区から小学校（校区）が遠く、通学時間帯に電車もしくはバスの利用をさせたい。可能であれば、定期購入時の援助も希望。

地区	意見
富士岡	実家の両親がみてくれれば母親としては、多少わがまましても大丈夫かなと思うが、お嫁に来た人としては許されることではない。主人の両親にみてもらっているが心苦しい。もし主人の両親がいなければ行政に助けを求めていると思う。ご近所もなかなか頼りづらい。
富士岡	しずおか子育て優待カードが全国で使えると良い。
富士岡	車がないと病院にしても遊び場にしても行動範囲が狭くなるので、バスの本数等を増やすか支援センターの所までの無料送迎があると有難い。
富士岡	今の御殿場の行政の対応に満足しているが、もう少し習い事等をさせたいため、保育園あっせんの教室を増やして欲しい。
原里	公立幼稚園の給食化。母が専業主婦でも保育園に入園できれば良い。
原里	急な仕事の時、食事を提供してくれるサービスがあれば良い（お弁当宅配サービス）。
原里	家事代行をしてくれる団体があったら良いと思う。夫が長期不在で、もし自分が体調を崩してしまった時や出産時期に利用しなかったから。
原里	私自身の性格に、知人、友人など気軽に作る事ができないというところがあるので、“サポート”を考えることはできない。
原里	訪問して子どもの面倒をみてくれる（1～2 時間一緒に遊ぶ等）方が行政を通して案内してもらえれば利用したい。
原里	保育園の先生方とのコミュニケーションをもっと深め、先生方・親・子どもの三位一体の形を強くしたい。
原里	週末時間単位ベビーシッター。
原里	サポートしてもらえるとより、もともとないものと思えば何かしてもらえたら何でも有難いと思う。
原里	子ども家庭センターで子どもを預かってくれる制度があるのは助かる。もう少し面接などが気軽に受けられると良い。
原里	公立幼稚園の説明会や市主催の子ども向けおやつ教育等で下の子を寝かしておけるスペースやみて下さる方がいると有難い。
原里	月齢にあった子どもの様子を教えてもらえると、イライラや怒ることが減り子どもに対し少しはどっしりと見守ってあげられそう。
原里	緊急でタクシーを使用する場合の運賃サービス（病院の送迎）※運転できない人もいるので
原里	行政などがもう少し身近に感じる事ができれば、子育て支援センターなどのような子育て支援事業を利用すると思う。現在、ほとんど利用していない。
原里	気軽に預けられる場所があれば良いと思う。
原里	気軽に預けられる場所があれば良いと思う。
原里	お金を払わずに自由に預かってもらえる施設。
原里	預けることが良くないことのように言われることがあり心苦しく思う。気持ちよく受け入れてもらえることが1番有難い。
玉穂	幼稚園や学校、住んでいる地域によって、親の子どもへの関わり方（行事や役員）などに差がありすぎる気がする。玉穂地区は保護者の負担が明らかに多い。
玉穂	幼稚園のバス送迎
玉穂	富士宮のイオンのような施設が欲しい。何度も子どもを車から乗り降りさせるのは大変。お店を回る間、「ファンタジースキッズガーデン」のような人目があって子どもの安全に配慮された場所で預かってもらえると安心してゆっくり買い物できる。
玉穂	自分たちのやり方を素直に話した方が良い。
玉穂	仕事をしており、休日も決まっておらず、子育て支援のイベントにもあまり参加できない。普段から地域の行事にも参加できていないので、周囲の近所の様子も分からず。唯一、保育園へ通う事が外との関わりなので、保育園で子どもをみて何かアドバイスが頂けたらと思う。
玉穂	今ある市のサポートなどは知っているものもありますが、必要な時があれば利用すると思うので、今のままで良いと思う。
玉穂	「ふじざくら」など助かっている。
高根	ダメ出しや余計な言葉がけをやめて欲しい。
不明	幼稚園のランドセル、園服等もお金がかからないようにして欲しい。
不明	無料の託児サービスが欲しい。
不明	こちらからではなく、行政等から子育てについて大丈夫かの電話があると良い。

(2) 就学児童【問 14】

◆一時預かり（緊急時などの預かり含む）の充実（26件）

地区	意見
御殿場	体の調子が悪い時に子どもを見てもらえる则有難い。
御殿場	緊急時でなくても、子育てをする人にも自分一人の時間が必要。たまには息抜きをさせてあげてほしい。
御殿場	下の子が小さい時は上の子の参観日や病院などに一緒に連れて行くのが大変だった。特に病院は待ち時間も長く、病気が移るのも心配。そういった時、気楽に預けられる場所があれば良い。それから、もっと小児科を増やしてほしい。みんなが行く所が一か所に集中していてすごく混んでいる。
御殿場	保育園内や幼稚園などプロの方に、働いていなくても一時預かりができる制度が低学年中であると良い。
御殿場	ほんの少し留守をするような時預かってもらえるサービス。
富士岡	一時的に預かってもらえる所、相談できる所が近くにがあると良い。やはり近所のつながりが大切だと思う。
富士岡	親の体調が悪い時や用事のある時に、子どもの学校への迎えや一時的でも見てくれる人がいると良い。別紙には書いてあったが、どういうものなのか利用した人からの話も聞かないし、見学みたいなこともないので、よく分からない。会員の人はどういう人なのか不安もある（ファミリー・サポート・センター）。
富士岡	緊急時に預かってもらえるとう助かる。幼稚園の参観日に下の子を預かってもらえるとう助かる（下に兄弟がいるとうそちらに手がかかり上の子を見られない。母が人付き合いを苦手だと人にも頼みづらいため）
富士岡	緊急時に安心して子どもをみてもらえる人がいると、とても心強い。
富士岡	緊急時に必ず見てもらえる。有料でも構わない。
富士岡	どうしても家が留守になる日は、19時まで預かってもらえる体制があると心配がない。
富士岡	幼稚園に下の子が在園していた時、預かり保育を希望してもしてもらえず大変困った。幼稚園、保育園の行事の日と小学校（中学校）の行事（参観日等）は別々にして預かり保育の希望にできるだけ対応してほしい。現状では市が言っている子育て支援には程遠い。また、御殿場市は地域の役員や行事がととても多い。小さな子どもを連れての行事（役員）はととても大変。
原里	一時的に夜も保育してもらえる。
原里	学校の参観日に、未就学児を預かる。小さい子を連れている親が大変というより、周りが迷惑な場合が多い。
原里	緊急時、数日預かってくれるようなところ。
原里	緊急時に子どもを一時的に預かるサポート。学校から習い事までの送迎サポート（ファミサポにあり）。
原里	子どもを親元から少し離れたと思うことがある。親だと甘えるので、里親の様に子どもの面倒をみてくれる人がいたら良い。
原里	就労している母親が増えているので、未就学児・学童に関わらず、安心して預ける先の整備が必要（公的保育所）
原里	小学生であっても近くの保育園など用事がある時は子どもを預かってほしい。
玉穂	もう少し安く子どもを預かってもらえる場所があると嬉しい。ふじざくらで1人当たり1H=200円。子育て支援カードを提示することによってメリットが多い環境を増やして欲しい。いまいち子育て支援カードを持っているメリットが少ないと思う。ふれあいプール玉穂のスタンプ2倍は魅力的。
玉穂	学校から帰って1人きりの時だけ1~2時間みてくれる人がいるとう助かる。
玉穂	もう子どもが3年生で大きいので1人で家にいれるが、小さい頃（幼稚園ぐらい）は少しの間（1~2hくらい）下の子の検診などの時見てもらえるような預かりの場が安い料金であったら助かったと思う。会員制のものではなく身近にあったら。
印野	親が仕事をしている人は、子どもの急な病気等で急に休んだりできない場合に子どもの面倒を一時的に見てもらえること（同居でない場合）。
高根	緊急時、子どもをみてもらえる。子どもが帰った時、家が開いていなかったら預かっていてもらえる。
高根	仕事柄、緊急時（災害）迎えなど、その後の一時保護をして預けるシステムが欲しい。
高根	なかなか難しいが、気軽に頼みたい（子どものお迎え、買い物など、留守の間のお世話など）兄弟の一方を病院に連れて行きたい。でも元気な方は家に置いておきたいなど、すぐにはお願いしにくい。

◆相談体制の充実（22件）

地区	意見
御殿場	気軽に相談したり、話を聞いてくれるだけでも安心できるので、そのようなサポート。祖父母が近くにいないので、頼れる場所が欲しい。
御殿場	安全な生活環境。子育ての悩みを聞いてくれる場所。聞いてもらえるだけで心が軽くなる。
御殿場	今のところ子育てでそれ程困ったことがないが、子育て支援センターなどで保育士さんが日常的に相談にのってくれるなど気軽に相談できる場所があれば良い。
御殿場	気軽に相談できる、サポートがあると良い。

地区	意見
御殿場	親子それぞれの立場、環境をきちんと理解してくれる人が話を聞いてくれ、共感し、適切なアドバイスをしてくれる。
御殿場	子育てに関する相談、相手。
御殿場	子どもが小さい頃、一時預かりをしてほしい時があったが、どこに相談して良いのかわからず困った。気軽に相談できる窓口がいくつかの場所にあると良い。
御殿場	相談や話を聞いてもらえる場所があれば良い。
御殿場	祖父母などの親族、友人や知人、学校にも相談しづらい悩み、知られたくない悩みを匿名で電話相談できたら非常に助かる。
御殿場	ちょっとした事でも気軽に相談とか話を聞いてもらえる所。
富士岡	困っている時など、手助けをしてもらったり、相談にのってもらったりする。
富士岡	自己肯定感の低い親へのサポートがあると嬉しい。
原里	3歳までは、同月生まれの方と検診などで会い話す機会があるが、小学生はなかなかないので、3年に1回くらいで良いので交流する場があるとよい。
原里	色んな相談できる（家庭内、同居人との関係）寺小屋のようなところがあると良い。
原里	気軽に話ができる相手がいるだけで良い。
原里	子育てで困った時は、主にネット、本に頼ってきた。人との関わり方が下手なので、サポートの希望が分からない。
原里	ささいな事を相談する人、場所がよく分からない。行政や医療等全体的に繋がっていて相談にのってもらえれば良い。
玉穂	相談したかった時、電話でのカウンセリングはつながらなかった。相談窓口が身近すぎると御殿場では知り合いが多すぎて、噂などが広がりそうで利用しづらい。
印野	相談される人の立場になって考えると、相談しづらい。相談しても、直接子どもに親の考えとかが理解されなければ意味がないと思うとなかなか難しい。
印野	悩みを気軽に相談できること。
高根	“ちょっと聞きたい、でも聞けない、誰に聞いて良いのか分からない”を助けてくれるサポートがあれば良い。
不明	相談に行ってもたらい回しにしない市の窓口。

#### ◆補助・助成の充実（15件）

地区	意見
御殿場	色々な手当。
御殿場	インフルエンザ予防接種を無料にして欲しい。
御殿場	行政から、お金のサポート。
御殿場	金銭的に助けがほしい。
御殿場	御殿場は車がないと不便。バスも数が少ないので、もう少し増やしたり、タクシーより安く頼める車（タクシーでも子育て中の人は割引券がもらえると良い）とかあると良い。
御殿場	子どもの年齢、人数や親の所得などに関係ない金銭的サポート。
富士岡	医療費の負担軽減。
富士岡	将来的に、学費等、金銭面でのサポートが欲しい。
富士岡	金銭面（例：習い事補助、インフルエンザ補助）
原里	国や行政から子どもの人数に応じた金銭的な援助。
原里	経済的サポートは本当に有難い。
原里	子どもが3人（年の差が少ない時）いると、チャイルドシートを使うため、どうしても大きい車が必要となる。車を買うための補助減税があると大変有難い。
原里	小中高完全無料化。
原里	母子家庭なので、金銭面の補助が欲しい。
玉穂	金銭的サポート（行政）

#### ◆放課後児童教室（学童保育）の充実（14件）

地区	意見
御殿場	いとこの通う横浜市のように、在校生が安心して放課後を学校で過ごせる放課後クラブがあると良い。講演会や授業参観（幼～中学校時）時に地区のコミセン等を使って託児できると良い。近隣の方もボランティアで手伝ってもらう等すると交流もできると思う。
御殿場	小学6年生まで預かってくれる学童。
御殿場	仕事をしていなくても、用事や緊急な時は小学生の子どもを学童で預かってもらえると思う。

地区	意見
御殿場	学童は3年生までではなく6年生までだと良い。年間や月毎ではなく急にお願したい時など預かって欲しい。非常に助かる。
御殿場	就労していなくても学童が利用できるなら利用したい。毎日でなくても良いので。
御殿場	小学校6年生まで学童に入りたい。
御殿場	東日本大震災の状況から、災害時は親の引き取りを第一優先にするのではなく、学校・学童保育等その時に居る場所で預かることを優先すべき。代理者による引き取りは更に優先度が低い。「責任は持てないけど、精一杯預かる。来られる時に引き取りに来て。」くらいのスタンスが、安全だと思える。
御殿場	身近な人には助けてもらっているの、特に無いが行政について、学童保育年齢の延長を要望する。
富士岡	幼稚園の後の学童的なものがあると良い。長期休暇の時だけ預かってもらいたい。
富士岡	4～6年生の子どもを下校後～親の帰宅時間（18時以降）まで預かっていただける所があれば良い。
富士岡	学童保育でもっと充実してほしい。夏休みなど長い休みの時に親が働いている家庭では子どもだけで留守番している家庭が多い。
富士岡	学童保育を6年生までほしい。または、長期休みの間だけでも預かってくれると助かる。
原里	児童が放課後に集える場所があると良いと思う（無料で）。親が、学童保育に子どもを入れる条件に当てはまらない、毎日通所させる必要がない家庭の子どもも、集まれるところがあると良い。
原里	夏休み等の長期休みの時の学童保育をやってほしい。

◆病児・病後児保育の充実（10件）

地区	意見
御殿場	子どもが病気でも預かってくれるような施設があると助かる。
御殿場	子どもが病気になった時の一時的な保育（親が仕事を休めないため）。
御殿場	小学生にも病気の時も見てもらえるような学童保育があると良い。また、普段は学童保育ではなくても、1日だけ見てくれる（緊急時など）システムがあると良い。
御殿場	祖父母ともまだ働いているため、子どもが熱を出したりした時にサポートしてくれる所があると助かる。
御殿場	病気の時にみてもらえるサポート。
御殿場	病児保育。
富士岡	急に仕事を休めないで、子どもが体調の悪い時など安心して預けられる所があると助かる。
原里	病気の時に迎えに行ってもらったり、病院に連れて行ってもらったり、子どもをみてもらいたい。
原里	現在は、祖父母が子どもを見てくれるため必要ないが、安心して子どもを預かってくれる場所や、病気でも見てくれる場があれば、働くお母さんは助かる。
玉穂	病気の時も保育をしてくれる環境、子どもが病気の時、休みを希望できる職場環境。

◆地域での見守り体制の充実（9件）

地区	意見
御殿場	核家族なので、祖父母から学べる事が無い。おじいちゃん、おばあちゃん方との触れ合いがあれば嬉しい。
御殿場	他人の子どもでも叱ることのできる大人の存在。
御殿場	直接的なサポートは特になし。見守ってくれたらOK。注意したり、気にしてくたら良い。
富士岡	小学生が昔のように外で安心して遊べる環境が作られれば良いと思う。パトロール等、大人の見守る、安全な声かけ等。
原里	あいさつ等の声かけや悪い事をしたら叱ってくれる等、みんなで子どもを見守り育てていく雰囲気。
原里	地域で子育てをサポートしてくれるような組織があれば良い。例、放課後子どもが気軽に遊びに行けるような場所で、常に大人が数人いるような所。
印野	見守り。
不明	当たり前の事を言うていただくこと。
不明	それとなく様子を気にかけていただけると良い。特に、親の同行していない登下校時など。

◆ファミリー・サポート・センターの充実（8件）

地区	意見
御殿場	ファミリー・サポート・センターを以前利用していたが、長時間や数回利用すると金銭的な負担が大きい。
富士岡	土日も含めファミリー・サポート・センター以外でも1時間単位で子どもを預かってもらえるとう助かる。ファミリー・サポート・センターの認知度も低いように思う。
富士岡	ファミリー・サポート・センターがもう少し安い金額なら手軽に利用してみたい。
原里	母子家庭なので、ファミリー・サポート・センターも有料で利用したいが利用する気にならない。学童も一律9,000円で収入のある家庭と同金額ではやってられない。金額設定はもう少し段階をつけて欲しい。

地区	意見
原里	地元でなく、頼れる祖父母がいないので子どもが急に具合が悪くなった時、他の子の行事があると困る。家でみてもらえたりしたら助かる。子育てサポートセンターを利用した事があるが、御殿場市では他の家に連れて行かないといけないので不便。
原里	ファミリー・サポート・センターの存在は心強い。
玉穂	ファミリー・サポート・センターを就学前使用していたので継続して欲しい。学童は仕事が8時からで間に合わないため、使用しなかった。上の子(小6)はファミリー・サポート・センターを利用していたが、下の子は上の子もいるため学童利用を諦めた。保育園のように7時から延長料金発生しても良いので利用できる環境が欲しい。
印野	ファミリー・サポート・センターの制度が利用しやすいこと。現在、制度は知っているが利用した事がない。知っている人だと安心。

#### ◆勉強面に対するサポート等の充実(8件)

地区	意見
御殿場	豊かな自然を感じられるような体験学習をお願いしたい。
御殿場	同じくらいの子どもが近所にいても、学童に行っている子ばかりなので、休日遊べる友達がない。土日に子どもを集めて行うスクールのようなものがあると良い。わんぱく子ども塾、森の子クラブのような。
富士岡	仕事に困らないようにしてほしい。社会に出て自分で仕事をきちんと持ち、幸せな家庭を築いていけるよう、自分達で自立して生活していけるように小学校の基本的な勉強をできるようにみて欲しい。九九、漢字、かけ算、わり算、単位、文章がかけるなど。
富士岡	仕事の都合で帰宅が遅くなることが多い。宿題や明日の準備を手助けしてもらえると助かる。
原里	社会に出ていく機会、教育の場での福祉を老人に限らず色々な側面を学ばせて欲しい。
原里	宿題をみてくれるサポートがあると助かる。塾とは違う。
原里	勉強の講師など。
印野	学習面をみてくれる人がいると良い。

#### ◆休日(長期休暇を含む)の対応(8件)

地区	意見
御殿場	長期の休み(夏、冬、春)一時預かりなどの場所があったら共働きの家庭で子どもだけになる家はとても助かる。
御殿場	夏休み、冬休み、春休みの長期休みに学童を利用していないので、自分や祖父母が仕事のため、子どもを預ける場所があると良い。
御殿場	夏休みなど長期間の休みの平日に、学年学区(1~6年)に関係なく学童保育のような、子ども教室(学校、公民館などの場所で)子ども活動のクラブがあれば嬉しい。荒川区にはある。
御殿場	早下校の時、パート先を休む。学童などでも預けるまでもなく。特に夏休みの環境をなんとかして欲しい。
富士岡	長期の休みの間だけ預かってもらえる場所を考えてもらいたい。1年生を1人で留守番させるのは不安。
原里	小学生を預けられるサポート(夏休みなど)。お互い気軽に預け合えるようなサポート。お願いするだけでは気が引ける。
玉穂	台風で学校への登校見合わせの時、各地域(区)でみてもらえる所があると働きながらも安心できる。
玉穂	幼稚園等で入園前のプレ幼稚園があると良い。土曜日も月に数回午前授業があると良い。

#### ◆遊び場の充実(4件)

地区	意見
富士岡	以前、市民交流センターふじざくらに行く事があった時、学校終りで遊びに来ている子ども達がたくさんいた。その日は天気も悪く寒い日だったが、室内で本を読んだり、ゲームをしたりと楽しんでいる姿を見てとても良い施設だと思った。近くには職員さんもいて、職員さんと仲良く話している子どももいた。安心して子どもを遊びに行かせられる所だと思う。こういう場が各地区にあると良い。
富士岡	少年野球をやっているが、毎日、家での練習をするのに自由にできる場所が近くにない。庭にネットをはってやっているが、隣近所からうるさいと言われ悩んでいる。
原里	帰宅後に、公民館などを開放して、勉強会や昔の遊びなどを教えてくれる場があれば、地域交流も良くなると思う。
玉穂	学童に預けるには負担が大きいので、公民館などを夕方少しの間開放して、入れる場所があったら嬉しい。

#### ◆その他(29件)

地区	意見
御殿場	安心して子どもを預けられる環境。

地区	意見
御殿場	親のしつけが甘いのか、ちょっと困った子ども達が近所において、うちの子ども達を外で遊ばせる事に少し抵抗がある。問題のある子達をどうにかして欲しい。
御殿場	親が難病や障害を抱えていても、働きやすい受け入れ体制を作って欲しい。親が難病や障害を抱えている家庭への経済的支援をもっと充実させて欲しい。
御殿場	いかなるサポートがあろうとも、サポートする側から歩みよってくれるくらいの立場でないと（携帯メール等）はっきり言って利用しないと思う。
御殿場	親からの要望があれば、すぐに保育所に入所できる体制があると良い。働きやすい。
御殿場	親としては、気兼ねなく、子どもが楽しく通える（預けられる）場所が欲しい。小学校6年までは。有料でもOK。
御殿場	学校時間割と下校時間の変更が多くて、仕事上困る時がある。地域の行事が多すぎる。
御殿場	気軽に子どもを預けられる場所があると良い。
御殿場	子育てを優先できるように、母親の立場を理解してほしい。
御殿場	子どもが1人で出掛けても危なくない街づくり。
御殿場	地域の行事で自分がやらなくてはならない仕事がある場合、できるかどうかの確認もなく順番だからと回ってくる。みんな大変と言われるとそうだが、大変にも色々ある。妹がいなければ私はここに住む（安心して）ことができない。
御殿場	身近で、なおかつ同じような家庭環境をもつ父親の「会」のようなものがあれば自分以外の方の考え方を知ることができると思う。
御殿場	やはり同居している家族が一番安心してお願いできる。
御殿場	夕方5時にチャイムを鳴らして欲しい。他県では、5時にチャイムが鳴る。
御殿場	車の運転ができないので、幼稚園への送り迎え、習い事への送り迎え、病院の行き帰りに大きな負担を感じている。ファミリー・サポート・センターの送り迎えサービスがもう少し使いやすくと助かる。
御殿場	自分は東京出身で家族も東京にいる。東京都心とは違う不便さ、人が少なく、孤独な子育てで辛かった。夫は土日も仕事で、子どもとずっと2人きり。もっと近くに子連れで遊べる、東京のような児童館があれば良かった。
富士岡	子ども会の充実。
富士岡	子どもが泣きわめくのが当たり前、喧嘩で騒ぐのが当たり前ということを分かって欲しい。「サポート」というより「理解」があれば子育ては難しくないとと思う。自分も同じ赤ちゃん子どもでもあったことを忘れないで欲しい。
富士岡	子どもを安心して預けられるサポート（年齢制限なしに）。
富士岡	発達支援
富士岡	未就園児、園児を預かってくれる所はあるが、小学生はないのでであると良いと思う。
原里	気軽に参加できるイベントや地域の行事などがあると、外出のきっかけになると思う。
原里	子連れヨガなど、息抜き場、習い事を選択をして、安い月謝で選べるものがもっとあると理想的。
原里	そういうサポートがあっても、みんな事務的な印象。親切な人はいない。
原里	保護者が体調不良の時に、家事・育児を手伝って欲しい。
原里	仕事上、帰りが早いと18時頃だが、遅い時は20時を過ぎてしまうこともある。娘は夕食、寝る時間がいつも遅い。何かあった時とかにすぐかけつけてくれる人がいると良い。いつも気にかけてくれる人（娘の事で）いてくれたら良いと思う。私は仕事上すぐ帰れないので。
玉穂	御殿場（中畑）は坂が多く、学校までも遠いので、雨、強風でお迎えがほとんど。スクールバス等あれば安心して通学させることができると思う。小1の妹や低学年には厳しい通学路である。
玉穂	市の子育支援課。
高根	緊急（防災）とかの急なお迎えに対する安全と保護をしてくれる施設などがあれば安心。

## IV 資料編（調査票）

### 1. 未就学児童用

# 御殿場市 子ども・子育て支援事業ニーズ調査 （未就学児童用）

## 【調査ご協力のお願い】

日ごろから市政にご理解とご協力をたまわり誠にありがとうございます。

さて、御殿場市では、子ども・子育て支援法に基づく新たな子ども・子育て支援制度のもと、教育・保育その他の子育て支援の充実を図るため5年間を一期とする子ども・子育て支援事業計画を作成し、計画的に給付・事業を実施することとなりました（平成27年度から実施予定）。

この調査は、御殿場市の皆さんの教育・保育その他の子育て支援に関する「現在の利用状況」や「今後の利用希望」を把握し、この計画で確保を図るべき教育・保育その他の子育て支援の「量の見込み」を算出するために実施するものです。平成25年9月30日現在、本市にお住まいの就学前のお子さんの中から無作為に抽出した1,300人のお子さんの保護者の方を対象に調査票をお送りさせていただきました。

なお、ご回答いただいた調査内容は、「こう思う方は全体の何%」といった形に整理し、統計的な分析にのみ使用いたします。調査目的以外に使用せず、御殿場市個人情報保護条例に基づく適正な取扱いを行います。また、施設や事業の具体的な利用の可否を確認・決定するものでもなく、今後、利用希望を変更していただいて構いません。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成25年10月

御殿場市長 若林 洋平

## 【ご記入に当たってのお願い】

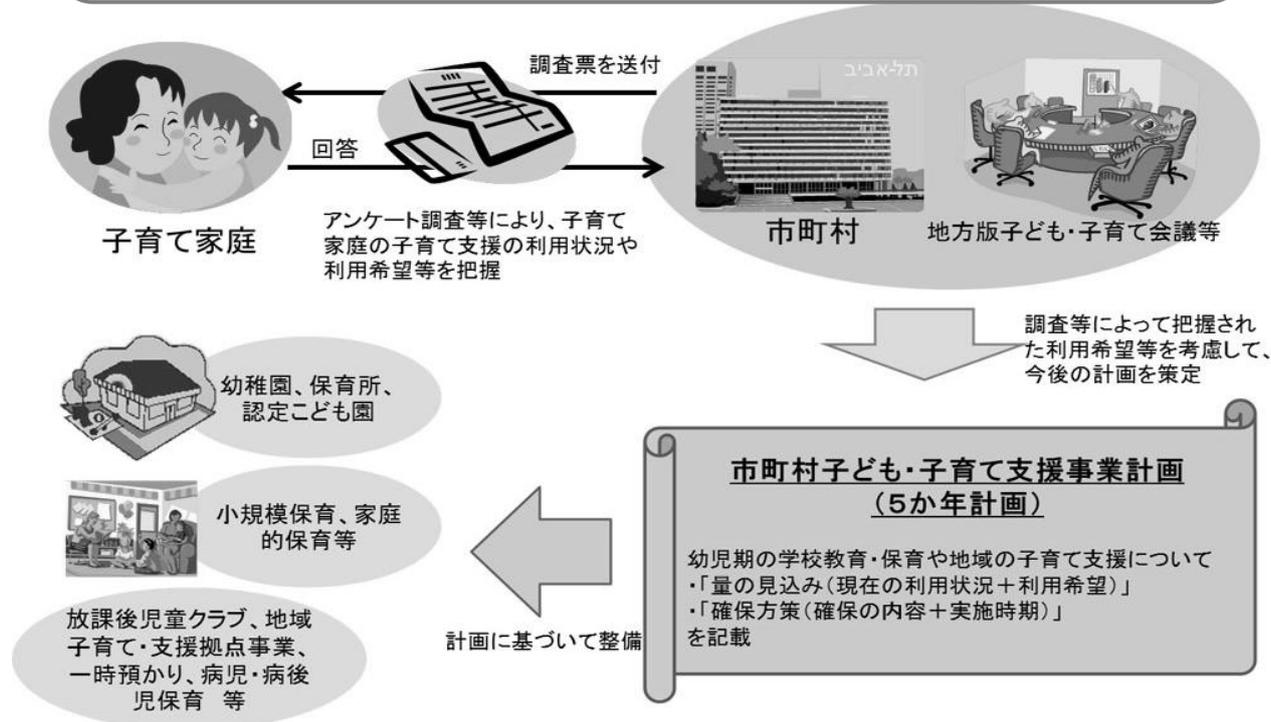
1. 特にことわりのある場合以外は、**封筒のあて名のお子さん**についてご記入ください。
2. アンケートには、**お子さんの保護者の方**がご記入ください。
3. 選択肢がある場合には、番号を○印で囲んでください。
4. 年齢や時間帯等についてうかがう質問では、枠内に具体的な数字をご記入ください。  
また、**時間については24時間制**でご記入ください。（例：午後01時 → 13時）
5. 質問によっては、回答していただく方が限られる場合がありますので、矢印や案内にそってお答えください。
6. 教育・保育その他の子育て支援事業についてうかがう質問がありますが、これらの質問はあくまで今後の利用希望などを把握するための質問であり、実際の利用条件（例：保育所の入所要件など）を全て表現しているものではありません。実際の利用条件などについては、市担当課窓口にご相談ください。
7. 記入後は、同封の返送用封筒に入れて、**11月11日（月）**までにポストへお入れください（切手は不要です）。
8. この調査についてのお問い合わせは、下記までお願いいたします。

【お問い合わせ先】

御殿場市役所 健康福祉部 子ども保育課

電話：0550-82-4126

いただいた回答は地域の子育て支援の充実にかかせられます



【子ども・子育て支援新制度】

子ども・子育て支援法（平成24年法律第65号）に基づく新たな子ども・子育て支援の制度（以下「子ども・子育て支援新制度」といいます。）は、以下のような考え方に基づいています。

- ◆ 子ども・子育て支援新制度は、急速な少子化の進行、家庭・地域を取り巻く環境の変化に対応して、子どもや保護者に必要な支援を行い、一人ひとりの子どもが健やかに成長することができる社会を実現することを目的としています。
- ◆ 子どもの成長においては、乳児期におけるしっかりとした愛着形成を基礎とした情緒の安定や他者への信頼感の醸成、幼児期における他者との関わりや基本的な生きる力の獲得、学童期における心身の健全な発達を通じて、一人ひとりがかけがえのない個性ある存在として認められるとともに、自己肯定感を持って育まれることが重要です。子ども・子育て支援新制度は、社会全体の責任として、そのような環境を整備することを目指しています。
- ◆ 子ども・子育て支援は、以上のような考え方をもとに、保護者には子育てについての第一義的責任があることを前提としつつ、保護者が子育てについての責任を果たすことや、子育ての権利を享受することが可能となるような支援を行うものです。  
地域や社会が保護者に寄り添い、子育てに対する負担や不安、孤立感を和らげることを通じて、保護者が自己肯定感を持ちながら子どもと向き合える環境を整え、親としての成長を支援し、子育てや子どもの成長に喜びや生きがいを感じることができるような支援を目指しています。

※ 次のページから質問が始まります ※

調査票に記載されている用語の解説および各子育て支援事業等の利用者負担額については、別紙に記載しています。別紙資料をご参照いただきながら、ご回答ください。



## 子どもの育ちをめぐる環境についてうかがいます

問 10 あて名のお子さんの子育てに日常的に関わっている方はどなた（施設）ですか。お子さんからみた関係でお答えください。（○はあてはまるものすべて）

1 父母ともに	2 母親	3 父親
4 祖父母	5 幼稚園	6 保育所
7 認定こども園	8 その他（	）

問 11 あて名のお子さんの子育てに、影響すると思われる環境はどれですか。

（○はあてはまるものすべて）

1 家庭	2 地域	3 幼稚園
4 保育所	5 認定こども園	6 その他（
		）

問 12 日ごろ、あて名のお子さんをみてもらえる親族または友人・知人はいますか。

（○はあてはまるものすべて）

1 日常的に祖父母などの親族にみてもらえる	} 問12-1へ
2 緊急時もしくは用事の際には祖父母などの親族にみてもらえる	
3 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる	} 問12-2へ
4 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる	
5 いずれもない → 問13へ	

問 12-1 問 12 で「1」または「2」を選ばれた方にうかがいます。祖父母などの親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。（○はあてはまるものすべて）

1 祖父母などの親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる
2 祖父母などの親族の身体的負担が大きく心配である
3 祖父母などの親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である
4 親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
5 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある
6 その他（
）

問 12-2 問 12 で「3」または「4」を選ばれた方にうかがいます。友人や知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。（○はあてはまるものすべて）

1 友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる
2 友人・知人の身体的負担が大きく心配である
3 友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である
4 親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
5 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある
6 その他（
）

問 13 あて名のお子さんの子育てをする上で、気軽に相談できる人または相談できる場所がありますか。(○は1つ)

- |                   |                  |
|-------------------|------------------|
| 1 いる / ある →問13-1へ | 2 いない / ない →問14へ |
|-------------------|------------------|

問 13-1 問 13 で「1」を選ばれた方にうかがいます。お子さんの子育てに関して、気軽に相談できる先は誰(どこ)ですか。(○はあてはまるものすべて)

- |                           |              |            |
|---------------------------|--------------|------------|
| 1 祖父母などの親族                | 2 友人や知人      | 3 近所の人     |
| 4 子ども家庭センター・NPO           | 5 保健所・保健センター | 6 保育所      |
| 7 幼稚園                     | 8 民生委員・児童委員  | 9 かかりつけの医師 |
| 10 市の子育て関連担当窓口 11 その他 ( ) |              |            |

問 14 子育てをする上で、周囲(身近な人、行政など)からどのようなサポートがあればよいと思いますか。ご自由にお書きください。

## 保護者の就労状況についてうかがいます

問 15 あて名のお子さんの保護者の現在の就労状況(自営業・農業等、家族従事者含む)をうかがいます。

(1) 母親についてうかがいます。(○は1つ) 【父子家庭の場合は(2)へ】

- |   |   |        |
|---|---|--------|
| 1 フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない | } | (1)-1へ |
| 2 フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しているが、産休・育休・介護休業中である |   |        |
| 3 パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない |   |        |
| 4 パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しているが、産休・育休・介護休業中である |   |        |
| 5 以前は就労していたが、現在は就労していない                           | } | (1)-3へ |
| 6 これまで就労したことがない                                   |   |        |

(1)-1 (1)で「1」～「4」を選ばれた方にうかがいます。1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」と家を出る時刻、帰宅時刻をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

(□内に数字で記入)

1週当たり： □ 日	1日当たり： □ 時間
家を出る時刻： □ 時	帰宅時刻： □ 時
(24時間制表記)	(24時間制表記)

(1) -2 (1) で「3」または「4」(パート・アルバイト等で就労) を選ばれた方にうかがいます。フルタイムへの転換希望はありますか。(○は1つ)

- 1 フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある
- 2 フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない
- 3 パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望
- 4 パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)をやめて子育てや家事に専念したい

(1) -3 (1) で「5 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6 これまで就労したことがない」を選ばれた方にうかがいます。

就労したいという希望はありますか。

(○は1つ・「3」の「イ」を選んだ場合は□内に数字を記入)

- 1 子育てや家事などに専念したい(就労は希望しない)
- 2 1年より先、一番下の子どもが □ 歳になったころに就労したい
- 3 すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい
  - ⇒ 希望する就労形態
    - ア フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)
    - イ パート・アルバイト等(「ア」以外)
 ⇒1週当たり: □ 日、1日当たり □ 時間

(2) 父親についてうかがいます。(○は1つ) 【母子家庭の場合は記入不要です】

- 1 フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しており、育休・介護休業中ではない
  - 2 フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しているが、育休・介護休業中である
  - 3 パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しており、育休・介護休業中ではない
  - 4 パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しているが、育休・介護休業中である
  - 5 以前は就労していたが、現在は就労していない
  - 6 これまで就労したことがない
- } (2)-1^
- } (2)-3^

- (2) -1 (2)で「1」～「4」を選ばれた方にうかがいます。1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」と家を出る時刻、帰宅時刻をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。(□内に数字で記入)

1週当たり：	<input type="text"/> 日	1日当たり：	<input type="text"/> 時間
家を出る時刻： (24時間制表記)	<input type="text"/> 時	帰宅時刻： (24時間制表記)	<input type="text"/> 時

- (2) -2 (2)で「3」または「4」(パート・アルバイト等で就労)を選ばれた方にうかがいます。フルタイムへの転換希望はありますか。(○は1つ)

1	フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある
2	フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3	パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望
4	パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)をやめて子育てや家事に専念したい

- (2) -3 (2)で「5 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6 これまで就労したことがない」を選ばれた方にうかがいます。

就労したいという希望はありますか。

(○は1つ・「3」の「イ」を選んだ場合は□内に数字を記入)

1	子育てや家事などに専念したい(就労は希望しない)								
2	1年より先、一番下の子どもが <input type="text"/> 歳になったころに就労したい								
3	すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい								
⇒ 希望する就労形態	<table border="0"> <tr> <td rowspan="2" style="font-size: 3em; vertical-align: middle;">{</td> <td>ア</td> <td>フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td>パート・アルバイト等(「ア」以外)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>⇒1週当たり：</td> <td><input type="text"/> 日、1日当たり <input type="text"/> 時間</td> </tr> </table>	{	ア	フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)	イ	パート・アルバイト等(「ア」以外)		⇒1週当たり：	<input type="text"/> 日、1日当たり <input type="text"/> 時間
{	ア		フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)						
	イ	パート・アルバイト等(「ア」以外)							
	⇒1週当たり：	<input type="text"/> 日、1日当たり <input type="text"/> 時間							





問 16-4 平日に定期的に教育・保育の事業を利用している理由は何ですか。

(○はあてはまるものすべて)

- |                            |
|----------------------------|
| 1 子どもの教育や発達のため             |
| 2 子育てをしている方が現在就労している       |
| 3 子育てをしている方が就労予定である／求職中である |
| 4 子育てをしている方が家族・親族などを介護している |
| 5 子育てをしている方に病気や障害がある       |
| 6 子育てをしている方が学生である          |
| 7 その他 ( )                  |

問 16-5 問 16 で「2」を選ばれた方にうかがいます。平日に定期的な教育・保育事業の利用をしていない理由は何ですか (○はあてはまるものすべて・「8」を選んだ場合は□内に数字を記入)

- |   |
|---|
| 1 (子どもの教育や発達のため、子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で)利用する必要がない |
| 2 子どもの祖父母や親戚の人がみている                               |
| 3 近所の人や父母の友人、知人がみている                              |
| 4 利用したいが、教育・保育の事業に空きがない                           |
| 5 利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない                         |
| 6 利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない                       |
| 7 利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない                     |
| 8 子どもがまだ小さいため⇒ ( □ ) 歳くらいになったら利用しようと考えている         |
| 9 その他 ( )   |

問 17 すべての方にうかがいます。現在、利用している、利用していないにかかわらず、あて名のお子さんの平日の教育・保育事業として「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。

(○はあてはまるものすべて)

※これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。(別紙をご参照ください)

- |  |
|--|
| 1 幼稚園(通常就園時間の利用)                                       |
| 2 幼稚園の預かり保育(通常就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ)               |
| 3 認可保育所(国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員20人以上のもの)       |
| 4 認定こども園(幼稚園と保育所の機能を併せ持つ施設)<br>※平成26年4月から印野こども園が開園します。 |
| 5 小規模な保育施設(国が定める最低基準に適合した施設で、市町村の認可を受けた定員概ね6~19人のもの)   |
| 6 家庭的保育(保育者の家庭等で5人以下の子どもを保育する事業)                       |
| 7 事業所内保育施設(企業が主に従業員用に運営する施設)                           |
| 8 自治体の認証・認定保育施設(認可保育所ではないが、自治体が認証・認定した施設)              |
| 9 その他の認可外の保育施設   |
| 10 居宅訪問型保育(ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業)               |
| 11 ファミリー・サポート・センター(地域住民が子どもを預かる事業)                     |
| 12 その他 ( )   |

問 17-1 問 17 の事業について、利用する際に何を基準に選びますか。(○はあてはまるものすべて)

1 家からの距離	2 職場からの距離
3 祖父母などの親族宅からの距離	4 教育・保育の内容
5 利用料の金額	6 利用可能な時間帯
7 その他 ( )	

問 17-2 教育・保育事業を利用したい場所はどこですか。(○は1つ)

1 御殿場市内	2 御殿場市外
---------	---------

### 地域の子育て支援事業の利用状況についてうかがいます

問 18 あて名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、「子育て支援センター」等と呼ばれます。）を利用していますか。(○はあてはまるものすべて)

また、利用している方はおおよその利用回数（頻度）をご記入ください。(□内に数字で記入)

1 子ども家庭センター（市民交流センター「ふじざくら」内） ⇒1週当たり □□□□ 回 もしくは 1か月当たり □□□□ 回程度
2 幼稚園・保育所に設置されている地域子育て支援センター ⇒1週当たり □□□□ 回 もしくは 1か月当たり □□□□ 回程度
3 利用していない

問 19 問 18 のような地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いませんか。(○は1つ)

また、おおよその利用回数（頻度）をご記入ください。(□内に数字で記入)

※これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生する場合があります。(別紙をご参照ください)

1 利用していないが、今後利用したい ⇒1週当たり □□□□ 回 もしくは 1か月当たり □□□□ 回程度
2 すでに利用しているが、今後は利用日数を増やしたい ⇒1週当たり 更に □□□□ 回 もしくは 1か月当たり 更に □□□□ 回程度
3 新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない



**土曜・休日や長期休暇中の  
「定期的」な教育・保育事業の利用希望についてうかがいます**

問 20 あて名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に定期的な教育・保育事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。（○は1つ）

また、希望がある場合は、利用したい時間帯をご記入ください。（□内に数字で記入）

※これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。（別紙をご参照ください）

※教育・保育事業とは、幼稚園、保育所、認可外保育施設などの事業を指し、親族・知人による預かりは含みません。

(1) 土曜日

1 利用する必要はない 2 ほぼ毎週利用したい 3 月に1～2回は利用したい	}	利用したい時間帯（24 時間制表記） □ 時から □ 時まで
--	---	-----------------------------------

(2) 日曜日・祝日

1 利用する必要はない 2 ほぼ毎週利用したい 3 月に1～2回は利用したい	}	利用したい時間帯（24 時間制表記） □ 時から □ 時まで
--	---	-----------------------------------

問 20-1 問 20 (1) または (2) で「3」を選ばれた方にうかがいます。毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。（○はあてはまるものすべて）

1 月に数回仕事が入るため 3 親族の介護や手伝いが必要なため 5 その他（	2 平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため 4 保護者自身のリフレッシュのため )
--	---

**「幼稚園」を利用している方にうかがいます。**

問 21 あて名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育事業の利用を希望しますか。（○は1つ）

また、希望がある場合は、利用したい時間帯をご記入ください。（□内に数字で記入）

※これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生する場合があります。（別紙をご参照ください）

1 利用する必要はない 2 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい 3 休みの期間中、週に数日利用したい	}	利用したい時間帯（24 時間制表記） □ 時から □ 時まで
---	---	-----------------------------------

問 21-1 問 21 で「3」を選ばれた方にうかがいます。毎日ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。（○はあてはまるものすべて）

1 週に数回仕事が入るため 3 親族の介護や手伝いが必要なため 5 その他（	2 買い物等の用事をまとめて済ませるため 4 保護者自身のリフレッシュのため )
--	--

## 病気の際の対応（平日の教育・保育を利用する方のみ） についてうかがいます

平日の定期的な教育・保育事業を利用している保護者の方（問 16 で「1」を選ばれた方）にうかがいます。それ以外の方は 12 ページの問 23 にお進みください。

問 22 この 1 年間に、あて名のお子さんが病気やケガで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかったことはありますか。（○は 1 つ）

- |                       |                      |
|-----------------------|----------------------|
| 1 あった → <b>問22-1へ</b> | 2 なかった → <b>問23へ</b> |
|-----------------------|----------------------|

問 22-1 問 22 で「1」を選ばれた方にうかがいます。この 1 年間に、病気やケガで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合の対処方法は何ですか。（○はあてはまるものすべて）また、その日数は概ね何日ですか。

（半日程度の場合も 1 日とカウントしてください）（□内に数字で記入）

1 父親が休んだ	年間	<input style="width: 40px;" type="text"/>	日	} <b>問22-2へ</b>	
2 母親が休んだ	年間	<input style="width: 40px;" type="text"/>	日		
3 （同居者を含む）親族・知人に子どもをみてもらった	年間	<input style="width: 40px;" type="text"/>	日	} <b>問22-5へ</b>	
4 父親または母親のうち就労していない方が子どもをみた	年間	<input style="width: 40px;" type="text"/>	日		
5 病児・病後児保育を利用した	年間	<input style="width: 40px;" type="text"/>	日		
6 ベビーシッターを利用した	年間	<input style="width: 40px;" type="text"/>	日		
7 ファミリー・サポート・センターを利用した	年間	<input style="width: 40px;" type="text"/>	日		
8 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	年間	<input style="width: 40px;" type="text"/>	日		
9 その他（ <input style="width: 100px;" type="text"/> ）	年間	<input style="width: 40px;" type="text"/>	日		

問 22-2 問 22-1 で「1」または「2」を選ばれた方にうかがいます。その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。（○は 1 つ）

また、その場合の日数はどれくらいありますか。

（「1」を選んだ場合は日数を□内に数字で記入）

※病児・病後児保育施設等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。（別紙をご参照ください）

- |                               |    |   |   |                 |
|-------------------------------|----|---|---|-----------------|
| 1 できれば病児・病後児保育施設等を利用したい ⇒     | 年間 | <input style="width: 40px;" type="text"/> | 日 | → <b>問22-3へ</b> |
| 2 利用したいとは思わない → <b>問22-4へ</b> |    |   |   |                 |

問 22-3 問 22-2 で「1」を選ばれた方にうかがいます。病児・病後児保育施設等を利用する場合、どのような事業形態が望ましいと思えますか。（○はあてはまるものすべて）

- |   |
|---|
| 1 幼稚園・保育所等に併設した施設で子どもを保育する事業                        |
| 2 病院（小児科）に併設した施設で子どもを保育する事業                         |
| 3 地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業（例：ファミリー・サポート・センター等）     |
| 4 その他（ <input style="width: 100px;" type="text"/> ） |

→ **問23へ**

問 22-4 問 22-2 で「2」を選ばれた方にうかがいます。病児・病後児保育施設等を利用したいと思わない理由は何ですか。(○はあてはまるものすべて)

- 1 病児・病後児を他人にみてもらうのは不安
- 2 病児・病後児保育の質に不安がある
- 3 病児・病後児保育の利便性(立地や利用可能時間・日数など)がよくない
- 4 利用料がかかる・高い
- 5 利用料がわからない
- 6 親が仕事を休んで対応する
- 7 その他( )

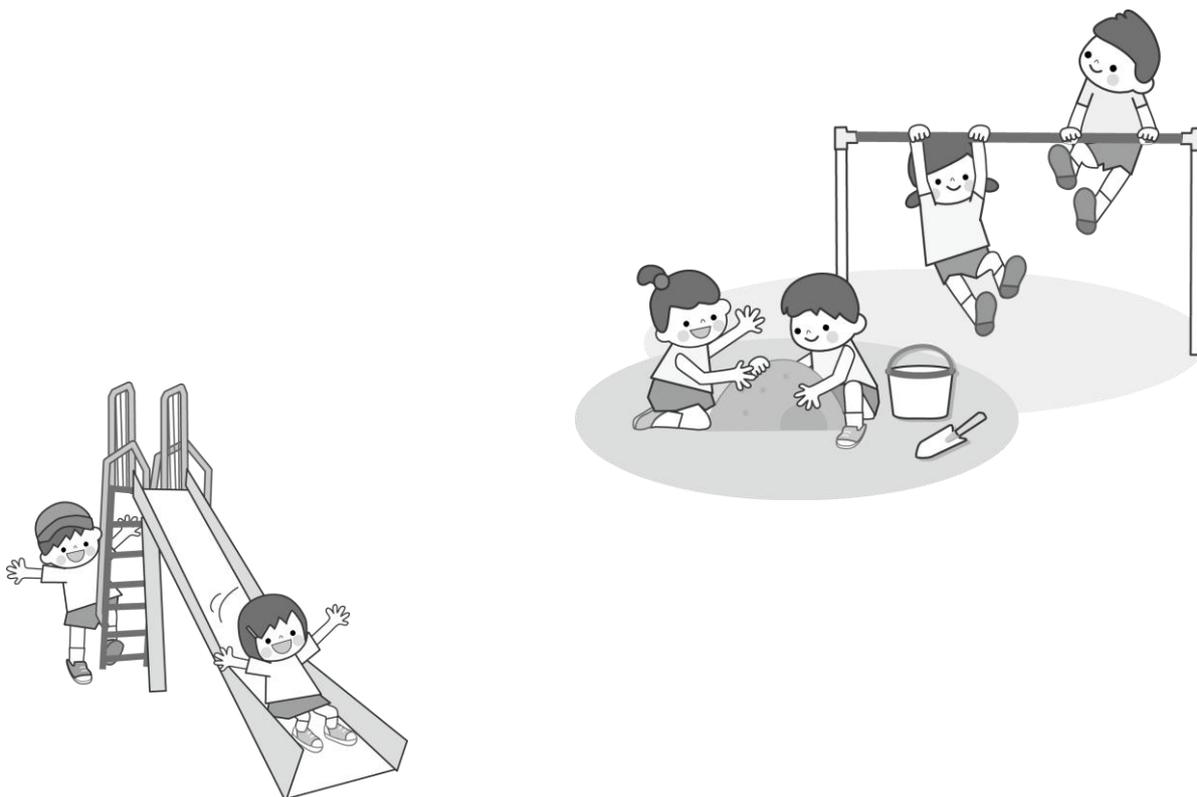
→ 問 23 へ

問 22-5 問 22-1 で「3」～「9」を選ばれた方にうかがいます。その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで子どもをみたい」と思いましたか。また、その場合の仕事を休んでみたかった日数はどれくらいありますか。(○は1つ・「1」を選んだ場合は日数を□内に数字で記入)

- 1 できれば仕事を休んで子どもをみたい ⇒ 日数：年間  日 → 問 23 へ
- 2 休んで子どもをみることは非常に難しい → 問 22-6 へ

問 22-6 問 22-5 で「2」を選ばれた方にうかがいます。その理由は何ですか。(○はあてはまるものすべて)

- 1 子どもの看護を理由に休みがとれない
- 2 自営業なので休めない
- 3 休暇日数が足りないので休めない
- 4 その他( )





問 24-1 問 24 で「1」を選ばれた方にうかがいます。問 24 の目的でお子さんを預ける場合、どの事業形態が望ましいと思いますか。(○はあてはまるものすべて)

- |   |   |
|---|---|
| 1 | 大規模施設で子どもを保育する事業 (例: 幼稚園・保育所等)                  |
| 2 | 小規模施設で子どもを保育する事業 (例: 家庭的保育・認可外保育施設等)            |
| 3 | 地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業 (例: ファミリー・サポート・センター等) |
| 4 | その他 ( )   |

問 25 この1年間に、保護者の用事 (冠婚葬祭、保護者・家族の病気など)により、あて名のお子さんを泊まりがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか。(預け先が見つからなかった場合も含まれます)

また、あった場合はその対処方法と年間の泊数をご記入ください。

(○はあてはまるものすべて・○をつけたものそれぞれの日数を□内に数字で記入)

1	あった			} <b>問25-1へ</b>
	ア (同居者を含む) 親族・知人にみてもらった	-->	年間 □ 泊	
	イ 短期入所生活援助事業 (ショートステイ) を利用した (児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業)	-->	年間 □ 泊	
	ウ 「イ」以外の保育事業 (認可外保育施設、ベビーシッター等) を利用した	-->	年間 □ 泊	
	エ 仕方なく子どもを同行させた	----->	年間 □ 泊	
	オ 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	----->	年間 □ 泊	
	カ その他 ( )	----->	年間 □ 泊	
2	なかった	→ <b>問26へ</b>		

問 25-1 問 25 で「1 あった」と回答し、「ア (同居者を含む) 親族・知人にみてもらった」を選ばれた方にうかがいます。その場合の困難度はどの程度でしたか。(○は1つ)

- |   |          |   |           |
|---|----------|---|-----------|
| 1 | 非常に困難    | 2 | どちらかという困難 |
| 3 | 特に困難ではない |   |           |

## 小学校就学後の放課後の過ごし方についてうかがいます

問 26 あて名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。（○はあてはまるものすべて）

また、希望する日数は、1週当たり何日ですか。（□内に数字で記入）

※「放課後児童教室」の場合は、利用を希望する時間もご記入ください。（□内に数字で記入）

1 自宅	週	□	日くらい
2 祖父母宅や友人・知人宅	週	□	日くらい
3 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週	□	日くらい
4 放課後児童教室〔学童保育〕	週	□	日くらい
⇒下校時から		□	時まで（24時間制表記）
5 子ども家庭センター	週	□	日くらい
6 放課後子ども教室	週	□	日くらい
7 ファミリー・サポート・センター	週	□	日くらい
8 その他（公民館、公園、広場など）	週	□	日くらい

※公民館で行う「放課後子ども教室」の利用を希望する場合は「6」に回答

問 27 あて名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。（○はあてはまるものすべて）

また、希望する日数は、1週当たり何日ですか。（□内に数字で記入）

※「放課後児童教室」の場合は、利用を希望する時間もご記入ください。（□内に数字で記入）

※だいたい先のこととなりますが、現在お持ちのイメージでお答えください。

1 自宅	週	□	日くらい
2 祖父母宅や友人・知人宅	週	□	日くらい
3 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週	□	日くらい
4 放課後児童教室〔学童保育〕	週	□	日くらい
⇒下校時から		□	時まで（24時間制表記）
5 子ども家庭センター	週	□	日くらい
6 放課後子ども教室	週	□	日くらい
7 ファミリー・サポート・センター	週	□	日くらい
8 その他（公民館、公園、広場など）	週	□	日くらい

※公民館で行う「放課後子ども教室」の利用を希望する場合は「6」に回答

問 28 問 26 または問 27 で「4 放課後児童教室（学童保育）」を選ばれた方にうかがいます。あて名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童教室の利用希望はありますか。

（○は1つ）

また、希望がある場合は、利用したい時間帯をご記入ください。（□内に数字で記入）

※これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。（別紙をご参照ください）

（1）土曜日

1 低学年（1～3年生）の間は利用したい	}	利用したい時間帯	
2 高学年（4～6年生）になっても利用したい		□ 時から □ 時まで	
3 利用する必要はない		（24 時間制表記）	

（2）日曜日・祝日

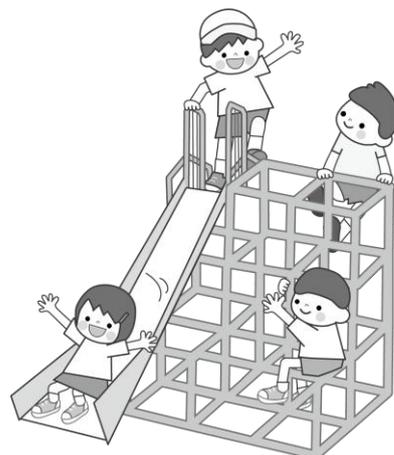
1 低学年（1～3年生）の間は利用したい	}	利用したい時間帯	
2 高学年（4～6年生）になっても利用したい		□ 時から □ 時まで	
3 利用する必要はない		（24 時間制表記）	

問 29 あて名のお子さんについて、夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の放課後児童教室の利用希望はありますか。（○は1つ）

また、希望がある場合は、利用したい時間帯をご記入ください。（□内に数字で記入）

※これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。（別紙をご参照ください）

1 低学年（1～3年生）の間は利用したい	}	利用したい時間帯	
2 高学年（4～6年生）になっても利用したい		□ 時から □ 時まで	
3 利用する必要はない		（24 時間制表記）	



育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度についてうかがいます

問 30 あて名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについてお答えください。（母子家庭の場合は母親のみ、父子家庭の場合は父親のみにご回答ください。）また、取得していない方はその理由をお答えください。

母親（○は1つ）

1 働いていなかった  
2 取得した（取得中である）  
3 取得していない

→取得していない理由  
（下から数字を選んでください）  
【あてはまるものすべてに○】  
1・2・3・4・5・6・7・8・9  
▲ 10・11・12・13・14・15

父親（○は1つ）

1 働いていなかった  
2 取得した（取得中である）  
3 取得していない

→取得していない理由  
（下から数字を選んでください）  
【あてはまるものすべてに○】  
1・2・3・4・5・6・7・8・9  
▲ 10・11・12・13・14・15

- 1 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった  
2 仕事が忙しかった  
3 （産休後に）仕事に早く復帰したかった  
4 仕事に戻るのが難しそうだった  
5 昇給・昇格などが遅れそうだった  
6 収入減となり、経済的に苦しくなる  
7 保育所などに預けることができた  
8 夫（妻）が育児休業制度を利用した  
9 夫（妻）が無職、祖父母などの親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった  
10 子育てや家事に専念するために退職した  
11 職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）  
12 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった  
13 育児休業を取得できることを知らなかった  
14 産前産後の休暇（産前6週間、産後8週間）を取得できることを知らず、退職した  
15 その他（ ）

問 30-1 子どもが原則1歳（保育所における保育の実施が行われないなど一定の要件を満たす場合は1歳6か月）になるまで育児休業給付が支給される仕組み、子どもが満3歳になるまでの育児休業等（法定の育児休業及び企業が法定を上回る期間設けた育児休業に準ずる措置）期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことをご存知でしたか。（○は1つ）

1 育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた  
2 育児休業給付のみ知っていた  
3 保険料免除のみ知っていた  
4 育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった

問 30-2～9 は、問 30 で「2 取得した（取得中である）」を選ばれた方にうかがいます。  
それ以外の方は、19 ページの問 31 にお進みください。

問 30-2 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。（○は1つ）

(1) 母親

1	育児休業取得後、職場に復帰した	→ 問30-3へ
2	現在も育児休業中である	→ 問30-9へ
3	育児休業中に離職した	→ 問31へ

(2) 父親

1	育児休業取得後、職場に復帰した	→ 問30-3へ
2	現在も育児休業中である	→ 問30-9へ
3	育児休業中に離職した	→ 問31へ

問 30-3～5 は、問 30-2 で「1 育児休業取得後、職場に復帰した」を選ばれた方にうかがいます。

問 30-3 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。  
あるいはそれ以外でしたか。（○は1つ）

※年度初めでの認可保育所入所を希望して、1月～2月頃復帰して一時的に認可外保育所に入所した場合なども「1」にあてはまります。また年度初めでの入所を希望して復帰したが実際には希望する保育所に入所できなかったという場合も「1」を選択してください。

(1) 母親

1	年度初めの入所に合わせたタイミングだった
2	それ以外だった

(2) 父親

1	年度初めの入所に合わせたタイミングだった
2	それ以外だった

問 30-4 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何か月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何か月のときまで取りたかったですか。（数字で記入）

(1) 母親

実際の復帰時期：	<input type="text"/>	歳	<input type="text"/>	か月	
希望	：	<input type="text"/>	歳	<input type="text"/>	か月

(2) 父親

実際の復帰時期：	<input type="text"/>	歳	<input type="text"/>	か月	
希望	：	<input type="text"/>	歳	<input type="text"/>	か月

問 30-5 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何か月のときまで取りたかったですか。（数字で記入）

(1) 母親

<input type="text"/>	歳	<input type="text"/>	か月
----------------------	---	----------------------	----

(2) 父親

<input type="text"/>	歳	<input type="text"/>	か月
----------------------	---	----------------------	----

問 30-6 問 30-4 で実際の復帰と希望が異なる方にうかがいます。希望の時期に職場復帰しなかった理由は何ですか。

(1) 「希望」より早く復帰した方（○はあてはまるものすべて）

①母親

1	希望する保育所に入るため
2	夫や家族の希望があったため
3	経済的な理由で早く復帰する必要があった
4	人事異動や業務の節目の時期に合わせるため
5	その他（ <input type="text"/> ）

②父親

1	希望する保育所に入るため
2	妻や家族の希望があったため
3	経済的な理由で早く復帰する必要があった
4	人事異動や業務の節目の時期に合わせるため
5	その他（ <input type="text"/> ）

(2) 「希望」より遅く復帰した方 (○はあてはまるものすべて)

①母親

- |   |                        |
|---|------------------------|
| 1 | 希望する保育所に入れなかったため       |
| 2 | 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため |
| 3 | 夫や家族の希望があったため          |
| 4 | 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため   |
| 5 | 子どもをみてくれる人がいなかったため     |
| 6 | その他 ( )                |

②父親

- |   |                        |
|---|------------------------|
| 1 | 希望する保育所に入れなかったため       |
| 2 | 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため |
| 3 | 妻や家族の希望があったため          |
| 4 | 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため   |
| 5 | 子どもをみてくれる人がいなかったため     |
| 6 | その他 ( )                |

問 30-7 問 30-2 で「1 育児休業取得後、職場に復帰した」を選ばれた方にうかがいます。育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。(○は1つ)

(1) 母親

- |   |  |
|---|--|
| 1 | 利用する必要がなかった<br>(フルタイムで働きたかった・もともと短時間勤務だった) |
| 2 | 利用した                                       |
| 3 | 利用しなかった(利用できなかった)<br>→ 問30-8へ              |

(2) 父親

- |   |  |
|---|--|
| 1 | 利用する必要がなかった<br>(フルタイムで働きたかった・もともと短時間勤務だった) |
| 2 | 利用した                                       |
| 3 | 利用しなかった(利用できなかった)<br>→ 問30-8へ              |

問 30-8 問 30-7 で「3」を選ばれた方にうかがいます。短時間勤務制度を利用しなかった(利用できなかった)理由は何ですか。(○はあてはまるものすべて)

(1) 母親

- |    |                                      |
|----|--------------------------------------|
| 1  | 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった              |
| 2  | 仕事が忙しかった                             |
| 3  | 短時間勤務にすると給与が減額される                    |
| 4  | 短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がると思った       |
| 5  | 夫が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した                |
| 6  | 夫が無職、祖父母などの親族にみてもらえるなど、子どもをみてくれる人がいた |
| 7  | 子育てや家事に専念するため退職した                    |
| 8  | 職場に短時間勤務制度がなかった(就業規則に定めがなかった)        |
| 9  | 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった               |
| 10 | その他 ( )                              |

(2) 父親

- |    |                                      |
|----|--------------------------------------|
| 1  | 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった              |
| 2  | 仕事が忙しかった                             |
| 3  | 短時間勤務にすると給与が減額される                    |
| 4  | 短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がると思った       |
| 5  | 妻が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した                |
| 6  | 妻が無職、祖父母などの親族にみてもらえるなど、子どもをみてくれる人がいた |
| 7  | 子育てや家事に専念するため退職した                    |
| 8  | 職場に短時間勤務制度がなかった(就業規則に定めがなかった)        |
| 9  | 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった               |
| 10 | その他 ( )                              |

問 30-9 問 30-2 で「2 現在も育児休業中である」を選ばれた方にうかがいます。あて名のお子さんが1歳になったときに必ず利用できる保育事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。(○は1つ)

(1) 母親

- |   |                   |
|---|-------------------|
| 1 | 1歳になるまで育児休業を取得したい |
| 2 | 1歳になる前に復帰したい      |

(2) 父親

- |   |                   |
|---|-------------------|
| 1 | 1歳になるまで育児休業を取得したい |
| 2 | 1歳になる前に復帰したい      |

## 子育てに関する一般的な事項についてうかがいます

問 31 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後利用したいと思うものはありますか。①～⑱の事業ごとにそれぞれ、認知度、利用有無、今後の利用意向についてお答えください。(○はそれぞれ1つ)

また、利用したことがある人は、満足度について1～4の中から1つ選んでご記入ください。  
(数字を記入)

	認知度		利用有無		今後の利用意向		満足度
	知っている	知らない	がある 利用したこと	はない 利用したこと	利用したい	思わない 利用したいと	
① 保育所の延長保育	1	2	1	2	1	2	
② 病児・病後児保育	1	2	1	2	1	2	
③ 保育所の一時預かり	1	2	1	2	1	2	
④ 保育所の園庭等の開放	1	2	1	2	1	2	
⑤ つどいの広場 (身近な地域における親子のつどいの場 子育てサロン)	1	2	1	2	1	2	
⑥ 子ども家庭センターの相談事業 (子育てこころ相談)	1	2	1	2	1	2	
⑦ 子ども家庭センター	1	2	1	2	1	2	
⑧ 保育所・幼稚園に設置されている 地域子育て支援センター	1	2	1	2	1	2	
⑨ 保健センターで行う乳幼児健診	1	2	1	2	1	2	
⑩ 医療機関で行う乳児健診 (4か月児健診、10か月児健診)	1	2	1	2	1	2	
⑪ 保健センターの相談事業	1	2	1	2	1	2	
⑫ 保健センターの教室 (プレママ学級、赤ちゃんセミナーなど)	1	2	1	2	1	2	
⑬ 保健センターの訪問事業 (赤ちゃん訪問など)	1	2	1	2	1	2	
⑭ 家庭教育に関する学級・講座	1	2	1	2	1	2	
⑮ ごてんば・おやま ファミリー・サポート・センター	1	2	1	2	1	2	
⑯ 市発行の子育て支援情報誌 (「みんなあつまれ」、「はぐくむ」など)	1	2	1	2	1	2	
⑰ 家庭児童相談室 (市の子育て支援課にある相談窓口)	1	2	1	2	1	2	
⑱ 産前・産後ケア、産後ヘルパー ※ 市では行っていません。	1	2	1	2	1	2	

問 32 理想の子どもの人数は何人ですか。また、現在いる子どもを含めて、現実的に子育てが可能と思われる子どもの人数は何人ですか。（□内に数字で記入）

理想の子どもの人数 <input style="width: 50px; height: 20px;" type="text"/> 人	現実的に子育て可能な子どもの人数 <input style="width: 50px; height: 20px;" type="text"/> 人
---	--

問 32-1 問 32 で理想の子どもの人数より、現実的に子育て可能な子どもの人数が少ない方にうかがいます。理想の子どもの人数よりも、現実的に子育て可能な子どもの人数が少ない理由は何ですか。（○はあてはまるものすべて）

<ol style="list-style-type: none"> <li>1 仕事と子育ての両立が難しいため</li> <li>2 自分自身（保護者）の自由な時間と育児は両立しないため</li> <li>3 子育ての心理的、肉体的負担を軽減するため</li> <li>4 子どもを欲しいが、年齢的に難しいため</li> <li>5 自分自身（保護者）の健康上の理由</li> <li>6 一番下の子どもが自分の定年までに成人しないため</li> <li>7 子育て支援策が不足しているため</li> <li>8 子育てにかかる経済的負担が大きい</li> <li>9 家が狭いため</li> <li>10 その他（ <span style="float: right;">）</span></li> </ol>
---

問 33 子育てに関して不安や負担などを感じますか。（○は1つ）

<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">1 非常に不安や負担を感じる</td> <td style="width: 50%;">2 なんとなく不安や負担を感じる</td> </tr> <tr> <td>3 なんともしえない</td> <td>4 あまり不安や負担などは感じない</td> </tr> <tr> <td>5 全く感じない</td> <td></td> </tr> </table>	1 非常に不安や負担を感じる	2 なんとなく不安や負担を感じる	3 なんともしえない	4 あまり不安や負担などは感じない	5 全く感じない	
1 非常に不安や負担を感じる	2 なんとなく不安や負担を感じる					
3 なんともしえない	4 あまり不安や負担などは感じない					
5 全く感じない						

問 34 子育てをする上で、特に不安に思っていることや悩んでいることはどのようなことですか。（○はあてはまるものすべて）

<ol style="list-style-type: none"> <li>1 子育てにかかる経済的負担が大きい</li> <li>2 仕事と子育ての両立が難しい</li> <li>3 子どもの健康や発達に不安を感じる</li> <li>4 地域医療体制への不安を感じる</li> <li>5 教育・保育その他の子育て支援事業や施設が利用しにくい</li> <li>6 相談相手や手助けしてくれる人がいない</li> <li>7 安全な遊び場や児童館など、子どもの居場所が身近にない</li> <li>8 安全な通園・通学ができる歩道や防犯設備等の整備が進んでいない</li> <li>9 身近に自然や伝統文化とふれあう機会がない</li> <li>10 子どもに関する犯罪や事故が増加していると感じる</li> <li>11 子どもの教育やいじめなどが心配</li> <li>12 自分のための時間がもてない</li> <li>13 その他（ <span style="float: right;">）</span></li> <li>14 特にない</li> </ol>
--

問 35 希望した時期に希望した教育・保育事業等を利用することができましたか。(○は1つ)

- |                           |          |   |
|---------------------------|----------|---|
| 1 利用できた                   | } 問35-1へ | ) |
| 2 育児休業を切り上げるなどして調整して利用できた |          |   |
| 3 利用できなかった                |          |   |
| 4 その他(                    |          |   |

問 35-1 問 35 で「2」または「3」と回答した方にうかがいます。

どのような教育・保育事業等をいつから利用したいと希望していましたか。また、利用できなかった理由は何ですか。ご自由にお書きください。

--

問 36 あなたの生活のなかで、「仕事」と「子育て」、「プライベート」の優先度についてうかがいます。「希望」と「現実」それぞれについてお答えください。(○は1つずつ)

(1) 希望

- |             |          |   |
|-------------|----------|---|
| 1 仕事を優先     | 2 子育てを優先 | ) |
| 3 プライベートを優先 | 4 その他(   |   |

(2) 現実

- |             |          |   |
|-------------|----------|---|
| 1 仕事を優先     | 2 子育てを優先 | ) |
| 3 プライベートを優先 | 4 その他(   |   |

問 37 子どもを育てる場所を自由に選べるとしたら、今後も御殿場市で育てたいと思いますか。

(○は1つ)

- |                |          |
|----------------|----------|
| 1 御殿場市で育てたい    | → 問37-1へ |
| 2 御殿場市では育てたくない | → 問37-2へ |

問 37-1 問 37 で「1 御殿場市で育てたい」と回答した方にうかがいます。

御殿場市で育てたいと思う理由は何ですか。(○はあてはまるものすべて)

- |                       |                     |
|-----------------------|---------------------|
| 1 自然が豊かだから            | 2 社会に活気があるから        |
| 3 子育てに関する情報が豊富だから     | 4 文化が豊かだから          |
| 5 教育環境が整っているから        | 6 防犯・防災面で安全性が高いから   |
| 7 遊び場がたくさんあるから        | 8 近隣の付き合いが活発だから     |
| 9 子ども会などの活動が活発だから     | 10 人情味があるから         |
| 11 地域の雰囲気やゆったりとしているから | 12 病院等の医療体制が整っているから |
| 13 その他(               | )                   |

問 37-2 問 37 で「2 御殿場市では育てたくない」と回答した方にうかがいます。

御殿場市では育てたくないと思う理由は何ですか。(○はあてはまるものすべて)

1 自然にふれる機会が少ないから	2 社会に活気がないから
3 子育てに関する情報が不足しているから	4 芸術・文化にふれる機会が少ないから
5 教育環境が整っていないから	6 交通・犯罪・災害などで危険だから
7 遊び場が少ないから	8 近隣の付き合いがわずらわしいから
9 子ども同士のつながりがうすいから	10 人情味がないまちだから
11 病院等の医療体制が整っていないから	
12 その他 ( )	

問 38 御殿場市の子育て環境や支援の満足度について、1～5の5段階評価でお答えください。

(1～5のうち、あてはまる番号1つに○)

満足度が低い ←	→ 満足度が高い			
1	2	3	4	5

問 39 最後に、教育・保育環境の充実など子育て環境や支援に関してご意見・ご要望がございましたら、ご自由にお書きください。

調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。

同封の返送用封筒に入れて、11月11日(月)までに、ご投函ください。

## 別紙（未就学児童用）

「用語の解説」及び「利用者負担額」について、以下に掲載しております。  
調査票のご記入に当たってのご参考にしてください。

### ■用語の解説

この調査票における用語の解説は以下のとおりです。

	名 称（50音順）	内 容
か	家庭的保育	保育者の居宅、その他の場所で行われる定員5人以下の保育事業。いわゆる保育ママ。原則として満3歳未満の保育を必要とする子どもに対し保育を行う。
き	教育	問15までにおいては家庭での教育を含めた広い意味 問16以降については幼児期の学校における教育の意味で用いている。
き	居宅訪問型保育	保育者が対象の子どもの家庭でする保育。具体的にはベビーシッター等が該当する。
こ	子育て	教育・保育その他の子どもの健やかな成長のために行われる子どもに対する活動
し	事業所内保育施設	事業所内の施設等において、主に自社の従業員の子どもを預かる保育事業施設
し	自治体の認証・認定 保育施設	認可外保育施設（私設保育施設）のうち、入園児童の処遇改善や保育の質の向上を目的として、市町村が定めた一定の基準によって運営される保育施設。認可保育所ではない。
し	小規模な保育施設	新制度により新しくはじまる保育。定員は6～19人以下。原則として満3歳未満の保育を必要とする子どもに対し、保育を行う。
ち	地域子育て支援 拠点事業	親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、「子育て支援センター」等と呼ばれる。
に	認可外保育施設	保育を目的とする施設で、児童福祉法に基づく保育所としての県知事の認可を受けていないもの（保育事業の実施には県知事への届出が義務づけられている）
に	認可保育所	保育所のうち、国が定めた児童福祉施設の設備および運営に関する基準を守り、県知事に認可を受けているもの
に	認定こども園	幼稚園と保育所の機能を併せ持つ施設（就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律第2条第6項）
ひ	病児・病後児保育	病気にかかっている子ども、あるいは、病気が回復期にある子どもを保育する事業
ふ	ファミリー・サポ ート・センター	地域において子育ての援助を受けたい人と行いたい人が会員となり、子育てについて助け合う会員組織。設立運営は市が行う。
ほ	保育所	児童福祉法に定める、保育を必要とする0～5歳児に対して保育を行う施設（児童福祉法第39条）
ほ	放課後子ども教室	地域の方々の協力を得て、放課後や週末に小学校や公民館で学習・スポーツ・文化芸術活動などを体験する取組。保護者の就労の有無に関わらず、すべての小学生が利用できる。
ほ	放課後児童教室 （学童保育）	保護者が就労等により昼間家庭にいない小学生の子どもに対し、指導員の下、生活の場を提供するもの
や	夜間養護等事業 トワイライトステイ	保護者が仕事等の理由により恒常的に夜間に帰宅するため、家庭における児童の養育が一時的に困難となった場合に、その児童を児童福祉施設等に通所させ、生活指導、夕食の提供等を行うサービス
よ	幼稚園	学校教育法に定める、3～5歳児に対して幼稚園教育を行う施設（学校教育法第22条）
よ	幼稚園の預かり 保育（公立幼稚園）	保護者の学校行事への参加等により、家庭での保育が困難な場合に、降園時間後等に、幼稚園で子どもを預かる事業
よ	幼稚園の預かり 保育（私立幼稚園）	登園時間前や降園時間後、夏季休業等の長期休業時に、幼稚園で子どもを預かる事業

## ■利用者負担額

各施設・事業の利用者負担額の目安は以下のとおりです。

(※本市における現在の利用者負担額を参考にした金額を掲載しています。)

幼稚園	1ヵ月 公立：7,000円、私立：20,000～23,000円
幼稚園の預かり保育	私立：1ヵ月 2,000～6,500円（利用時間による） 1回 100～1,000円（利用時間による）
認可保育所	1ヵ月 公立・私立：0～57,000円（世帯収入によって異なる）
認定こども園	1ヵ月 短時間保育：0～21,500円、長時間保育：0～57,000円 （世帯収入によって異なる） [平成26年4月から印野こども園が開園します。]
小規模な保育施設	新制度により新たにはじまる保育。料金は未定。
家庭的保育	近隣市町参考）保育料に準ずる ※本市では実施しておりません。
事業所内保育施設	各施設による
自治体の認証・認定保育施設	※本市及び近隣市町にはありません。
その他の認可外の保育施設	1ヵ月 約32,000～50,000円
居宅訪問型保育	新制度により新たにはじまる保育。料金は未定。
ファミリー・サポート・センター	1時間（平日昼間） 600円 1時間（土・日・祝日、早朝、夜間） 700円
地域子育て支援拠点事業 （地域子育て支援センター等）	各事業者による
休日保育（認可保育所）	1日 3歳未満児：2,000円、3歳以上児：1,500円
延長保育（認可保育所）	1回 200円
病児・病後児保育（認可保育所）	1日 2,000円
一時預かり（認可保育所）	1日 3歳未満児：1,600円、3歳以上児：900円
夜間養護等事業：トワイライト ステイ	※本市では実施しておりません。
ベビーシッター	各事業者による
放課後児童教室（学童保育）	1ヵ月 9,000円
放課後子ども教室	1年 800～3,800円



御殿場市の子育て支援に関する情報は、下記ホームページをご参照ください。

<http://city.gotemba.shizuoka.jp/life/childcare.html>

## 2. 就学児童用

# 御殿場市 子ども・子育て支援事業ニーズ調査 (就学児童用)

### 【調査ご協力のお願い】

日ごろから市政にご理解とご協力をたまり誠にありありがとうございます。

さて、御殿場市では、子ども・子育て支援法に基づく新たな子ども・子育て支援制度のもと、教育・保育その他の子育て支援の充実を図るため5年間を一期とする子ども・子育て支援事業計画を作成し、計画的に給付・事業を実施することとなりました（平成27年度から実施予定）。

この調査は、御殿場市の皆さんの教育・保育その他の子育て支援に関する「現在の利用状況」や「今後の利用希望」を把握し、この計画で確保を図るべき教育・保育その他の子育て支援の「量の見込み」を算出するために実施するものです。平成25年9月30日現在、本市にお住まいの小中学生のお子さんの中から無作為に抽出した1,000人のお子さんの保護者の方を対象に調査票をお送りさせていただきました。

なお、ご回答いただいた調査内容は、「こう思う方は全体の何%」といった形に整理し、統計的な分析にのみ使用いたします。調査目的以外に使用せず、御殿場市個人情報保護条例に基づく適正な取扱いを行います。また、施設や事業の具体的な利用の可否を確認・決定するものでもなく、今後、利用希望を変更していただいて構いません。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成25年10月

御殿場市長 若林 洋平

### 【ご記入に当たってのお願い】

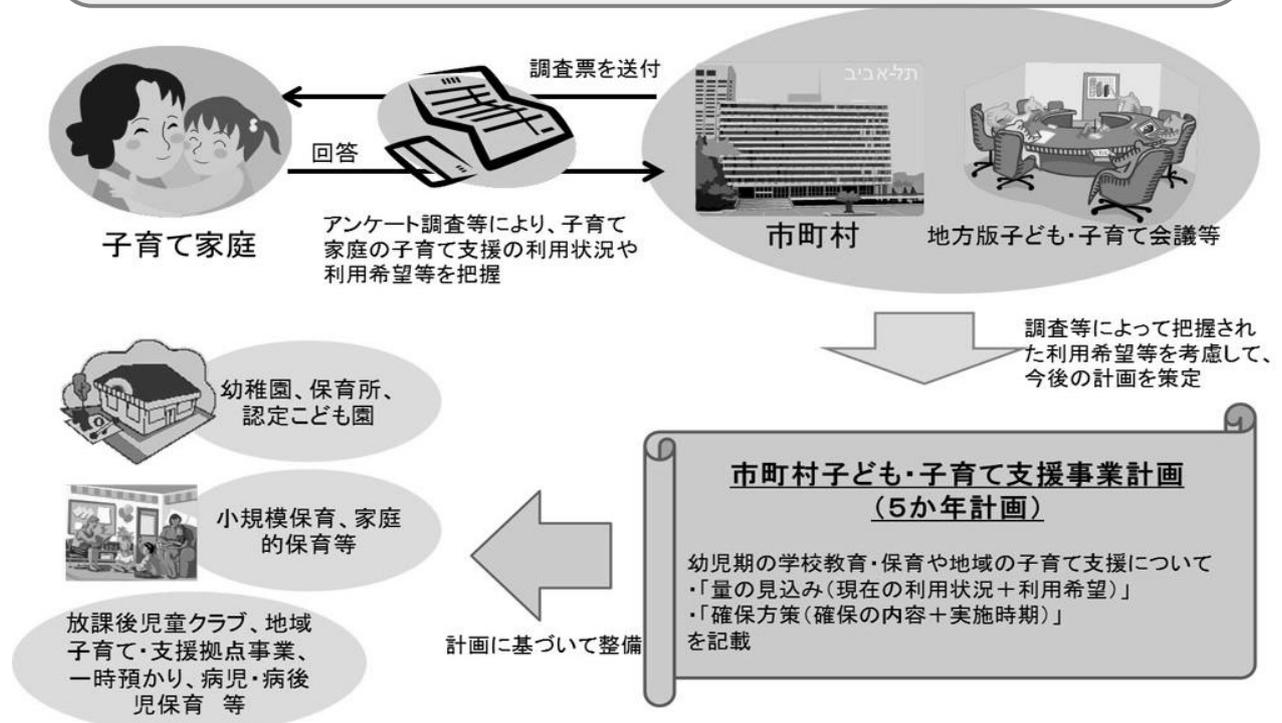
1. 特にことわりのある場合以外は、**封筒のあて名のお子さん**についてご記入ください。
2. アンケートには、**お子さんの保護者の方**がご記入ください。
3. 選択肢がある場合には、番号を○印で囲んでください。
4. 年齢や時間帯等についてうかがう質問では、枠内に具体的な数字をご記入ください。  
また、**時間については24時間制**でご記入ください。 **(例：午後01時 → 13時)**
5. 質問によっては、回答していただく方が限られる場合がありますので、矢印や案内にそってお答えください。
6. 教育・保育その他の子育て支援事業についてうかがう質問がありますが、これらの質問はあくまで今後の利用希望などを把握するための質問であり、実際の利用条件（例：保育所の入所要件など）を全て表現しているものではありません。実際の利用条件などについては、市担当課窓口にご相談ください。
7. 記入後は、同封の返送用封筒に入れて、**11月11日（月）**までにポストへお入れください（切手は不要です）。
8. この調査についてのお問い合わせは、下記までお願いいたします。

【お問い合わせ先】

御殿場市役所 健康福祉部 子ども保育課

電話：0550-82-4126

いただいた回答は地域の子育て支援の充実にいかされます



【子ども・子育て支援新制度】

子ども・子育て支援法（平成24年法律第65号）に基づく新たな子ども・子育て支援の制度（以下「子ども・子育て支援新制度」といいます。）は、以下のような考え方に基づいています。

- ◆ 子ども・子育て支援新制度は、急速な少子化の進行、家庭・地域を取り巻く環境の変化に対応して、子どもや保護者に必要な支援を行い、一人ひとりの子どもが健やかに成長することができる社会を実現することを目的としています。
- ◆ 子どもの成長においては、乳児期におけるしっかりとした愛着形成を基礎とした情緒の安定や他者への信頼感の醸成、幼児期における他者との関わりや基本的な生きる力の獲得、学童期における心身の健全な発達を通じて、一人ひとりがかげがえのない個性ある存在として認められるとともに、自己肯定感を持って育まれることが重要です。子ども・子育て支援新制度は、社会全体の責任として、そのような環境を整備することを目指しています。
- ◆ 子ども・子育て支援は、以上のような考え方をもとに、保護者には子育てについての第一義的責任があることを前提としつつ、保護者が子育てについての責任を果たすことや、子育ての権利を享受することが可能となるような支援を行うものです。  
地域や社会が保護者に寄り添い、子育てに対する負担や不安、孤立感を和らげることを通じて、保護者が自己肯定感を持ちながら子どもと向き合える環境を整え、親としての成長を支援し、子育てや子どもの成長に喜びや生きがいを感じることができるような支援を目指しています。

※ 次のページから質問が始まります ※

調査票に記載されている用語の解説および各子育て支援事業等の利用者負担額については、別紙に記載しています。別紙資料をご参照いただきながら、ご回答ください。



## 子どもの育ちをめぐる環境についてうかがいます

問 10 あて名のお子さんの子育てに日常的に関わっている方はどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。(○はあてはまるものすべて)

1 父母ともに	2 母親	3 父親
4 祖父母	5 その他 ( )	

問 11 あて名のお子さんの子育てに、影響すると思われる環境はどれですか。(○はあてはまるものすべて)

1 家庭	2 地域	3 学校
4 その他 ( )		

問 12 日ごろ、あて名のお子さんをみてもらえる親族または友人・知人はいますか。(○はあてはまるものすべて)

1 日常的に祖父母などの親族にみてもらえる	} 問12-1へ
2 緊急時もしくは用事の際には祖父母などの親族にみてもらえる	
3 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる	} 問12-2へ
4 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる	
5 いずれもない → 問13へ	

問 12-1 問 12 で「1」または「2」を選ばれた方にうかがいます。祖父母などの親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。(○はあてはまるものすべて)

1 祖父母などの親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる
2 祖父母などの親族の身体的負担が大きく心配である
3 祖父母などの親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である
4 親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
5 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある
6 その他 ( )

問 12-2 問 12 で「3」または「4」を選ばれた方にうかがいます。友人や知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。(○はあてはまるものすべて)

1 友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる
2 友人・知人の身体的負担が大きく心配である
3 友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である
4 親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
5 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある
6 その他 ( )

問 13 あて名のお子さんの子育てをする上で、気軽に相談できる人または相談できる場所がありますか。(○は1つ)

1 いる / ある →問13-1へ	2 いない / ない →問14へ
-------------------	------------------

問 13-1 問 13 で「1」を選ばれた方にうかがいます。お子さんの子育てに関して、気軽に相談できる先は誰(どこ)ですか。(○はあてはまるものすべて)

1 祖父母などの親族	2 友人や知人	3 近所の人
4 子ども家庭センター・NPO	5 保健所・保健センター	6 学校
7 民生委員・児童委員	8 かかりつけの医師	9 市の子育て関連担当窓口
10 その他( )		

問 14 子育てをする上で、周囲(身近な人、行政など)からどのようなサポートがあればよいと思いますか。ご自由にお書きください。

保護者の就労状況についてうかがいます

問 15 あて名のお子さんの保護者の現在の就労状況(自営業・農業等、家族従事者含む)をうかがいます。

(1) 母親についてうかがいます。(○は1つ) 【父子家庭の場合は(2)へ】

1 フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	}	(1)-1へ
2 フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しているが、産休・育休・介護休業中である		
3 パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない		
4 パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しているが、産休・育休・介護休業中である		
5 以前は就労していたが、現在は就労していない	}	(1)-3へ
6 これまで就労したことがない		

(1) - 1 (1) で「1」～「4」を選ばれた方にうかがいます。1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」と家を出る時刻、帰宅時刻をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

(□内に数字で記入)

1週当たり： □ □ 日	1日当たり： □ □ 時間
家を出る時刻： □ □ 時	帰宅時刻： □ □ 時
(24時間制表記)	(24時間制表記)

(1) -2 (1) で「3」または「4」(パート・アルバイト等で就労) を選ばれた方にうかがいます。

フルタイムへの転換希望はありますか。(○は1つ)

- |   |  |
|---|--|
| 1 | フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある  |
| 2 | フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない |
| 3 | パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望              |
| 4 | パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)をやめて子育てや家事に専念したい          |

(1) -3 (1) で「5 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6 これまで就労したことがない」を選ばれた方にうかがいます。

就労したいという希望はありますか。

(○は1つ・「3」の「イ」を選んだ場合は口内に数字を記入)

- |  |   |   |                          |   |                   |  |  |
|--|---|---|--------------------------|---|-------------------|--|--|
| 1  | 子育てや家事などに専念したい(就労は希望しない)  |   |                          |   |                   |  |  |
| 2  | 1年より先、一番下の子どもが <input type="text"/> 歳になったころに就労したい   |   |                          |   |                   |  |  |
| 3  | すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい  |   |                          |   |                   |  |  |
| ⇒ 希望する就労形態   | <table border="0"> <tr> <td>ア</td> <td>フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td>パート・アルバイト等(「ア」以外)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">⇒1週当たり: <input type="text"/> 日、1日当たり <input type="text"/> 時間</td> </tr> </table> | ア | フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労) | イ | パート・アルバイト等(「ア」以外) | ⇒1週当たり: <input type="text"/> 日、1日当たり <input type="text"/> 時間 |  |
| ア  | フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)  |   |                          |   |                   |  |  |
| イ  | パート・アルバイト等(「ア」以外)   |   |                          |   |                   |  |  |
| ⇒1週当たり: <input type="text"/> 日、1日当たり <input type="text"/> 時間 |   |   |                          |   |                   |  |  |

(2) 父親についてうかがいます。(○は1つ) 【母子家庭の場合は記入不要です】

- |   |  |          |
|---|--|----------|
| 1 | フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しており、育休・介護休業中ではない | } (2)-1^ |
| 2 | フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しているが、育休・介護休業中である |          |
| 3 | パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しており、育休・介護休業中ではない |          |
| 4 | パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しているが、育休・介護休業中である |          |
| 5 | 以前は就労していたが、現在は就労していない                        | } (2)-3^ |
| 6 | これまで就労したことがない                                |          |

(2) -1 (2)で「1」～「4」を選ばれた方にうかがいます。1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」と家を出る時刻、帰宅時刻をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育児・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。(□内に数字で記入)

1週当たり：	<input type="text"/> 日	1日当たり：	<input type="text"/> 時間
家を出る時刻： (24時間制表記)	<input type="text"/> 時	帰宅時刻： (24時間制表記)	<input type="text"/> 時

(2) -2 (2)で「3」または「4」(パート・アルバイト等で就労)を選ばれた方にうかがいます。

フルタイムへの転換希望はありますか。(○は1つ)

- 1 フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある
- 2 フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない
- 3 パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望
- 4 パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)をやめて子育てや家事に専念したい

(2) -3 (2)で「5 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6 これまで就労したことがない」を選ばれた方にうかがいます。

就労したいという希望はありますか。

(○は1つ・「3」の「イ」を選んだ場合は□内に数字を記入)

- 1 子育てや家事などに専念したい(就労は希望しない)
  - 2 1年より先、一番下の子どもが  歳になったころに就労したい
  - 3 すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい
- ⇒ 希望する就労形態
- |   |                          |
|---|--------------------------|
| ア | フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労) |
| イ | パート・アルバイト等(「ア」以外)        |
- ⇒1週当たり： 日、1日当たり  時間



## 放課後の過ごし方についてうかがいます

問 16 あて名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のとき、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごしていましたか。または、過ごさせたいと思いますか。（○はあてはまるものすべて）

また、希望する日数は、1週当たり何日ですか。（□内に数字で記入）

「放課後児童教室」の場合は、利用（希望）時間もご記入ください。（□内に数字で記入）

1 自宅	週	□	日くらい
2 祖父母宅や友人・知人宅	週	□	日くらい
3 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週	□	日くらい
4 放課後児童教室〔学童保育〕	週	□	日くらい
⇒下校時から □ 時まで（24 時間制表記）			
5 子ども家庭センター	週	□	日くらい
6 放課後子ども教室	週	□	日くらい
7 ファミリー・サポート・センター	週	□	日くらい
8 その他（公民館、公園、広場など）	週	□	日くらい

※ 公民館で行う「放課後子ども教室」を利用している（利用を希望する）場合は「6」に回答

問 17 あて名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）のとき、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごしていましたか。または、過ごさせたいと思いますか。（○はあてはまるものすべて）

また、希望する日数は、1週当たり何日ですか。（□内に数字で記入）

「放課後児童教室」の場合は、利用（希望）時間もご記入ください。（□内に数字で記入）

1 自宅	週	□	日くらい
2 祖父母宅や友人・知人宅	週	□	日くらい
3 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週	□	日くらい
4 放課後児童教室〔学童保育〕	週	□	日くらい
⇒下校時から □ 時まで（24 時間制表記）			
5 子ども家庭センター	週	□	日くらい
6 放課後子ども教室	週	□	日くらい
7 ファミリー・サポート・センター	週	□	日くらい
8 その他（公民館、公園、広場など）	週	□	日くらい

※ 公民館で行う「放課後子ども教室」を利用している（利用を希望する）場合は「6」に回答

問 18 問 16 または問 17 で「4 放課後児童教室（学童保育）」を選ばれた方にうかがいます。あて名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童教室の利用希望はありますか。

（○は1つ）

また、希望がある場合は、利用したい時間帯をご記入ください。（□内に数字で記入）

※これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。（別紙をご参照ください）

（1）土曜日

1 低学年（1～3年生）の間は利用したい	} 利用したい時間帯 □ 時から □ 時まで (24 時間制表記)
2 高学年（4～6年生）になっても利用したい	
3 利用する必要はない	

（2）日曜日・祝日

1 低学年（1～3年生）の間は利用したい	} 利用したい時間帯 □ 時から □ 時まで (24 時間制表記)
2 高学年（4～6年生）になっても利用したい	
3 利用する必要はない	

問 19 あて名のお子さんについて、夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の放課後児童教室の利用希望はありますか。（○は1つ）

また、希望がある場合は、利用したい時間帯をご記入ください。（□内に数字で記入）

※これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。（別紙をご参照ください）

1 低学年（1～3年生）の間は利用したい	} 利用したい時間帯 □ 時から □ 時まで (24 時間制表記)
2 高学年（4～6年生）になっても利用したい	
3 利用する必要はない	



## ファミリー・サポート・センターの利用についてうかがいます

問 20 現在、ファミリー・サポート・センターを利用していますか。(○は1つ)

- 1 利用している →問20-1、2へ      2 利用していない →問21へ

問 20-1 問 20 で「1」を選ばれた方にうかがいます。どのような目的で利用していますか。

(○はあてはまるものすべて)

- 1 主たる保育事業として利用している
- 2 放課後児童教室等の利用で足りない分の時間を補う目的で利用している(朝・夕等)
- 3 子どもの病気・ケガ等の緊急時に利用している
- 4 祖父母や近所の人・友人等に預かってもらえないときに利用している
- 5 親の冠婚葬祭等や買い物等の外出の際に利用している
- 6 放課後児童教室や習い事等の送り迎えに利用している
- 7 その他の目的で利用している

問 20-2 問 20 で「1」を選ばれた方にうかがいます。どれくらいの頻度で利用していますか。

(□内に数字で記入)

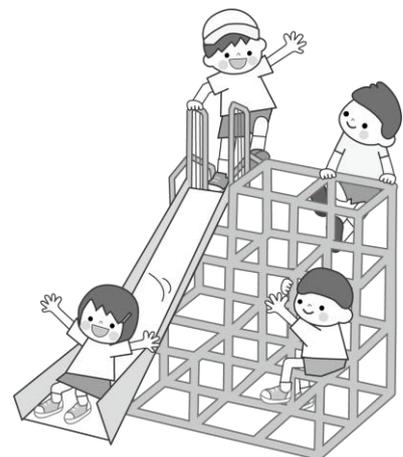
月に □□□□ 日くらい      1回あたり □□□□ 時間程度

問 21 今は利用していないが、できれば利用したい、あるいは、利用日数・回数を増やしたいと思いませんか。(○は1つ)

また、希望がある場合は、利用したい頻度をご記入ください。(□内に数字で記入)

※これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。(別紙をご参照ください)

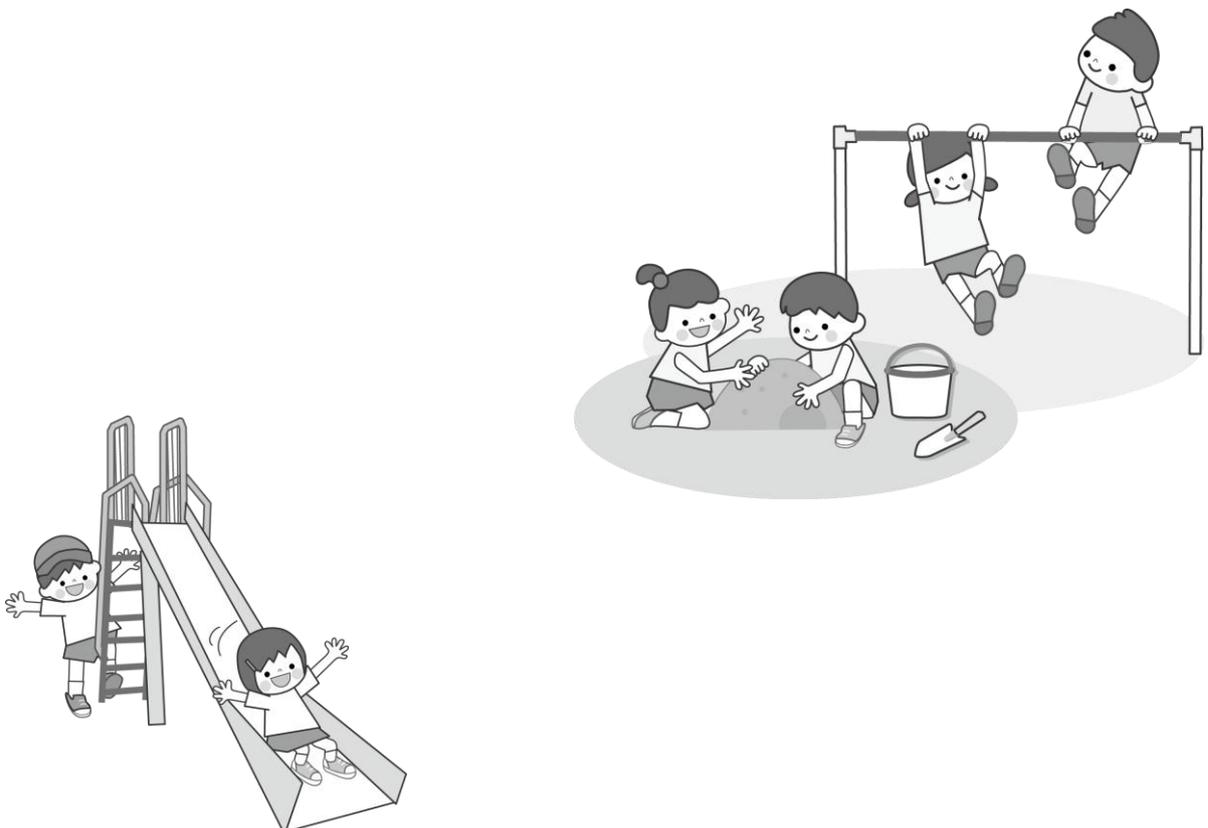
- |   |   |   |
|---|---|---|
| <ol style="list-style-type: none"> <li>1 利用したい</li> <li>2 利用日数・回数を増やしたい</li> <li>3 利用希望はない</li> </ol> | } | 希望する利用頻度<br>月に □□□□ 日くらい      1回あたり □□□□ 時間程度 |
|---|---|---|



## 学校教育についてうかがいます

問 22 子どもの学びの場である学校教育において、子どもの健全な育成のために今後どのようなことに取り組むべきだと思いますか。(○はあてはまるものすべて)

- 1 子どもが自発的に物事に取り組むことができる環境づくり
- 2 心身ともにたくましく育つための体力づくり
- 3 思いやりの心をもつための道徳教育の充実
- 4 読み、書き、計算などの学力の向上
- 5 福祉に関心を高めるためのボランティア活動の実施
- 6 国際交流を高めるための外国語授業
- 7 「生きる力」向上のための総合学習の充実
- 8 子どもの悩みを受け入れる相談体制の充実
- 9 その他(具体的に： )



## 子育てに関する一般的な事項についてうかがいます

問 23 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後利用したいと思うものはありますか。①～⑱の事業ごとにそれぞれ、認知度、利用有無、今後の利用意向についてお答えください。(○はそれぞれ1つ)

また、利用したことがある人は、満足度について1～4の中から1つ選んでご記入ください。  
(数字を記入)

	認知度		利用有無		今後の利用意向		満足度
	知っている	知らない	がある 利用したこと	はない 利用したこと	利用したい	思わない 利用したいと	
① 保育所の延長保育	1	2	1	2	1	2	
② 病児・病後児保育	1	2	1	2	1	2	
③ 保育所の一時預かり	1	2	1	2	1	2	
④ 保育所の園庭等の開放	1	2	1	2	1	2	
⑤ つどいの広場 (身近な地域における親子のつどいの場 子育てサロン)	1	2	1	2	1	2	
⑥ 子ども家庭センターの相談事業 (子育てこころ相談)	1	2	1	2	1	2	
⑦ 子ども家庭センター	1	2	1	2	1	2	
⑧ 保育所・幼稚園に設置されている 地域子育て支援センター	1	2	1	2	1	2	
⑨ 保健センターで行う乳幼児健診	1	2	1	2	1	2	
⑩ 医療機関で行う乳児健診 (4か月児健診、10か月児健診)	1	2	1	2	1	2	
⑪ 保健センターの相談事業	1	2	1	2	1	2	
⑫ 保健センターの教室 (プレママ学級、赤ちゃんセミナーなど)	1	2	1	2	1	2	
⑬ 保健センターの訪問事業 (赤ちゃん訪問など)	1	2	1	2	1	2	
⑭ 家庭教育に関する学級・講座	1	2	1	2	1	2	
⑮ ごてんば・おやま ファミリー・サポート・センター	1	2	1	2	1	2	
⑯ 市発行の子育て支援情報誌 (「みんなあつまれ」、「はぐくむ」など)	1	2	1	2	1	2	
⑰ 家庭児童相談室 (市の子育て支援課にある相談窓口)	1	2	1	2	1	2	
⑱ 産前・産後ケア、産後ヘルパー ※ 市では行っていません。	1	2	1	2	1	2	

問 24 理想の子どもの人数は何人ですか。また、現在いる子どもを含めて、現実的に子育てが可能と思われる子どもの人数は何人ですか。（□内に数字で記入）

理想の子どもの人数：	<input type="text"/>	人	現実的に子育てが可能な子どもの人数：	<input type="text"/>	人
------------	----------------------	---	--------------------	----------------------	---

問 24-1 問 24 で理想の子どもの人数より、現実的に子育てが可能な子どもの人数が少ない方にうかがいます。理想の子どもの人数よりも、現実的に子育てが可能な子どもの人数が少ない理由は何ですか。（○はあてはまるものすべて）

1 仕事と子育ての両立が難しいため
2 自分自身（保護者）の自由な時間と育児は両立しないため
3 子育ての心理的、肉体的負担を軽減するため
4 子どもを欲しいが、年齢的に難しいため
5 自分自身（保護者）の健康上の理由
6 一番下の子どもが自分の定年までに成人しないため
7 子育て支援策が不足しているため
8 子育てにかかる経済的負担が大きい
9 家が狭いため
10 その他（ <input type="text"/> ）

問 25 子育てに関して不安や負担などを感じますか。（○は1つ）

1 非常に不安や負担を感じる	2 なんとなく不安や負担を感じる
3 なんともしえない	4 あまり不安や負担などは感じない
5 全く感じない	

問 26 子育てをする上で、特に不安に思っていることや悩んでいることはどのようなことですか。（○はあてはまるものすべて）

1 子育てにかかる経済的負担が大きい
2 仕事と子育ての両立が難しい
3 子どもの健康や発達に不安を感じる
4 地域医療体制への不安を感じる
5 教育・保育その他の子育て支援事業や施設が利用しにくい
6 相談相手や手助けしてくれる人がいない
7 安全な遊び場や児童館など、子どもの居場所が身近にない
8 安全な通園・通学ができる歩道や防犯設備等の整備が進んでいない
9 身近に自然や伝統文化とふれあう機会がない
10 子どもに関する犯罪や事故が増加していると感じる
11 子どもの教育やいじめなどが心配
12 自分のための時間がもてない
13 その他（ <input type="text"/> ）
14 特にない

問 27 希望した時期に希望した教育・保育事業等を利用することができましたか。(○は1つ)

1 利用できた	} 問27-1へ
2 育児休業を切り上げるなどして調整して利用できた	
3 利用できなかった	
4 その他 ( )	

問 27-1 問 27 で「2」または「3」と回答した方にうかがいます。

どのような教育・保育事業等をいつから利用したいと希望していましたか。また、利用できなかった理由は何ですか。ご自由にお書きください。

問 28 あなたの生活のなかで、「仕事」と「子育て」、「プライベート」の優先度についてうかがいます。「希望」と「現実」それぞれについてお答えください。(○は1つずつ)

(1) 希望

1 仕事を優先	2 子育てを優先
3 プライベートを優先	4 その他 ( )

(2) 現実

1 仕事を優先	2 子育てを優先
3 プライベートを優先	4 その他 ( )

問 29 子どもを育てる場所を自由に選べるとしたら、今後も御殿場市で育てたいと思いますか。

(○は1つ)

1 御殿場市で育てたい	→ 問29-1へ
2 御殿場市では育てたくない	→ 問29-2へ

問 29-1 問 29 で「1 御殿場市で育てたい」と回答した方にうかがいます。

御殿場市で育てたいと思う理由は何ですか。(○はあてはまるものすべて)

1 自然が豊かだから	2 社会に活気があるから
3 子育てに関する情報が豊富だから	4 文化が豊かだから
5 教育環境が整っているから	6 防犯・防災面で安全性が高いから
7 遊び場がたくさんあるから	8 近隣の付き合いが活発だから
9 子ども会などの活動が活発だから	10 人情味があるから
11 地域の雰囲気やゆったりとしているから	12 病院等の医療体制が整っているから
13 その他 ( )	

問 29-2 問 29 で「2 御殿場市では育てたくない」と回答した方にうかがいます。

御殿場市では育てたくないと思う理由は何ですか。(○はあてはまるものすべて)

1 自然にふれる機会が少ないから	2 社会に活気がないから
3 子育てに関する情報が不足しているから	4 芸術・文化にふれる機会が少ないから
5 教育環境が整っていないから	6 交通・犯罪・災害などで危険だから
7 遊び場が少ないから	8 近隣の付き合いがわずらわしいから
9 子ども同士のつながりがうすいから	10 人情味がないまちだから
11 病院等の医療体制が整っていないから	
12 その他 ( )	

問 30 御殿場市の子育て環境や支援の満足度について、1～5の5段階評価でお答えください。

(1～5のうち、あてはまる番号1つに○)

満足度が低い ←	→	満足度が高い		
1	2	3	4	5

問 31 最後に、教育・保育環境の充実など子育て環境や支援に関してご意見・ご要望がございましたら、ご自由にお書きください。

調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。

同封の返送用封筒に入れて、11月11日(月)までに、ご投函ください。

別紙（就学児童用）

「用語の解説」及び「利用者負担額」について、以下に掲載しております。  
調査票のご記入に当たってのご参考にしてください。

■用語の解説

この調査票における用語の解説は以下のとおりです。

	名称（50音順）	内容
き	教育	問15までにおいては家庭での教育を含めた広い意味 問16以降については幼児期の学校における教育の意味で用いている。
こ	子育て	教育・保育その他の子どもの健やかな成長のために行われる子どもに対する活動
ふ	ファミリー・サポート・センター	地域において子育ての援助を受けたい人と行いたい人が会員となり、子育てについて助け合う会員組織。設立運営は市が行う。
ほ	保育所	児童福祉法に定める、保育を必要とする0～5歳児に対して保育を行う施設（児童福祉法第39条）
ほ	放課後子ども教室	地域の方々の協力を得て、放課後や週末に小学校や公民館で学習・スポーツ・文化芸術活動などを体験する取組。保護者の就労の有無に関わらず、すべての小学生が利用できる。
ほ	放課後児童教室（学童保育）	保護者が就労等により昼間家庭にいない小学生の子どもに対し、指導員の下、生活の場を提供するもの
よ	幼稚園	学校教育法に定める、3～5歳児に対して幼稚園教育を行う施設（学校教育法第22条）

■利用者負担額

各施設・事業の利用者負担額の目安は以下のとおりです。

（※本市における現在の利用者負担額を参考にした金額を掲載しています。）

ファミリー・サポート・センター	1時間（平日昼間）	600円
	1時間（土・日・祝日、早朝、夜間）	700円
放課後児童教室（学童保育）	1ヵ月	9,000円
放課後子ども教室	1年	800～3,800円



御殿場市の子育て支援に関する情報は、下記ホームページをご参照ください。  
<http://city.gotemba.shizuoka.jp/life/childcare.html>